

目で見る北海道産業

平成23年度版

| | | | |
|------------------------|-----|------------------------------|-----|
| I. 我が国に占める北海道の地位 | 1 | 8. 労働 | |
| II. 自然・人口 | | (1) 雇用指数の推移 | 2 2 |
| 1. 面積と位置 | 2 | (2) 賃金指数の推移 | 2 2 |
| 2. 気候 | | (3) 有効求人倍率の推移 | 2 2 |
| (1) 月別平均気温と降水量 | 3 | (4) 高等学校の進路別卒業者数の推移 | 2 3 |
| (2) 月別日照時間と降雪量 | 3 | (5) 完全失業率と労働力人口の推移 | 2 3 |
| 3. 人口 | | V. 産業の動向 | |
| (1) 人口の推移 | 4 | 1. 農林水産業 | |
| (2) 転出・転入の推移 | 4 | (1) 農業 | |
| (3) 都市別人口の比較 | 4 | ① 農作物作付面積 | 2 4 |
| (4) 人口密度 | 5 | ② 主要農作物の収穫量 | 2 4 |
| 4. 天然資源の包蔵 | 6 | ③ 一戸当たり生産農業所得及び 販売農家数の推移 | 2 5 |
| III. 産業構造 | | ④ 家畜等の飼育状況 | 2 5 |
| 1. 産業構造 | | (2) 林業 | |
| (1) 総生産 | | ① 樹種別森林蓄積量 | 2 6 |
| ① 産業別総生産の推移 | 7 | ② 素材生産の推移 | 2 6 |
| ② 総生産の産業別構成 | 8 | (3) 水産業 | |
| (2) 工業出荷額 | | ① 漁獲量の推移 | 2 7 |
| ① 製造業の出荷額構成比 | 8 | ② 漁獲量の構成 | 2 7 |
| ② 工業出荷額の構成比の推移 | 9 | 2. 金属・非金属鉱業 | |
| ③ 地域別加工組立産業出荷額の 構成比 | 9 | (1) 稼り鉱山の分布状況 | 2 8 |
| ④ 主要製造業の地域別出荷額の比較 | | (2) 砂利採取量の推移 | 2 9 |
| ① 製造業合計 | 1 0 | (3) 砂利採取・出荷量の構成 | |
| ② 食料品製造業 | 1 0 | ① 種類別砂利採取量 | 2 9 |
| ③ 木材・木製品製造業 | 1 0 | ② 砂利出荷量 | 2 9 |
| ④ パルプ・紙・紙加工品製造業 | 1 0 | (4) 採石生産状況 | |
| ⑤ 石油・石炭製品製造業 | 1 0 | ① 採石生産量の推移 | 2 9 |
| ⑥ 窯業・土石製品製造業 | 1 0 | ② 碎石の用途別生産構成 | 2 9 |
| ⑦ 鉄鋼業 | 1 0 | 3. 製造業 | |
| ⑧ 金属製品製造業 | 1 0 | (1) 鉄鋼業 | 3 0 |
| ⑨ 機械器具製造業 | 1 0 | (2) 金属製品工業 | 3 0 |
| (3) 輸移出入 | | (3) 機械工業 | 3 0 |
| ① 輸移出入の産業別構成 | 1 1 | (4) 窯業・土石製品工業 | 3 1 |
| ② 域際収支 | 1 1 | (5) プラスチック製品工業 | 3 1 |
| 2. 就業構造 | 1 2 | (6) 化学工業 | |
| IV. 経済指標 | | ① 複合肥料生産の推移 | 3 1 |
| 1. 地域経済産業調査 | 1 3 | ② 高圧ガス生産の推移 | 3 1 |
| 2. 鉱工業 | | ③ プラスチック生産の推移 | 3 2 |
| (1) 鉱工業指数の推移 | | (7) 石油製品工業 | 3 2 |
| ① 生産 | 1 3 | (8) パルプ・紙・紙加工品工業 | |
| ② 出荷 | 1 3 | ① パルプ生産の推移 | 3 2 |
| ③ 在庫 | 1 3 | ② 紙生産の推移 | 3 2 |
| (2) 経済産業局別生産指数の推移 | 1 4 | (9) 木材・木製品工業 | 3 3 |
| (3) 鉱工業生産の業種別構成の推移 | 1 4 | (10) 食料品工業 | 3 3 |
| 3. 家計・物価 | | ① 配合飼料生産の推移 | 3 3 |
| (1) 可処分所得と消費支出の推移 | 1 5 | ② 乳製品生産の推移 | 3 3 |
| (2) 平均消費性向の推移 | 1 6 | ③ 酒類生産の推移 | 3 3 |
| (3) 消費者物価指数の推移 | 1 6 | 4. 商業 | |
| 4. 投資 | | (1) 商業販売額の推移及び 事業所数の推移 | 3 4 |
| (1) 北海道開発事業費の推移 | 1 7 | (2) 商業販売額構成 | |
| (2) 北海道開発事業費の構成 | 1 7 | ① 卸売業 | 3 4 |
| (3) 設備投資額 | 1 8 | ② 小売業 | 3 4 |
| (4) 新設住宅着工の推移 | 1 8 | (3) 大型小売店販売額の推移 | 3 5 |
| 5. 金融 | | (4) コンビニエンスストア販売額、 店舗数の推移 | 3 5 |
| (1) 金融機関別預金・貸出残高の構成 | 1 9 | (5) 大規模小売店舗立地法新設届出の 推移 | 3 6 |
| (2) 銀行預金と貸出残高の推移 | 1 9 | 5. 情報産業・バイオ産業 | |
| 6. 貿易 | | (1) 情報産業の売上高・従業員数の 推移 | 3 7 |
| (1) 輸出入額の推移 | 2 0 | (2) バイオ産業の売上高・従業員数の 推移 | 3 7 |
| (2) 品目別構成 | 2 0 | 6. 観光 | 3 7 |
| (3) 地域別構成 | 2 0 | | |
| 7. 創業・倒産 | | | |
| (1) 大学発ベンチャー設立数 | 2 1 | | |
| (2) 開廃業率 | 2 1 | | |
| (3) 企業倒産件数及び負債金額の推移 | 2 1 | | |

| | |
|---|-----|
| 7. 各種物品賃貸業 リース年間契約高及び物件リース 年間契約高構成比 | 3 8 |
| 8. 広告代理業、その他の広告業 広告代理業、その他の広告業年間売上高 及び業務種類別年間売上高構成比 | 3 8 |
| VI. 産業立地とインフラストラクチュア | |
| 1. 工場立地状況 | |
| (1) 工場用地取得件数及び 面積の推移 | 3 9 |
| (2) 業種別工場立地件数の構成比 | 3 9 |
| 2. 工業用地と工業用水道 | |
| (1) 工場適地 | 4 0 |
| (2) 工業用水道 | 4 0 |
| (3) 工業団地名簿 | 4 1 |
| 3. 空港 | |
| (1) 空港分布図 | 4 3 |
| (2) 主要空港乗降客数の推移 | 4 3 |
| (3) 空港乗降客数 | 4 3 |
| (4) 空港貨物取扱量 | 4 3 |
| 4. 道路 | |
| (1) 道路網の整備状況 | 4 4 |
| (2) 自動車貨物輸送の推移 | 4 4 |
| (3) 自動車貨物の品目別構成 | 4 4 |
| (4) 自動車保有台数の推移 | 4 4 |
| 5. 鉄道 | |
| (1) 鉄道網の整備状況 | 4 5 |
| (2) 鉄道貨物輸送の推移 | 4 5 |
| (3) 鉄道旅客輸送人数 | 4 5 |
| 6. 港湾 | |
| (1) 特定重要港湾と重要港湾の 取扱貨物量 | 4 6 |
| (2) 海運輸送量の推移 | 4 6 |
| (3) 海運輸送量の品目別構成 | 4 6 |
| 7. 主な大学、独立行政法人、 公設試験研究機関等の設置状況 | 4 7 |
| 8. 企業立地促進法に係る 道内の基本計画同意状況 | 4 8 |
| VII. エネルギー | |
| 1. エネルギー源別消費量 | 4 9 |
| 2. 石炭鉱業 | |
| (1) 炭鉱位置 | 5 0 |
| (2) 石炭生産量の推移 | 5 0 |
| (3) 石炭需給状況 | |
| ①国内炭・輸入炭販売割合 | 5 0 |
| ②用途別輸入割合 | 5 0 |
| 3. 石油 | |
| (1) 石油製品需要量の推移 | 5 1 |
| (2) 石油製品需要構成比 | 5 1 |
| (3) 給油所の状況 | |
| ①給油所の分布 | 5 2 |
| ②給油所(SS)数の推移 | 5 2 |
| (4) 石油製品価格の推移 | 5 2 |
| 4. 電力 | |
| (1) 主要発電所の分布 | 5 3 |
| (2) 電気事業者別・原動力別 発電設備容量 | 5 3 |
| (3) 電気事業者別・原子力別 発電電力量 | 5 3 |
| (4) 需要構成 | 5 4 |
| (5) 電気料金の比較 | |
| ①電力会社別 電気料金実績 平均単価 | 5 4 |
| ②年度別 電気料金実績 平均単価の推移 | 5 4 |
| 5. 都市ガス | |
| (1) 都市ガス事業者の分布 | 5 5 |
| (2) 販売量の推移 | 5 5 |

| | |
|---------------------------|-----|
| (3) 販売量 | 5 5 |
| 6. 熱供給 | |
| (1) 事業所の分布 | 5 6 |
| (2) 販売量の推移 | 5 6 |
| (3) 全国対比 | 5 6 |
| 7. 新エネルギーの普及状況 | |
| (1) 住宅用太陽光発電施設普及状況 | 5 7 |
| (2) 10kW以上太陽光発電施設 普及状況 | 5 7 |
| (3) 風力発電施設普及状況 | 5 7 |
| (4) バイオマス発電施設普及状況 | 5 7 |
| (5) ソーラーシステム普及状況 | 5 7 |
| (6) 雪氷冷熱施設普及状況 | 5 7 |

VIII. 中小企業

| | |
|----------------|-----|
| 1. 製造業 | |
| (1) 規模別出荷額構成 | 5 8 |
| (2) 出荷額の推移 | 5 8 |
| (3) 規模別賃金比較 | 5 8 |
| (4) 規模別付加価値比較 | 5 8 |
| 2. 商業（卸売業・小売業） | |
| (1) 規模別商店数構成 | 5 9 |
| (2) 商店数の推移 | 5 9 |

IX. その他

| | |
|-------------------|-----|
| 1. 構造改革特別区域計画 | 6 0 |
| 2. 地域再生計画 | 6 1 |
| 3. 特許権等の出願件数・登録件数 | 6 2 |
| 4. 道内の地域団体商標 | 6 3 |

注) 本書の統計において、特段の記載のないものは経済産業省
または北海道経済産業局所轄統計を意味する。
注) 四捨五入の関係で内訳と合計が一致しない場合があります。
注) 本書の全文または一部の無断転載を禁じます。

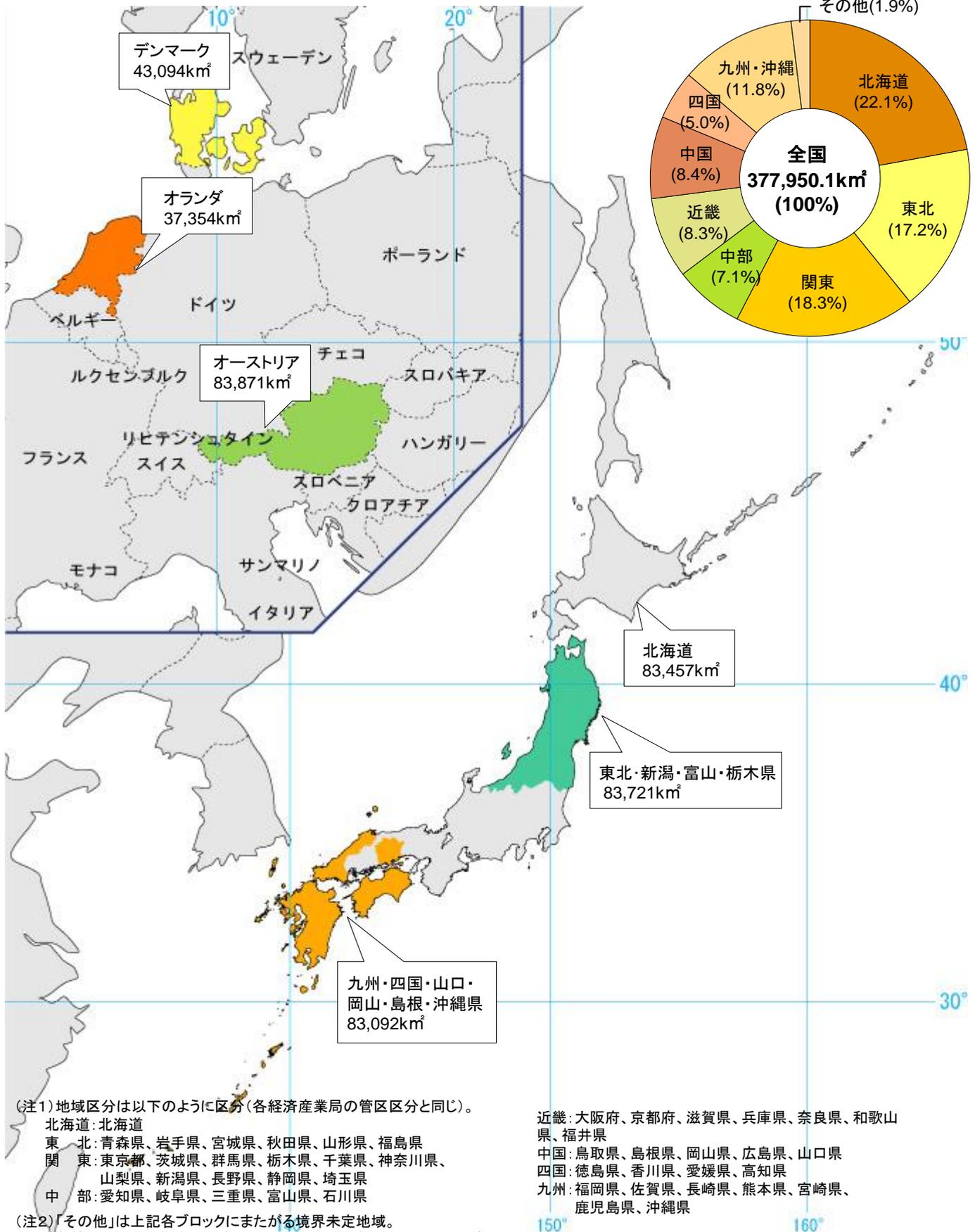
I.我が国に占める北海道の地位



1. 面積と位置

北海道は我が国の最北端に位置し、面積は国土の約5分の1以上を占めている。

面積構成比



(注1) 地域区分は以下のように区分(各経済産業局の管区分と同じ)。

- 北海道: 北海道
- 東北: 青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
- 関東: 東京都、茨城県、群馬県、栃木県、千葉県、神奈川県、山梨県、新潟県、長野県、静岡県、埼玉県
- 中部: 愛知県、岐阜県、三重県、富山県、石川県

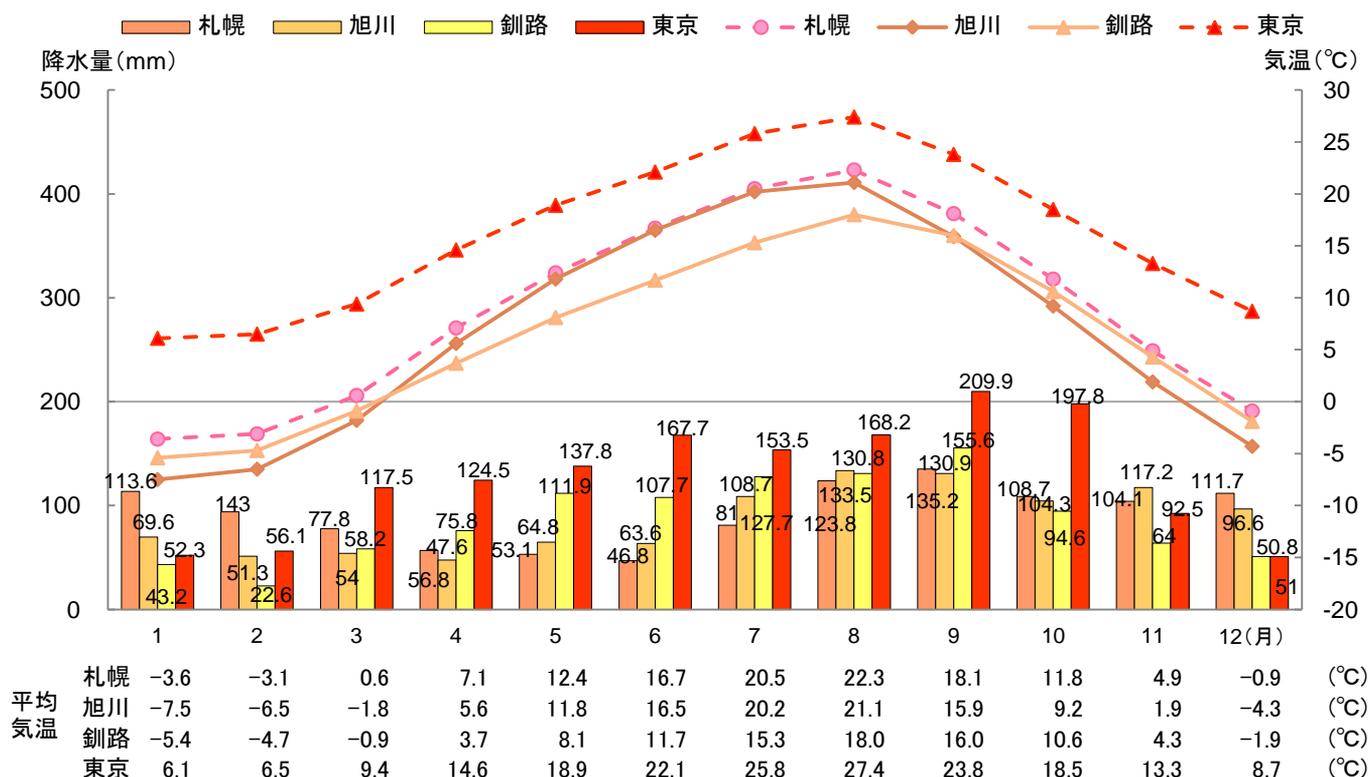
- 近畿: 大阪府、京都府、滋賀県、兵庫県、奈良県、和歌山県、福井県
- 中国: 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
- 四国: 徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- 九州: 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

(注2) 「その他」は上記各ブロックにまたがる境界未定地域。
 (注3) 数値は、日本の面積は平成22年次、外国の面積は 2008年次の値。
 (資料) 日本: 平成22年 全国都道府県市区町村別面積調
 外国: 世界の統計2011

2.気候

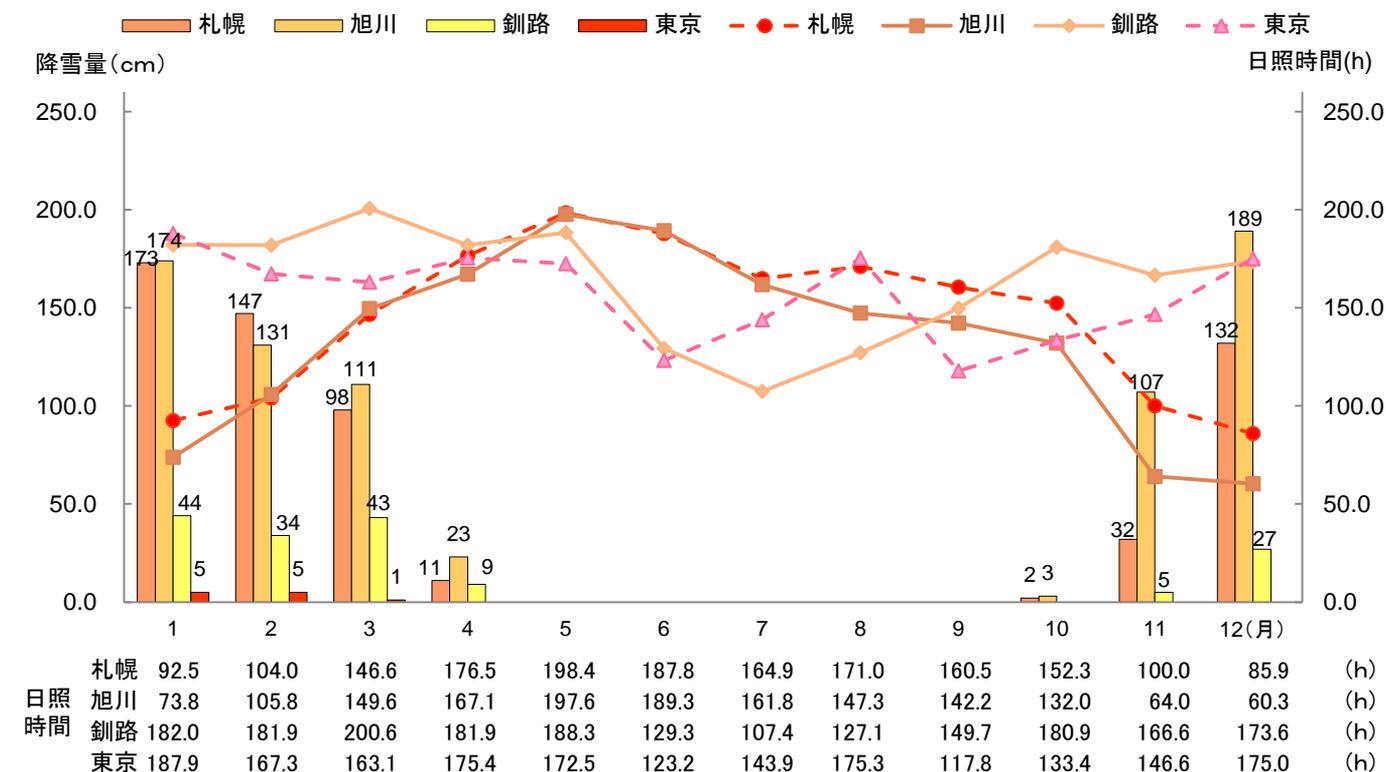
北海道は亜寒帯に属し気候は冷涼低温で、冬季は積雪をみる。

(1)月別平均気温と降水量(22年)



(出所)気象庁HP気象統計情報「過去の気象データ検索」から総務課総括係作成
<http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php> (アクセス日2011.12.21)

(2)月別日照時間と降雪量(22年)

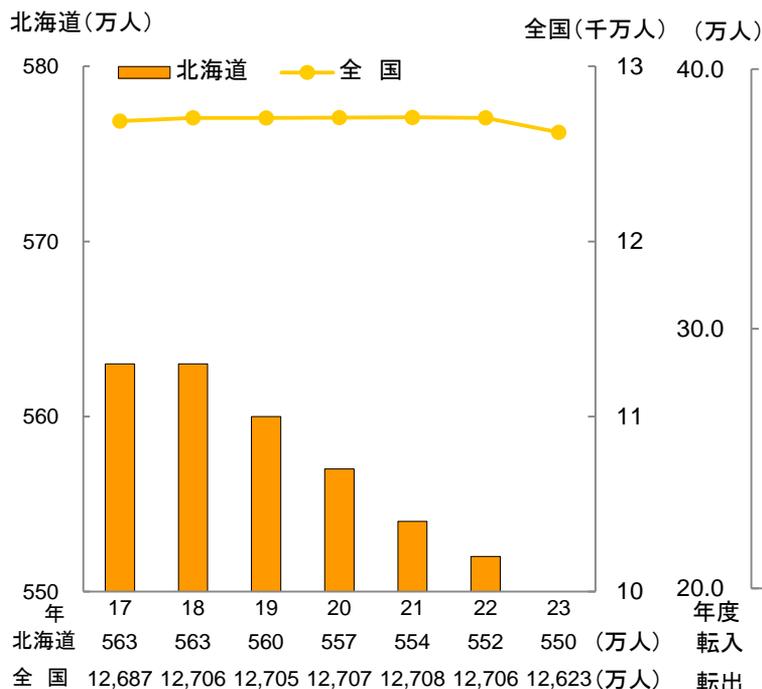


(出所)気象庁HP気象統計情報「過去の気象データ検索」から総務課総括係作成
<http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php> (アクセス日2011.12.21)

3. 人口

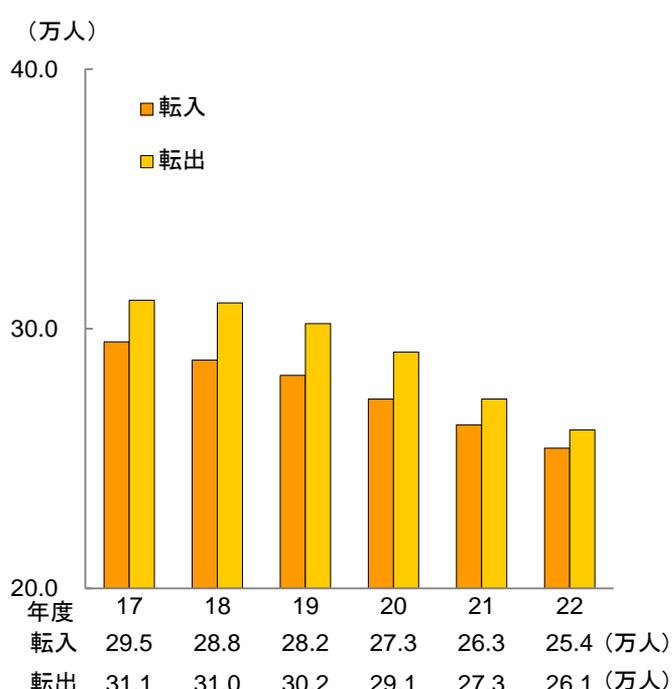
北海道の人口は全国比約4.4%、人口密度は1km²当たり66人で全国の約5分の1。

(1)人口の推移(各年3月末現在)



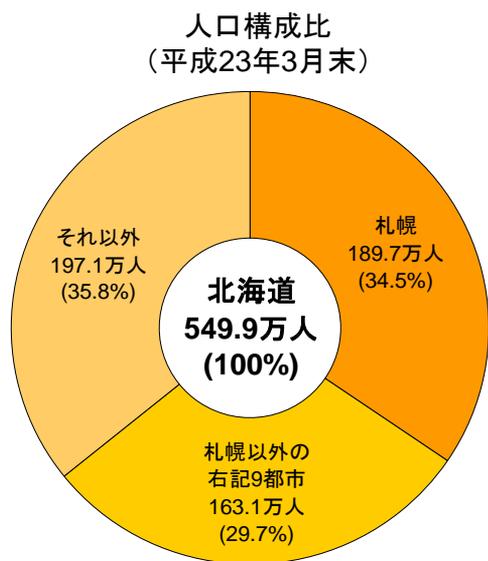
(資料)総務省

(2)転出・転入の推移



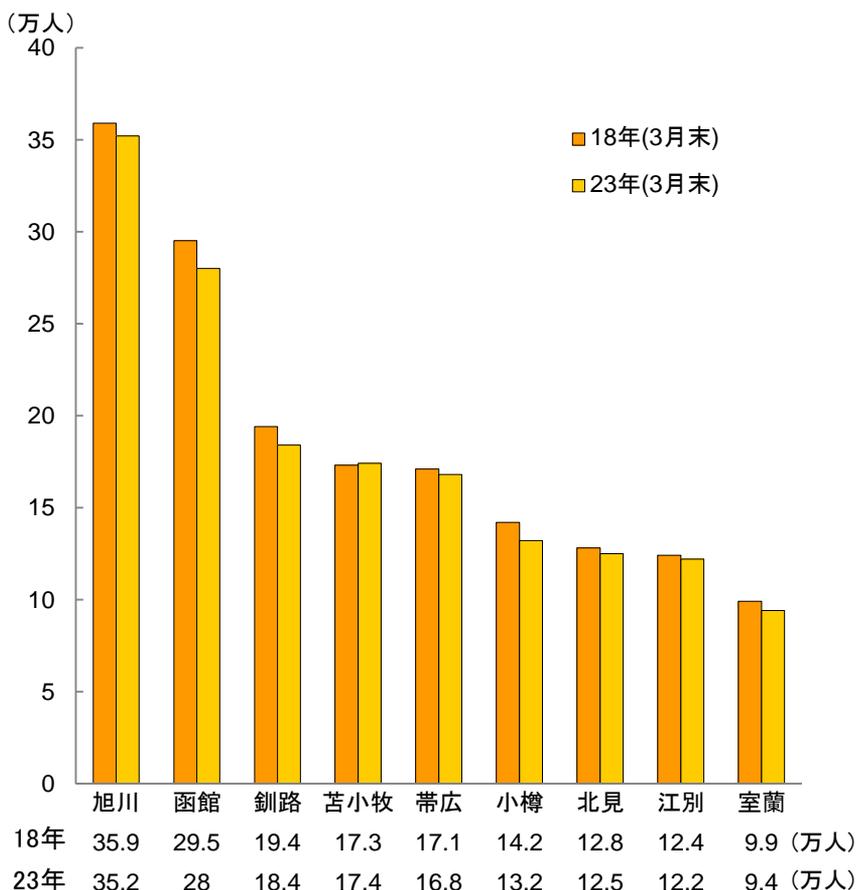
(資料)総務省

(3)都市別人口の比較



平成18年3月末
札幌 186.9万人

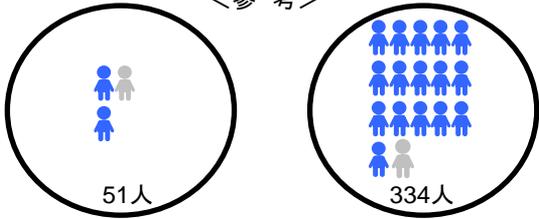
札幌以外の右記9都市



(資料)総務省

(4) 人口密度

<参考>



| | |
|-------------------------------|---------------------------|
| 世界 | 日本 |
| 人口 6,990,900万人 | 人口 12,623万人 |
| 面積 136,127,000km ² | 面積 377,950km ² |

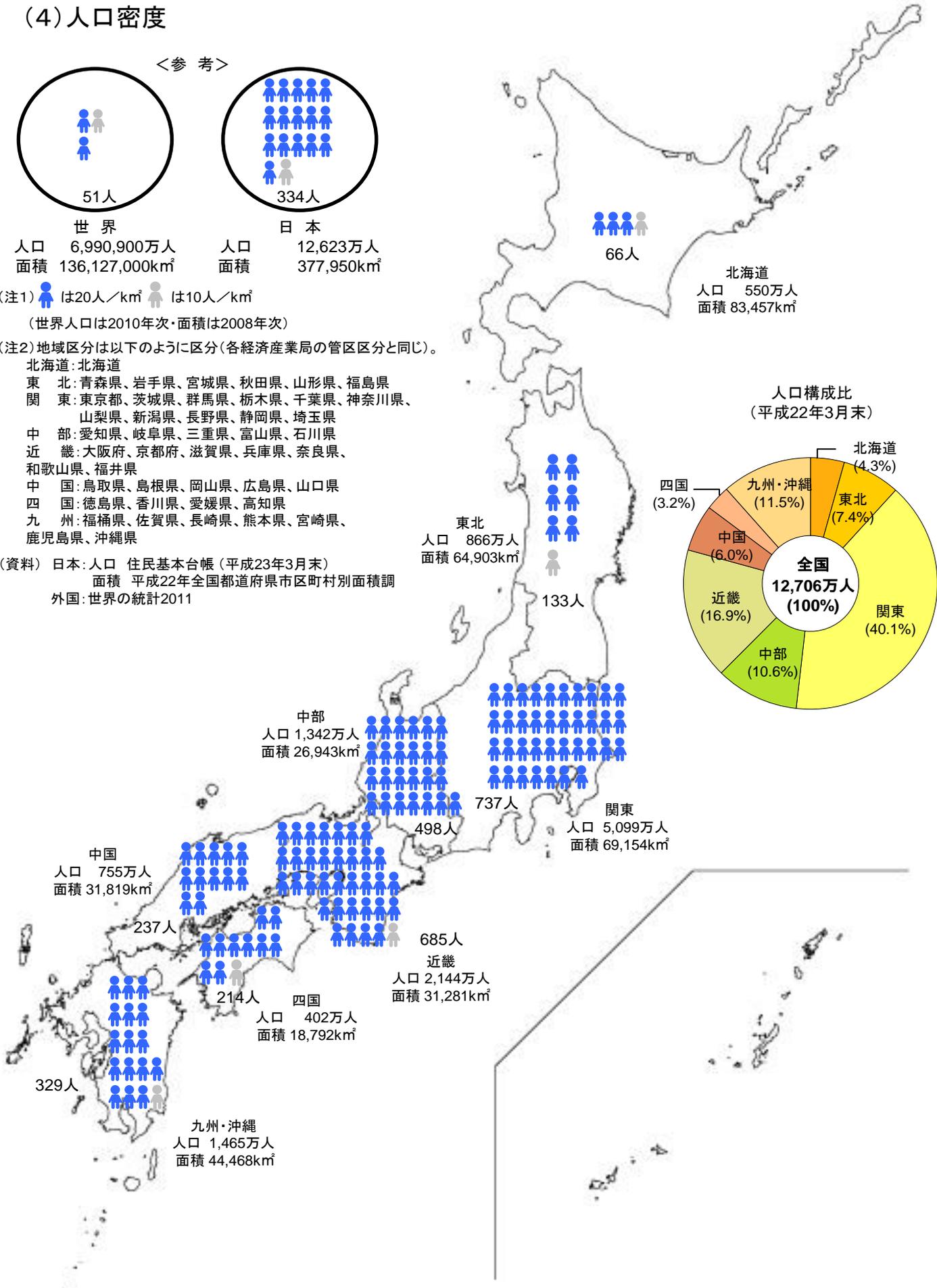
(注1) は20人/km² は10人/km²

(世界人口は2010年次・面積は2008年次)

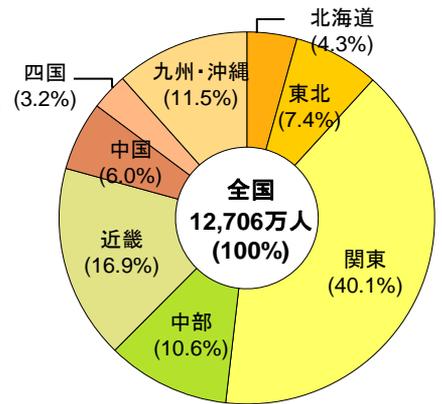
(注2) 地域区分は以下のように区分(各経済産業局の管区区分と同じ)。

- 北海道: 北海道
- 東北: 青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
- 関東: 東京都、茨城県、群馬県、栃木県、千葉県、神奈川県、山梨県、新潟県、長野県、静岡県、埼玉県
- 中部: 愛知県、岐阜県、三重県、富山県、石川県
- 近畿: 大阪府、京都府、滋賀県、兵庫県、奈良県、和歌山県、福井県
- 中国: 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
- 四国: 徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- 九州: 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

(資料) 日本: 人口 住民基本台帳(平成23年3月末)
面積 平成22年全国都道府県市区町村別面積調
外国: 世界の統計2011

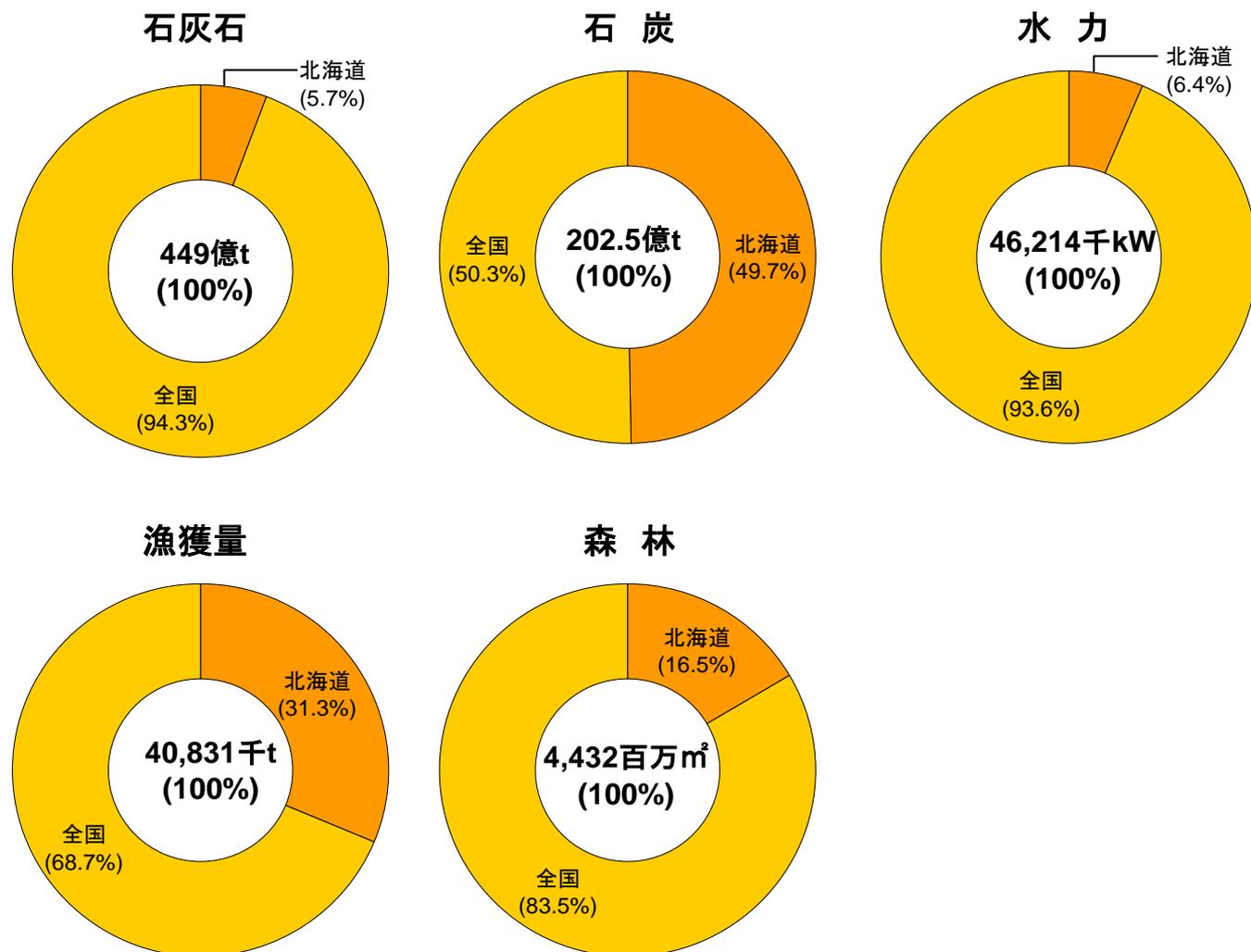


人口構成比
(平成22年3月末)



4. 天然資源の包蔵

北海道は地下資源をはじめ、森林資源、水産資源等の天然資源に恵まれている。



(注) 石灰石は、平成21年4月1日現在の稼行鉱山を対象とした埋蔵鉱量。

石炭は、昭和31年3月31日現在の理論可採埋蔵炭量。

水力は、平成22年3月末現在の一般水力及び混合揚水の包蔵水力(出力)。

漁獲量は、平成22年海面漁業漁獲量。

森林は、全国は平成19年3月31日現在の蓄積量、北海道は平成23年4月1日現在の蓄積量。

(資料) 漁獲量: 農林水産省北海道統計・情報事務所、森林: 北海道

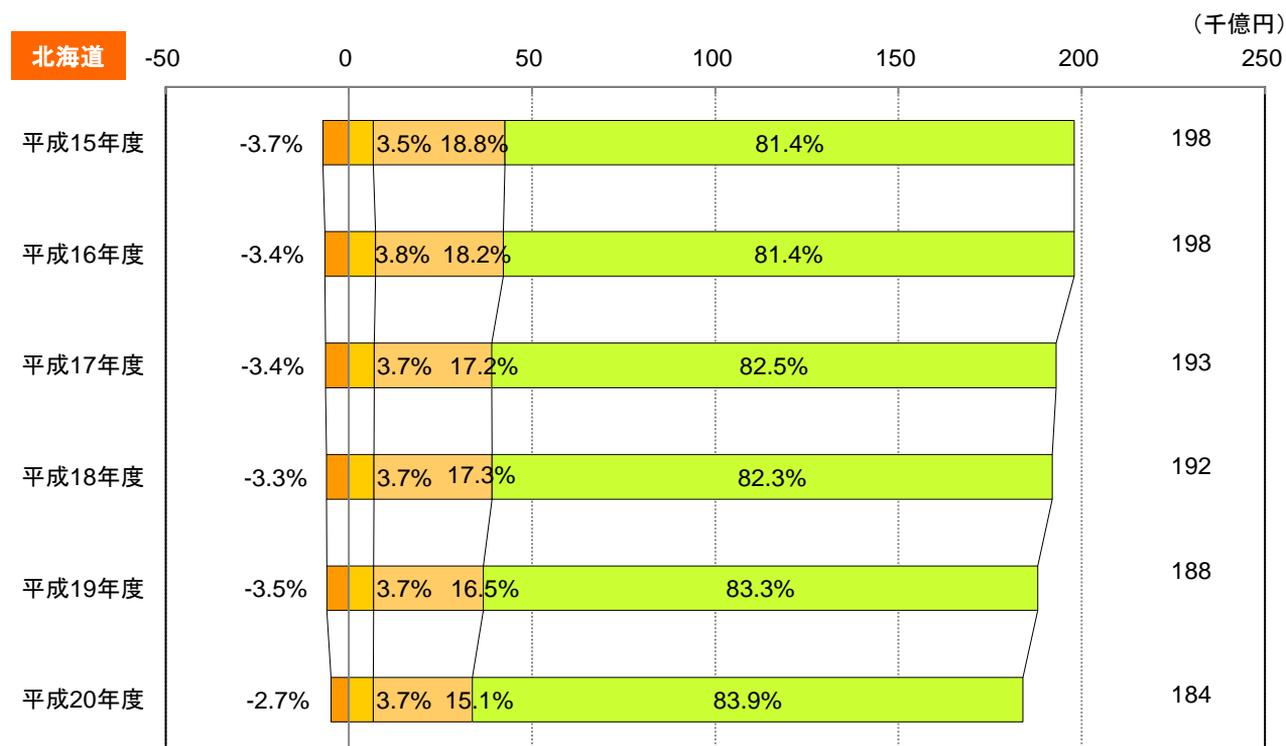
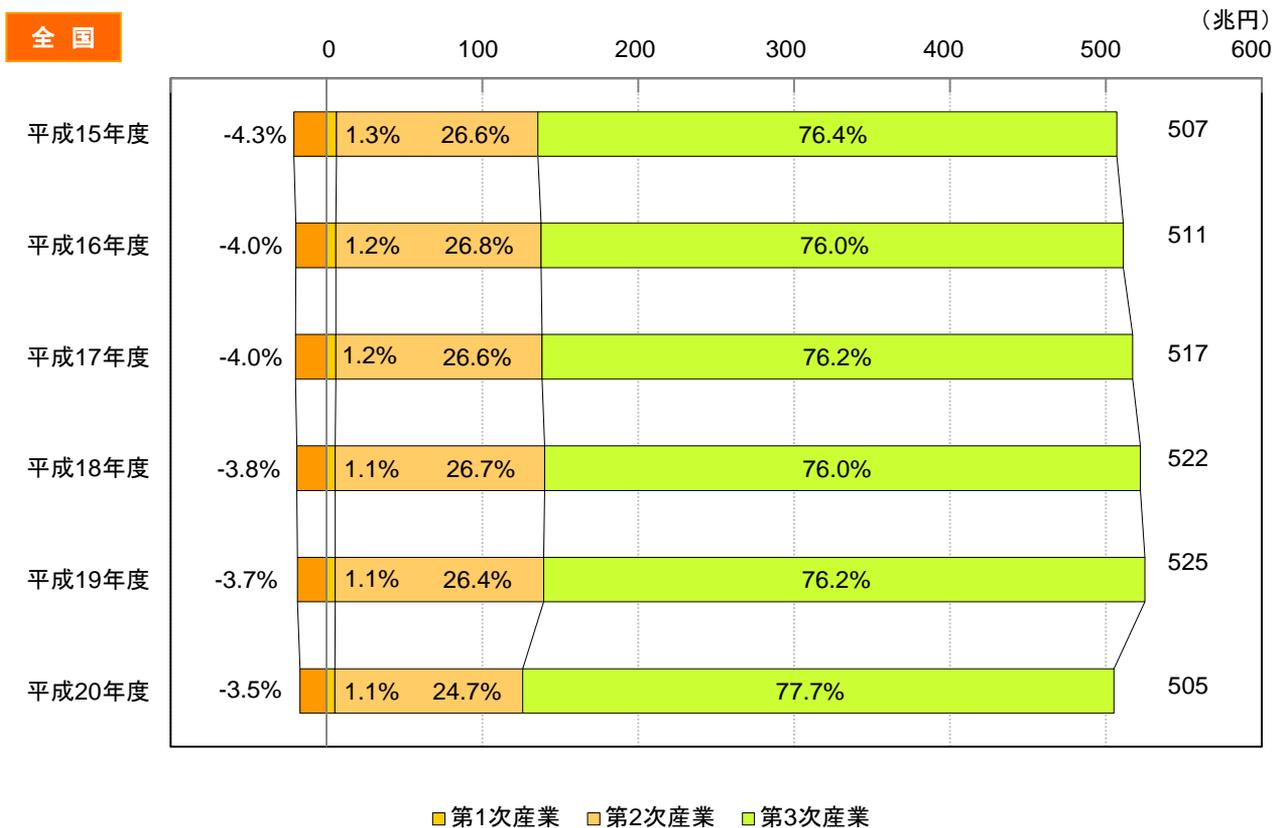
Ⅲ.産業構造

北海道の総生産は全国の3.6%を占めており、産業構造の特色は第1次産業、第3次産業が全国の構成比に比べ高い反面、第2次産業のウエイトが低い。

1.産業構造

(1)総生産

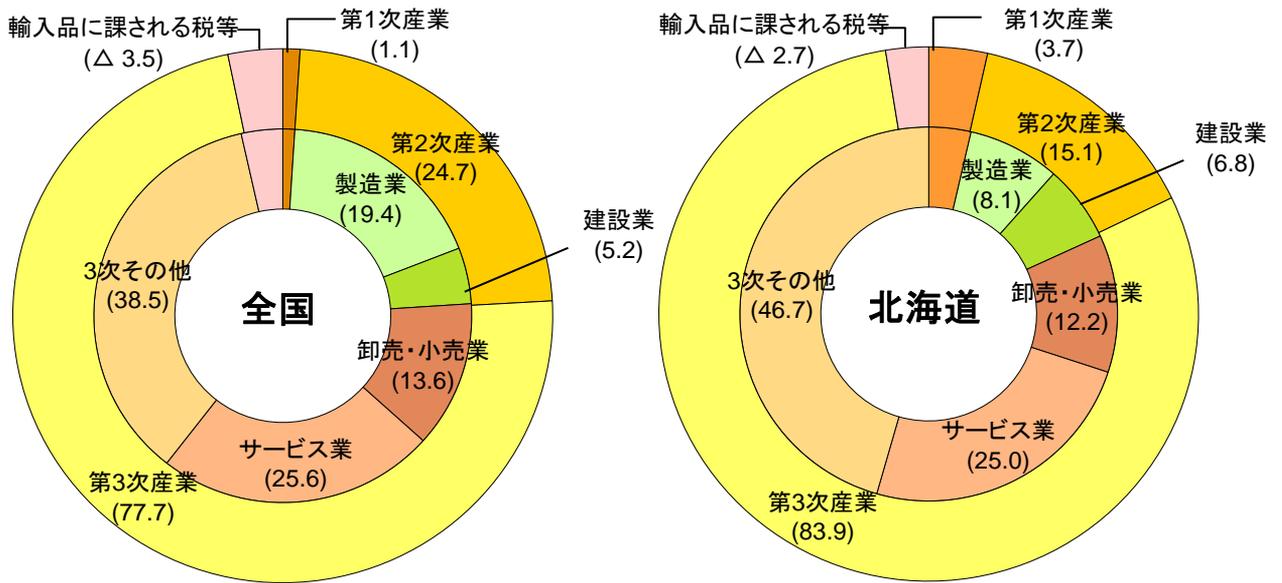
①産業別総生産の推移



(注) グラフ内の数字は産業別構成比(%)93SNA、平成12年基準による。

(資料) 内閣府「県民経済年報」

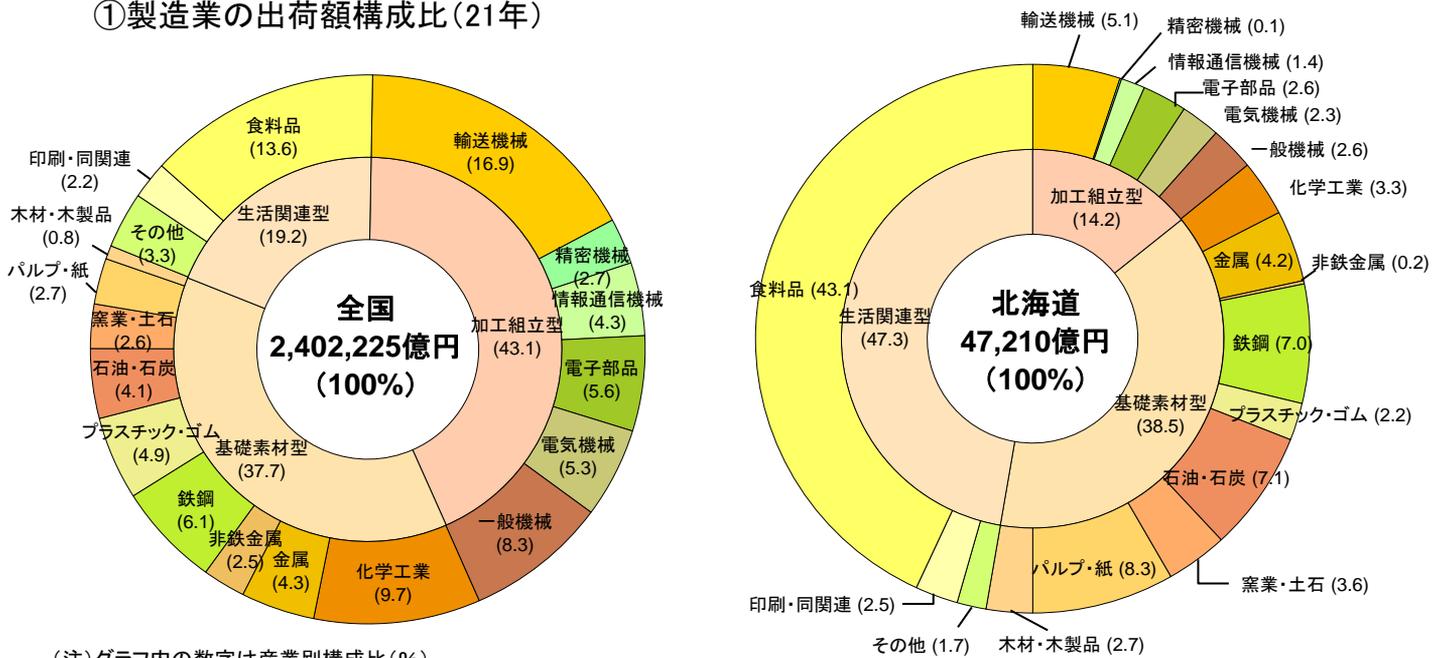
②総生産の産業別構成(20年度)



(注) グラフ内の数字は産業別構成比(%)
 産業別構成比の合計は、「輸入品に課される税等」の調整項目の関係から100%を超える。
 (資料) 内閣府

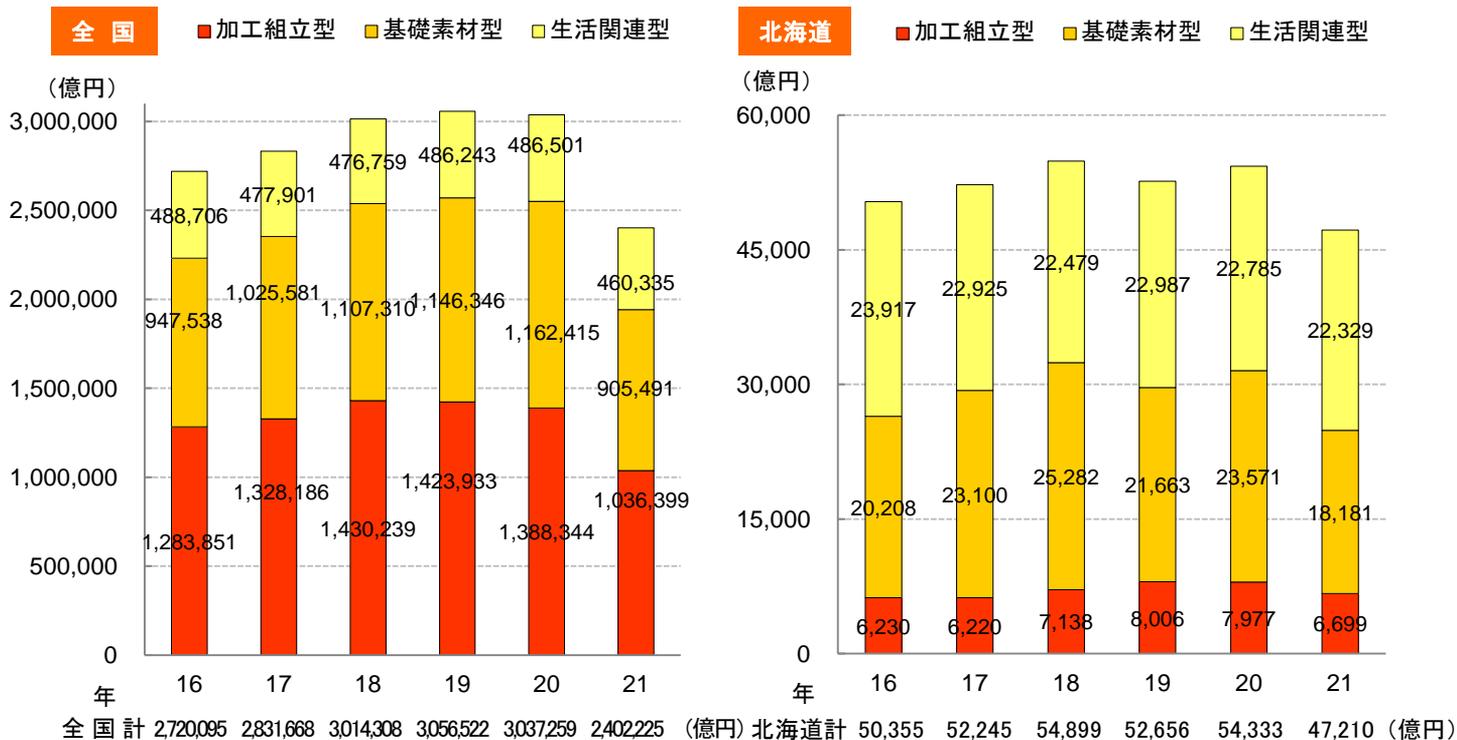
(2) 工業出荷額

①製造業の出荷額構成比(21年)

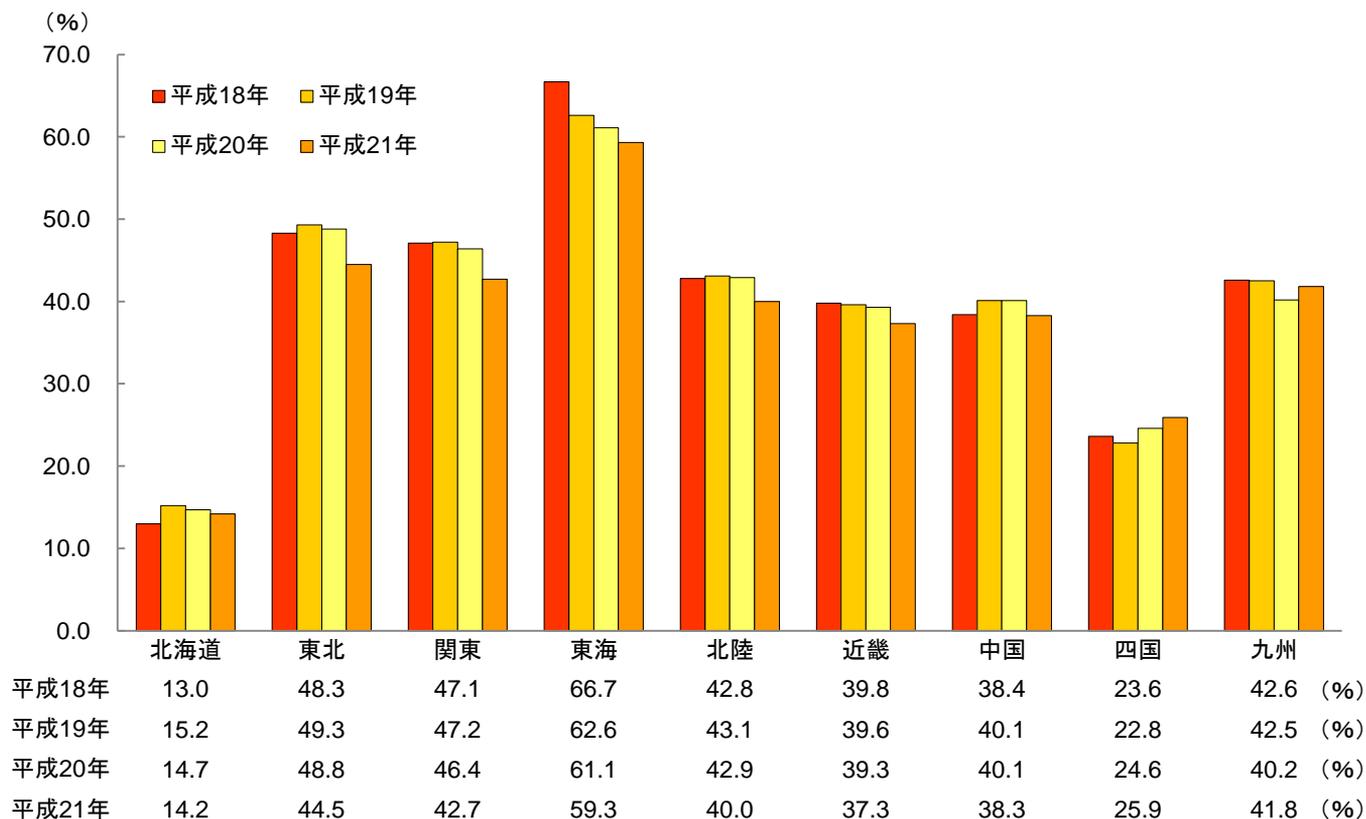


(注) グラフ内の数字は産業別構成比(%)
 (資料) 経済産業省 工業統計

②工業出荷額の構成比の推移

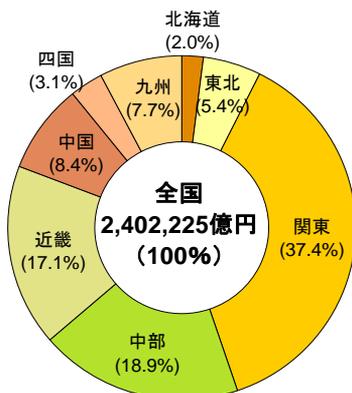


③地域別加工組立産業出荷額の構成比

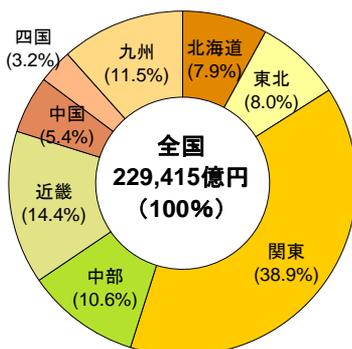


④主要製造業の地域別出荷額の比較(21年)

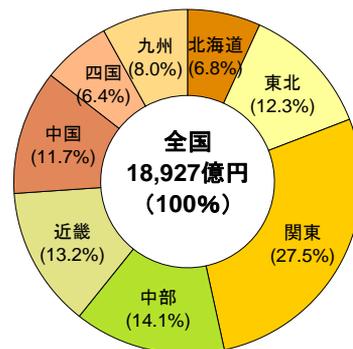
①製造業合計



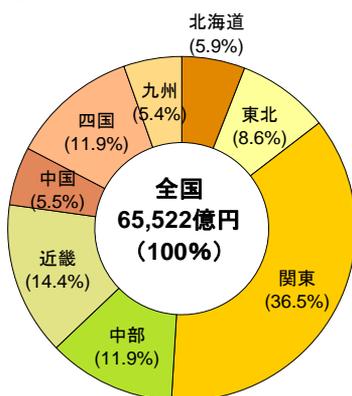
②食料品製造業



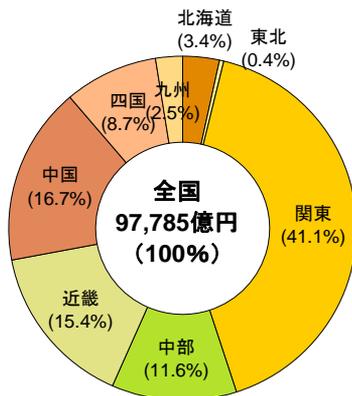
③木材・木製品製造業



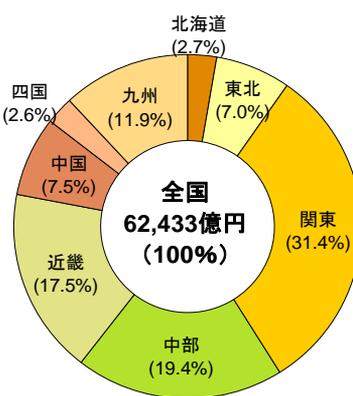
④パルプ・紙・紙加工品製造業



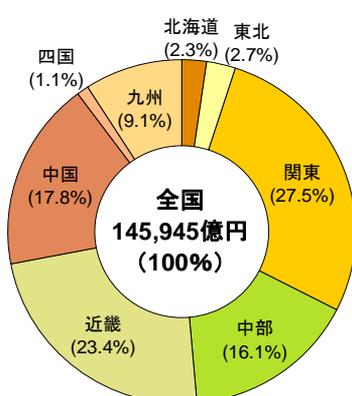
⑤石油・石炭製品製造業



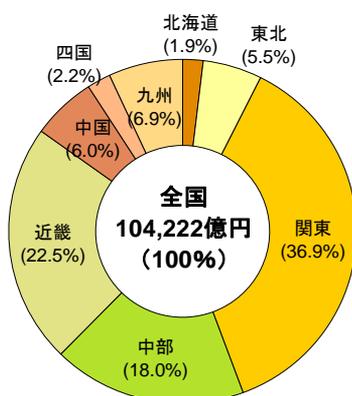
⑥窯業・土石製品製造業



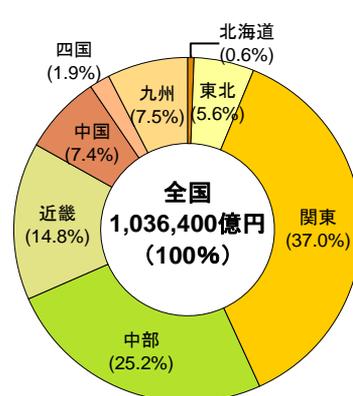
⑦鉄鋼業



⑧金属製品製造業



⑨機械器具製造業

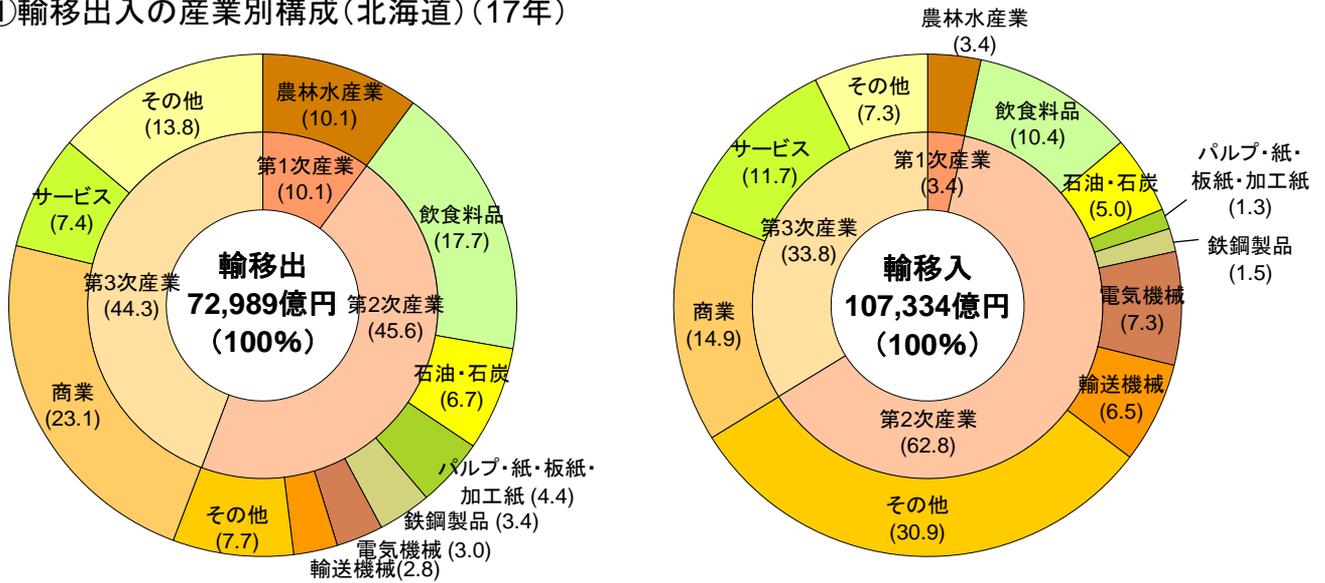


(注)北海道:北海道
 東北:青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島県
 関東:東京都、茨城、群馬、栃木、千葉、神奈川、山梨、新潟、長野、静岡、埼玉県
 中部:愛知、岐阜、三重、富山、石川県
 地域区分は、上記のように原則として各経済産業局の管区に合わせてある。

近畿:大阪、京都府、滋賀、兵庫、奈良、和歌山、福井県
 中国:鳥取、島根、岡山、広島、山口県
 四国:徳島、香川、愛媛、高知県
 九州:福岡、佐賀、長崎、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄県

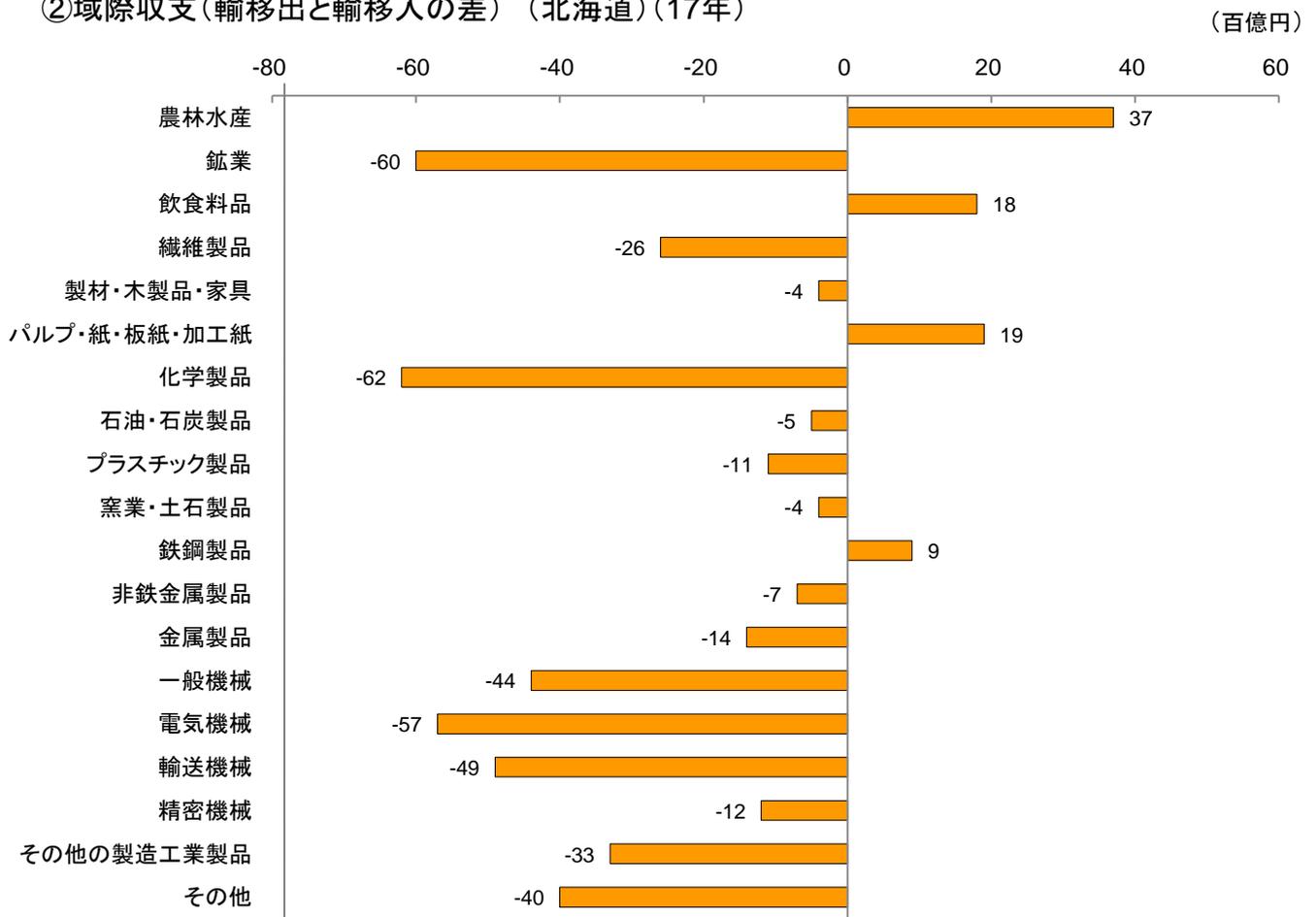
(3) 輸移出入

① 輸移出入の産業別構成(北海道)(17年)



(注) 第三次産業には、分類不明、その他を含む。
 グラフ内の数字は構成比 (%)

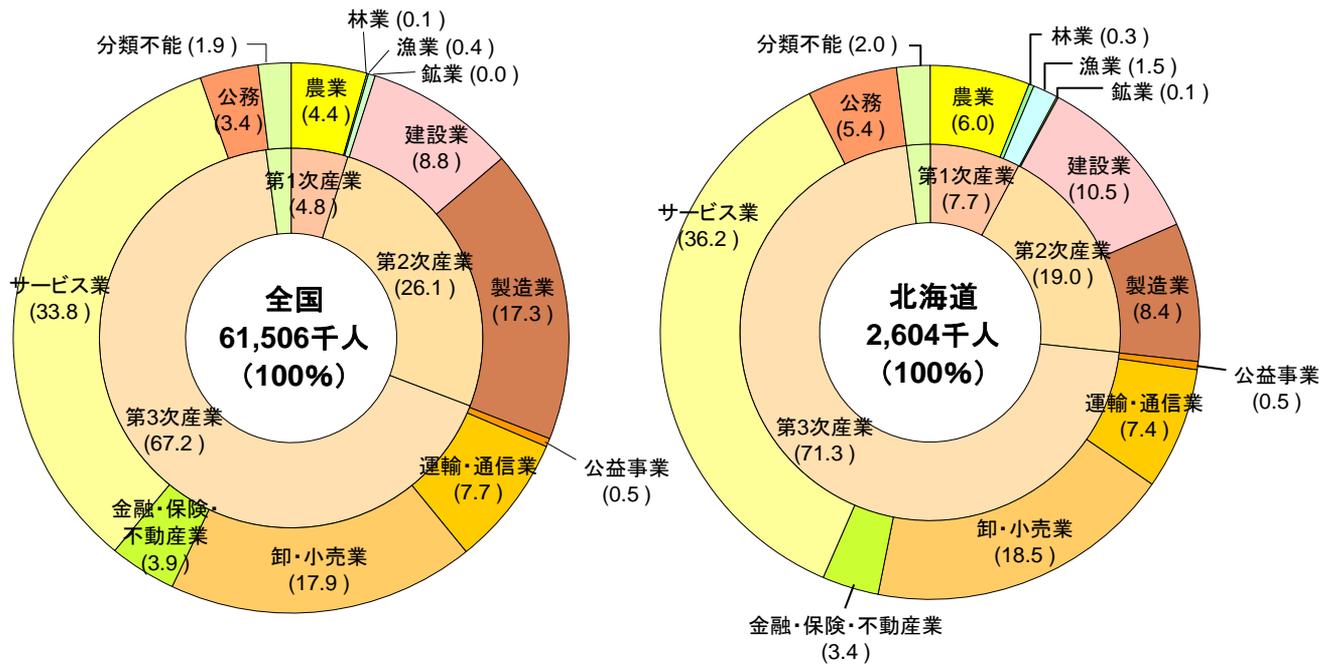
② 域際収支(輸移出と輸移入の差) (北海道) (17年)



(資料) 北海道経済産業局「平成17年 北海道地域産業連関表」

2. 就業構造

就業者の構造(17年国勢調査)



(注) グラフ内の数字は構成比(%)
 (資料) 総務省

1. 地域経済産業調査

景況凡例: ☀️ 上昇局面 ☁️ 横ばい局面 ☔️ 下降局面

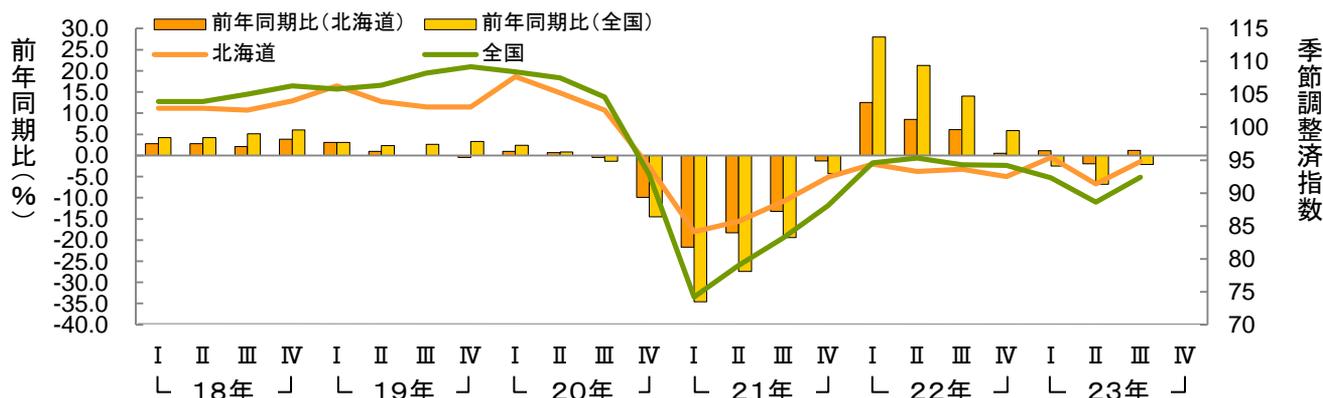
| 北海道 | 17年 | | | 18年 | | | 19年 | | | 20年 | | | 21年 | | | 22年 | | | 23年 | | | | | | | | |
|------|-------------|---|---|--------|---|---|-------|---|---|------|---|---|-----|---|---|------------|---|---|----------|---|---|----|---|---|---------|--|--|
| | 3 | 6 | 9 | 3 | 6 | 9 | 3 | 6 | 9 | 3 | 6 | 9 | 3 | 6 | 9 | 3 | 6 | 9 | 3 | 6 | 9 | | | | | | |
| 景況 | ☀️ | | | ☀️ | | | ☁️ | | | ☔️ | | | ☔️ | | | ☁️ | | | ☔️ | | | | | | | | |
| 総括判断 | 穏やかな持ち直しの動き | | | 緩やかに改善 | | | 概ね横ばい | | | 弱含 | | | 後退 | | | 一部に持ち直しの動き | | | 持ち直しの動き | | | 後退 | | | 持ち直しの動き | | |
| 全国 | 17年 | | | 18年 | | | 19年 | | | 20年 | | | 21年 | | | 22年 | | | 23年 | | | | | | | | |
| | 3 | 6 | 9 | 3 | 6 | 9 | 3 | 6 | 9 | 3 | 6 | 9 | 3 | 6 | 9 | 3 | 6 | 9 | 3 | 6 | 9 | 3 | 6 | 9 | | | |
| 景況 | ☀️ | | | ☀️ | | | ☁️ | | | ☔️ | | | ☔️ | | | ☁️ | | | ☔️ | | | ☔️ | | | | | |
| 総括判断 | 改善・回復 | | | 改善・回復 | | | 概ね横ばい | | | 弱い動き | | | 後退 | | | 一部に持ち直しの動き | | | 緩やかに持ち直し | | | 後退 | | | 持ち直しの動き | | |

地域経済調査: 地域に立地している有力企業又は大きな影響力を持つ企業及び事務所へのヒアリング等の実施により、地域経済の動向を調査するもの。年間4回程度、約90社に対して実施。

2. 鉱工業

(1) 鉱工業指数の推移(四半期別・季節調整済)(17年=100)

① 生産

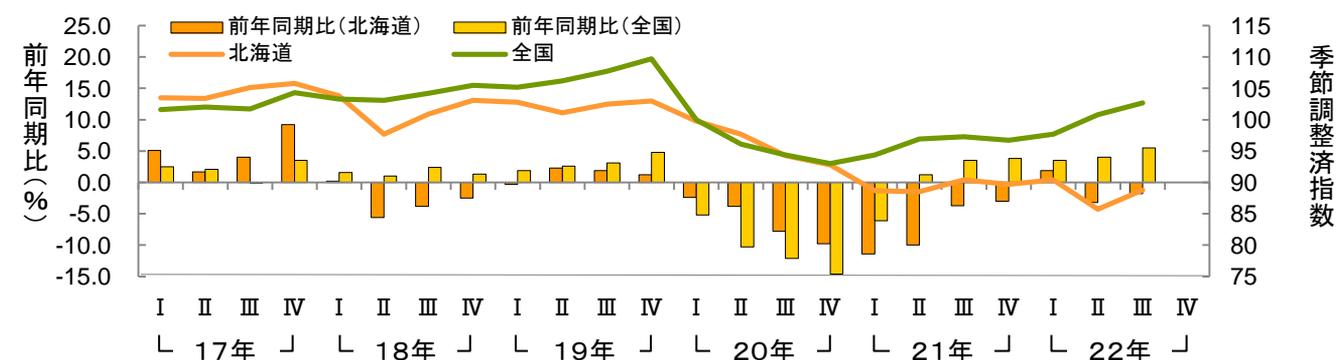


② 出荷

※前年同期比は原指数で計算しているため、合わないことに注意。(出荷、在庫も同様)

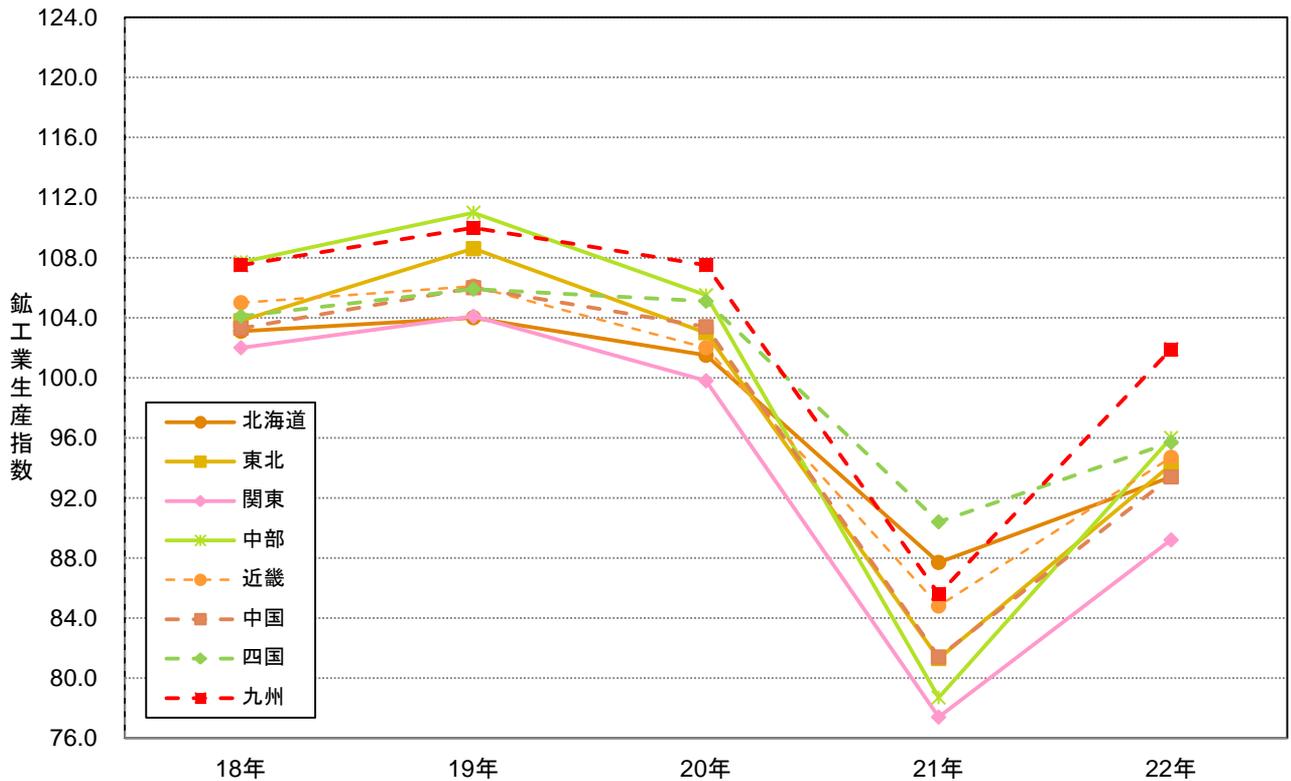


③ 在庫

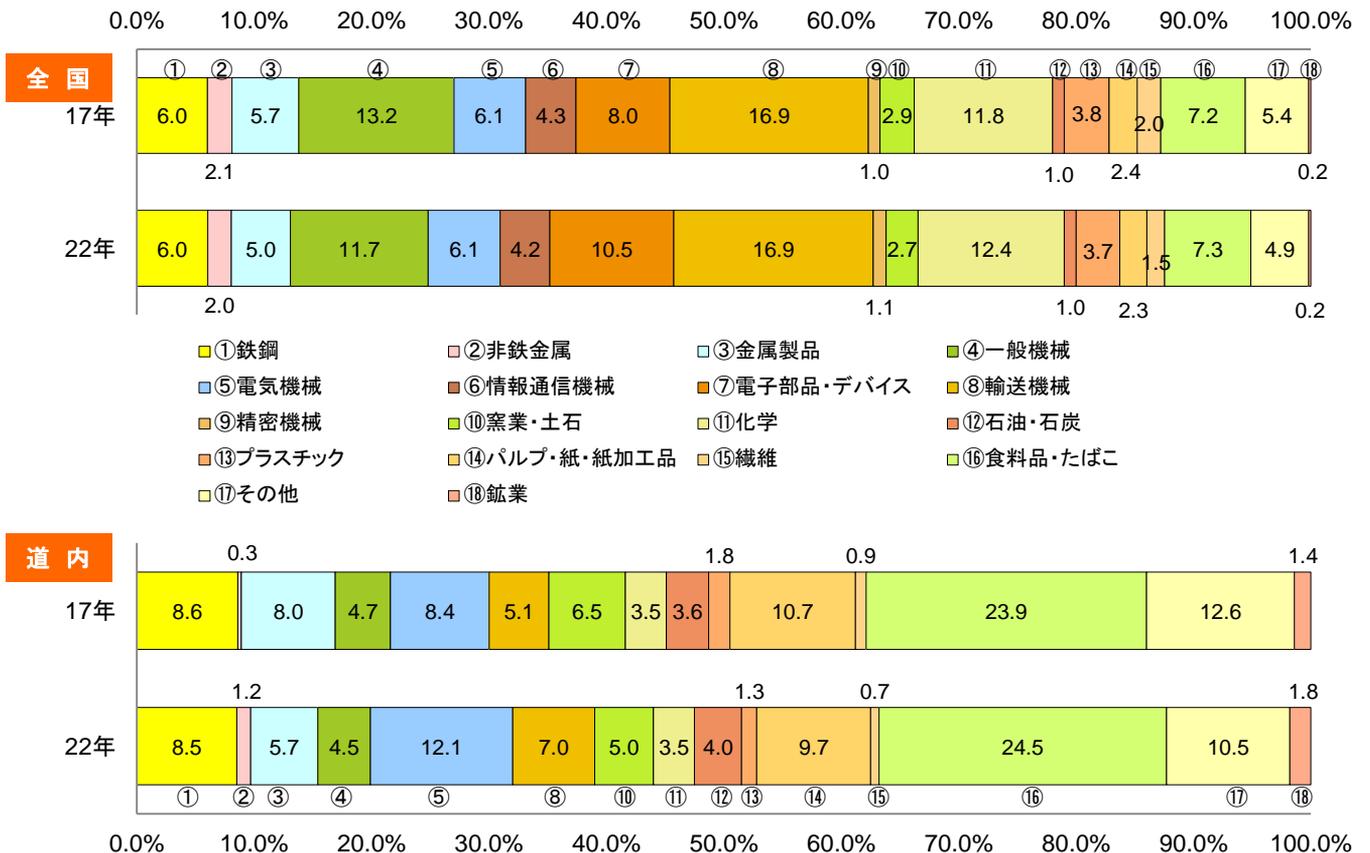


(注)在庫は、期末在庫

(2) 経済産業局別生産指数の推移(鉱工業年別・原指数:17年=100)



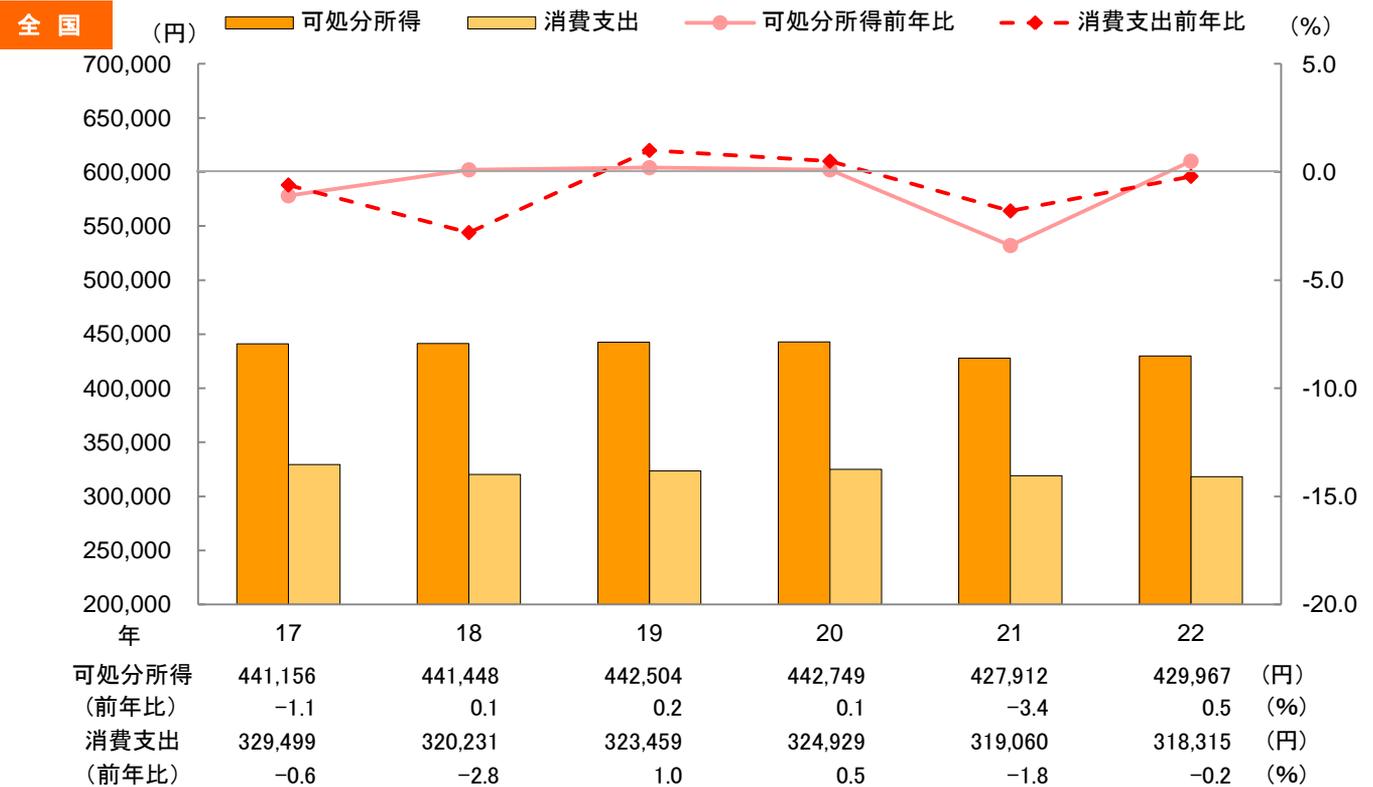
(3) 鉱工業生産の業種別構成の推移



(注) 北海道の電気機械は、電気機械のほか、情報通信機械、電子部品・デバイスを含む。

3. 家計・物価

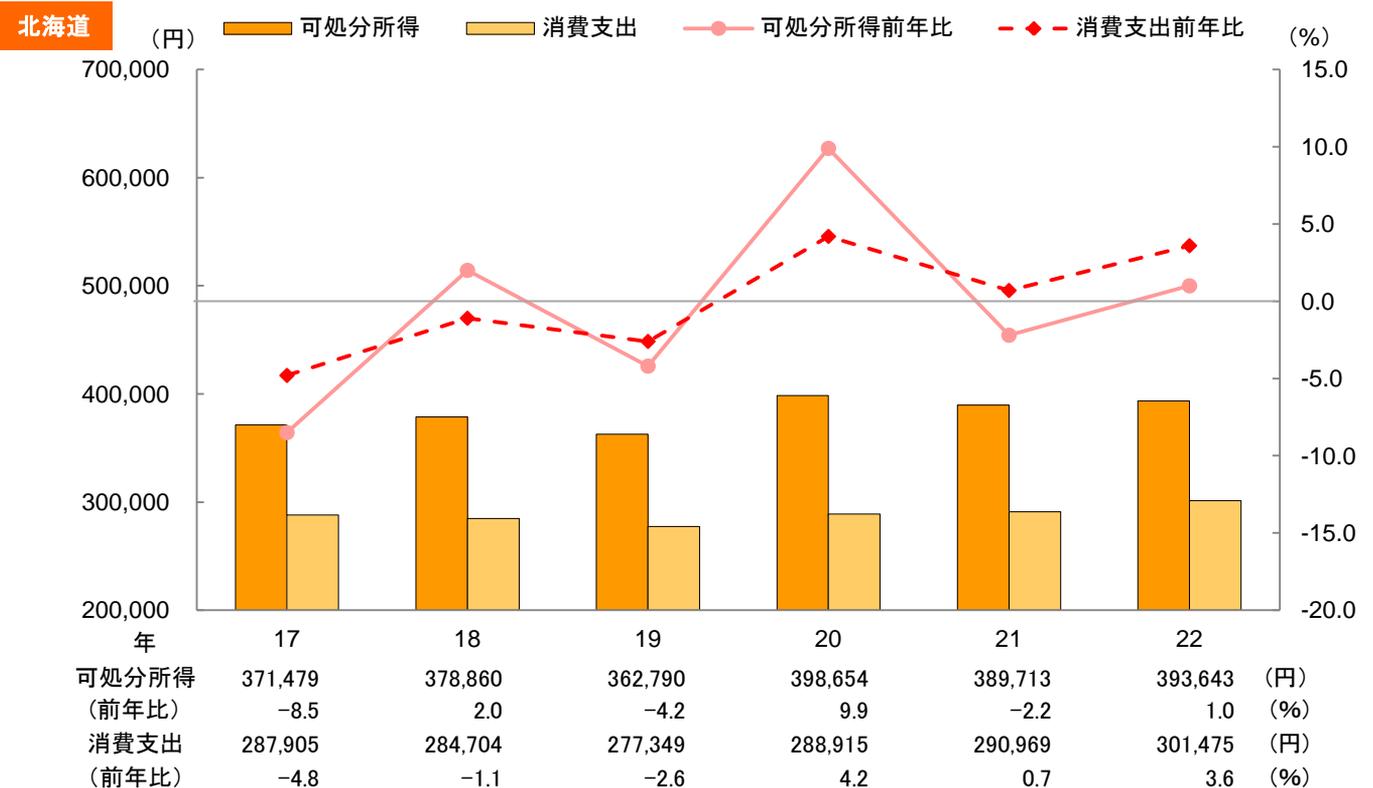
(1) 可処分所得と消費支出の推移



(注1) 勤労者世帯、1か月平均額(名目)

(注2) 農林漁業世帯を含む。

(資料) 総務省

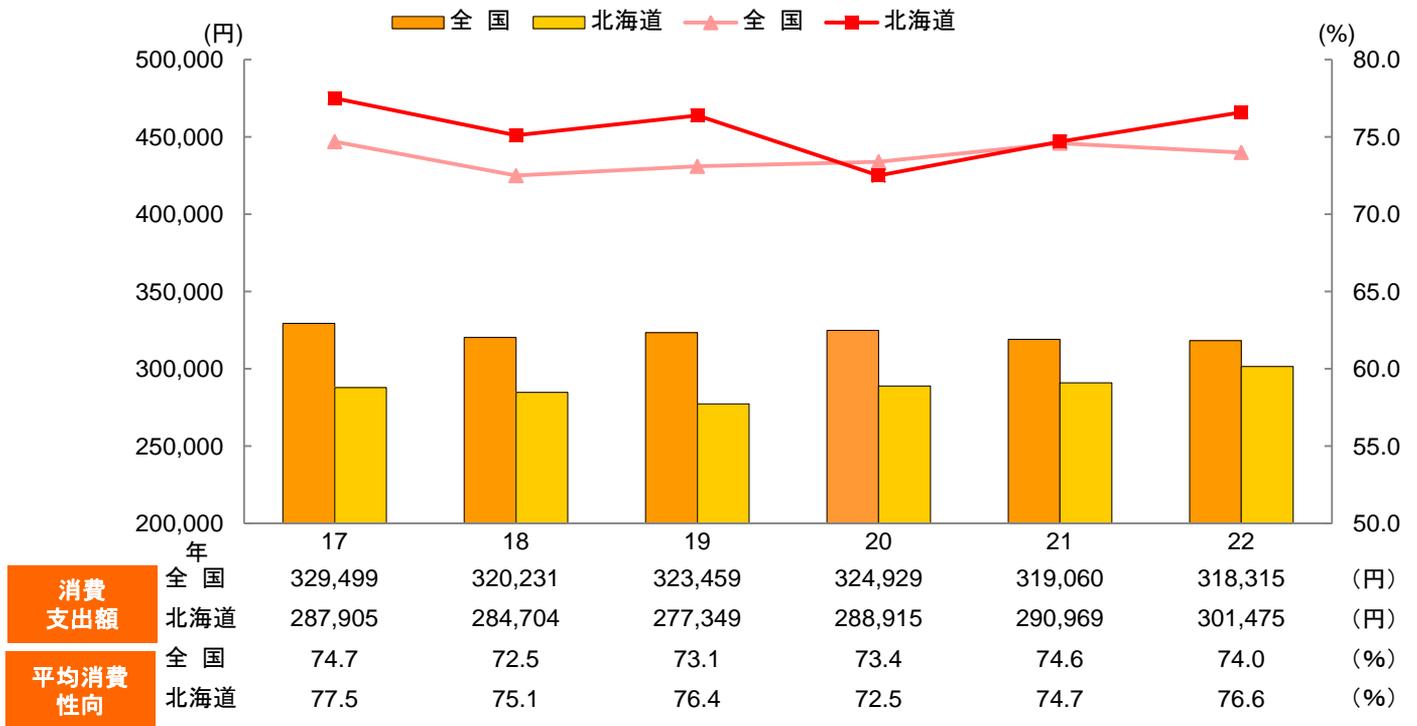


(注1) 勤労者世帯、1か月平均額(名目)

(注2) 農林漁業世帯を含む。

(資料) 総務省

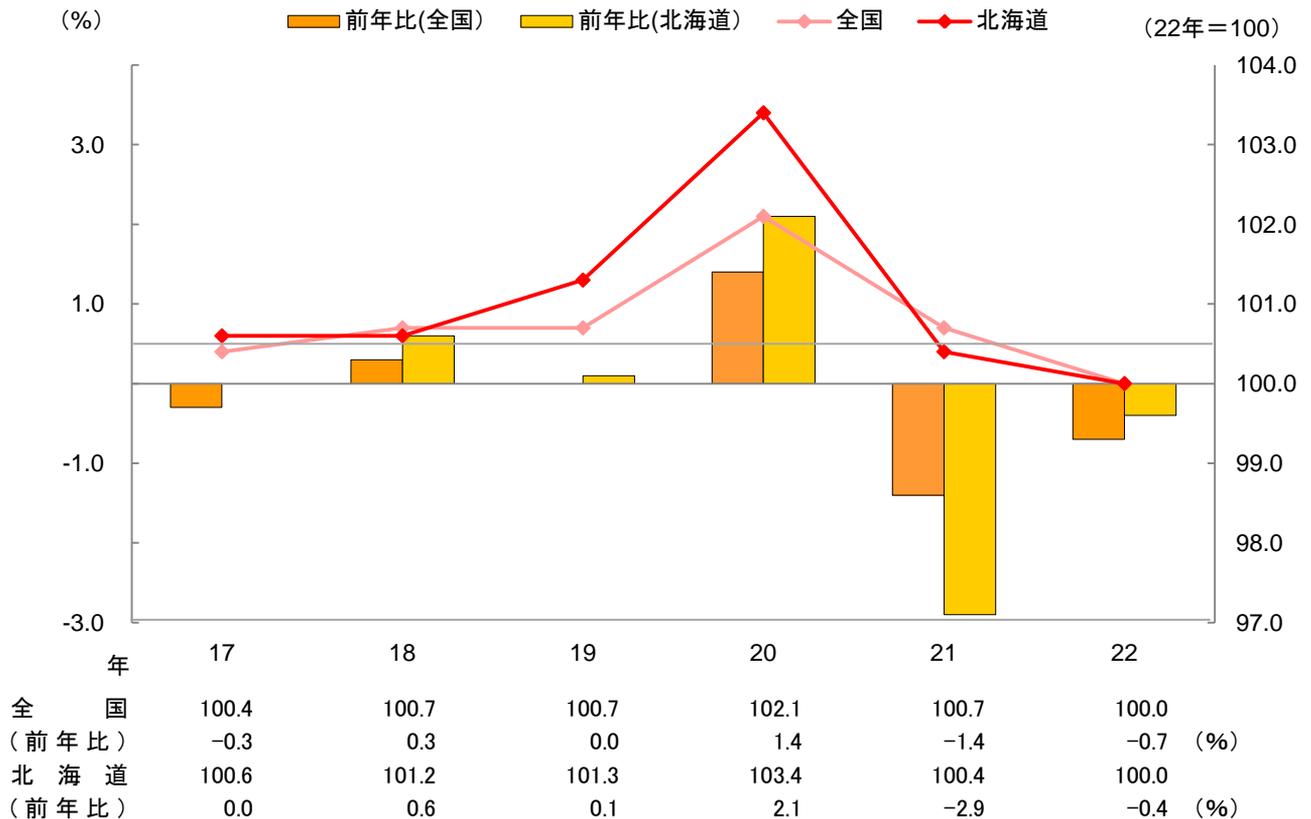
(2)平均消費性向の推移(勤労者世帯)



(資料)総務省

(注)農林漁業世帯を含む。

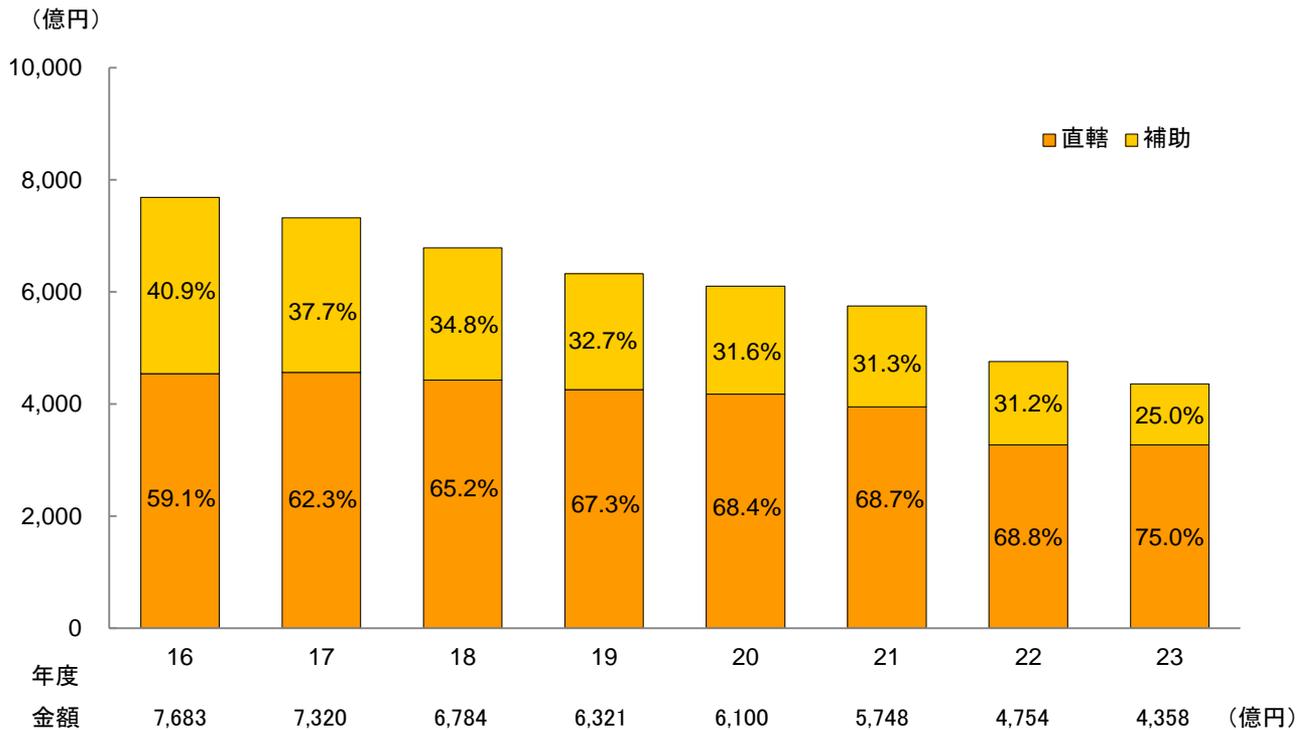
(3)消費者物価指数の推移



(資料)総務省

4. 投資

(1) 北海道開発事業費(当初)の推移

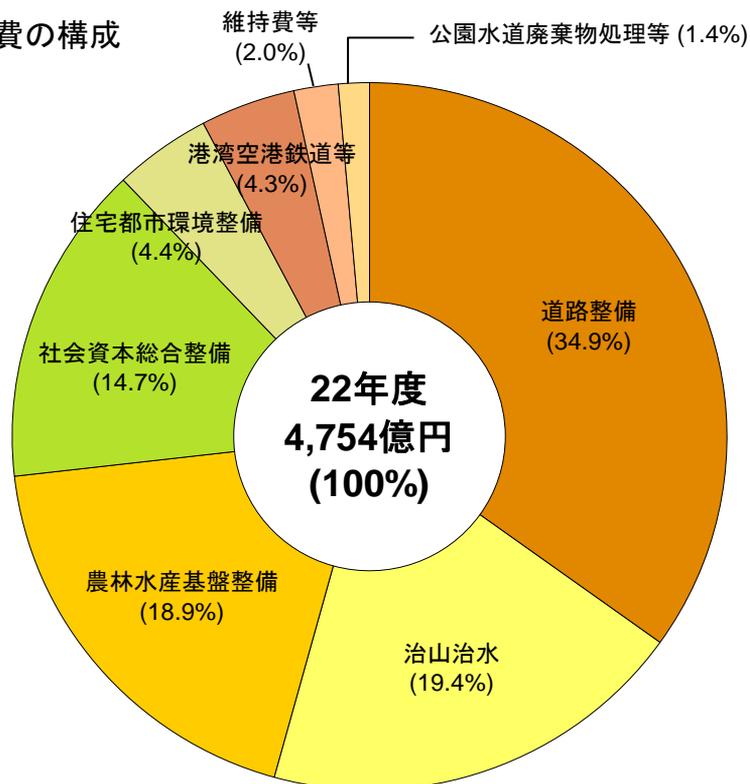


(資料)国土交通省 北海道開発局

(注1)予算額は国費である。

(注2)直轄補助率に推進費等は含まれていない。

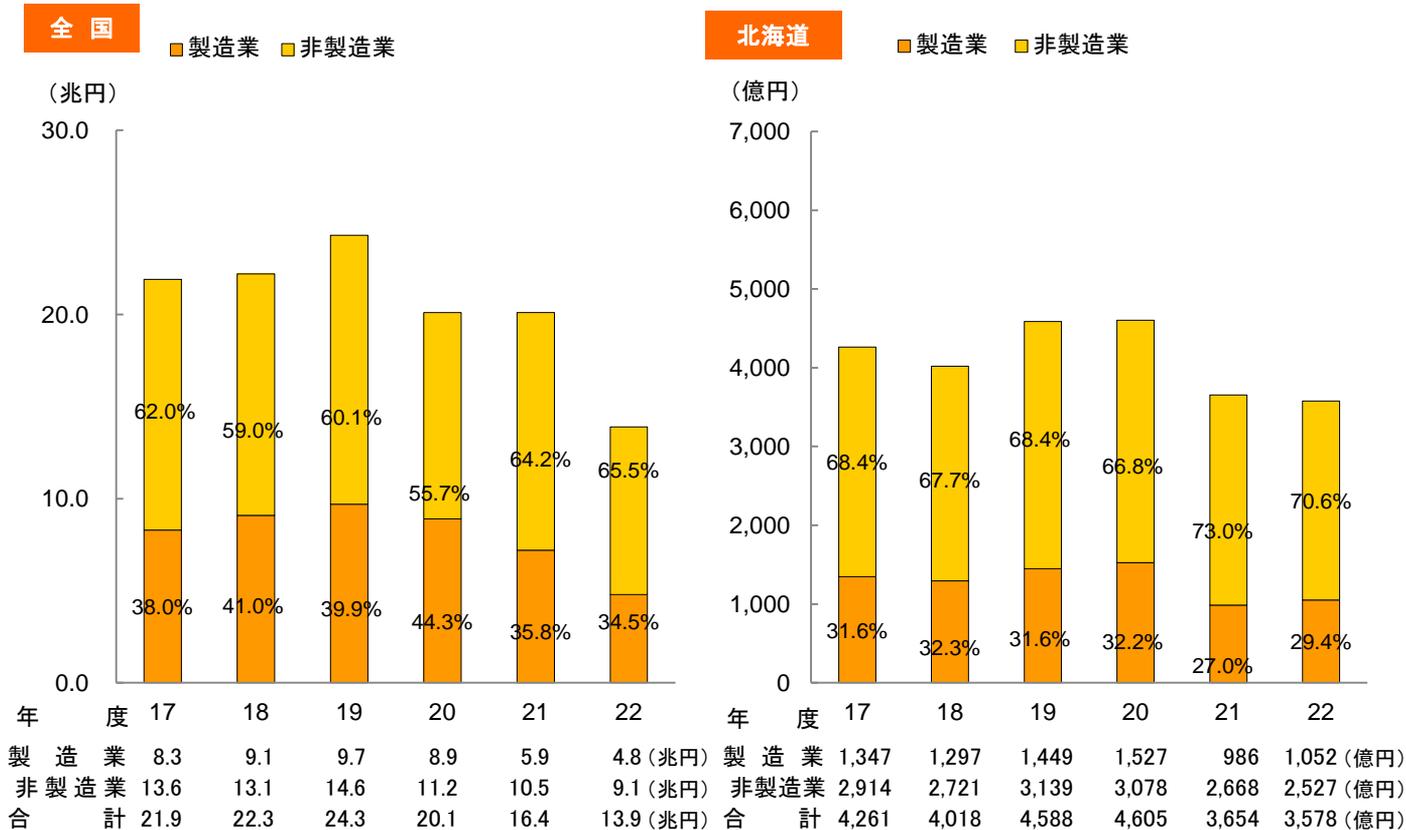
(2) 北海道開発事業費の構成



(注)四捨五入の関係で総額と内訳が一致しない場合がある。

(資料)国土交通省 北海道開発局

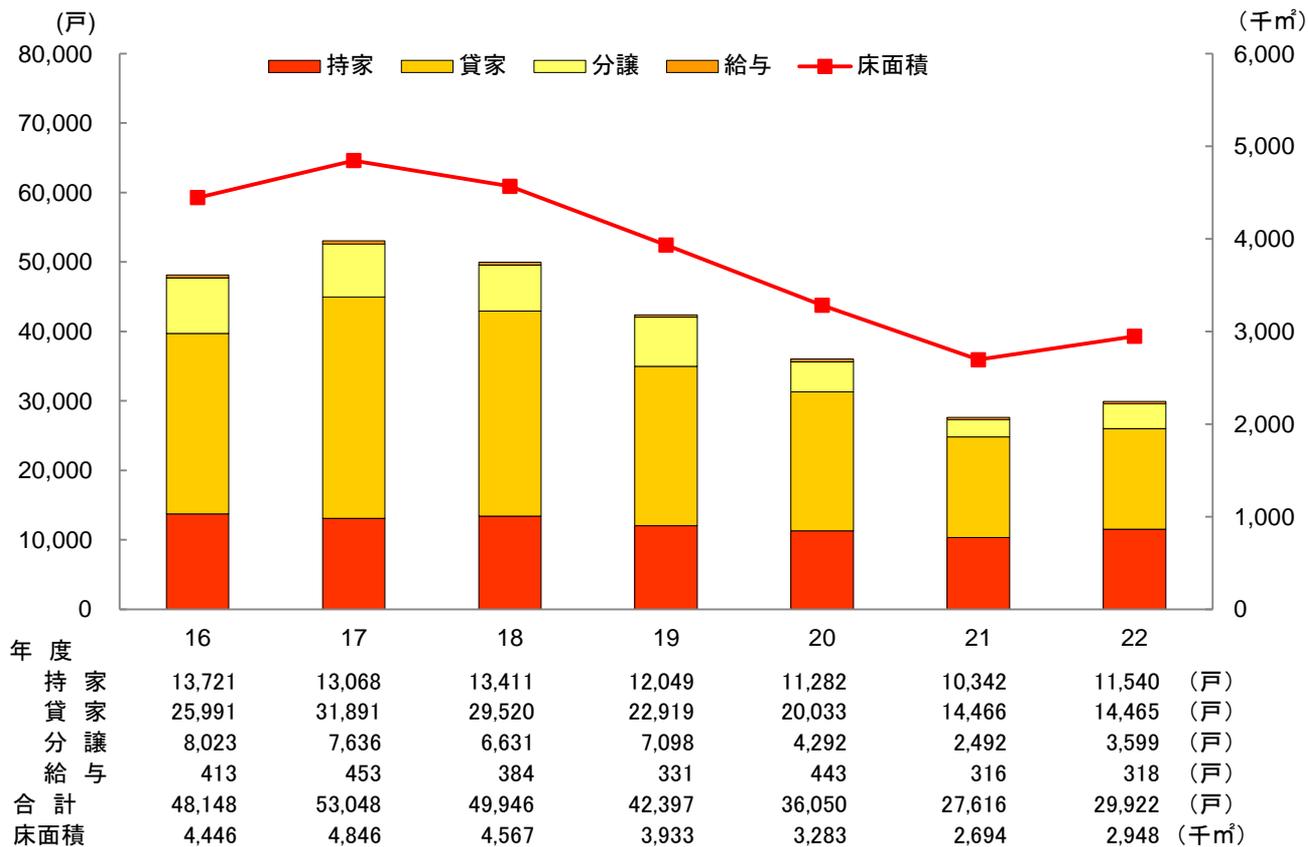
(3) 設備投資額



(資料) 日本政策投資銀行

(資料) 日本政策投資銀行

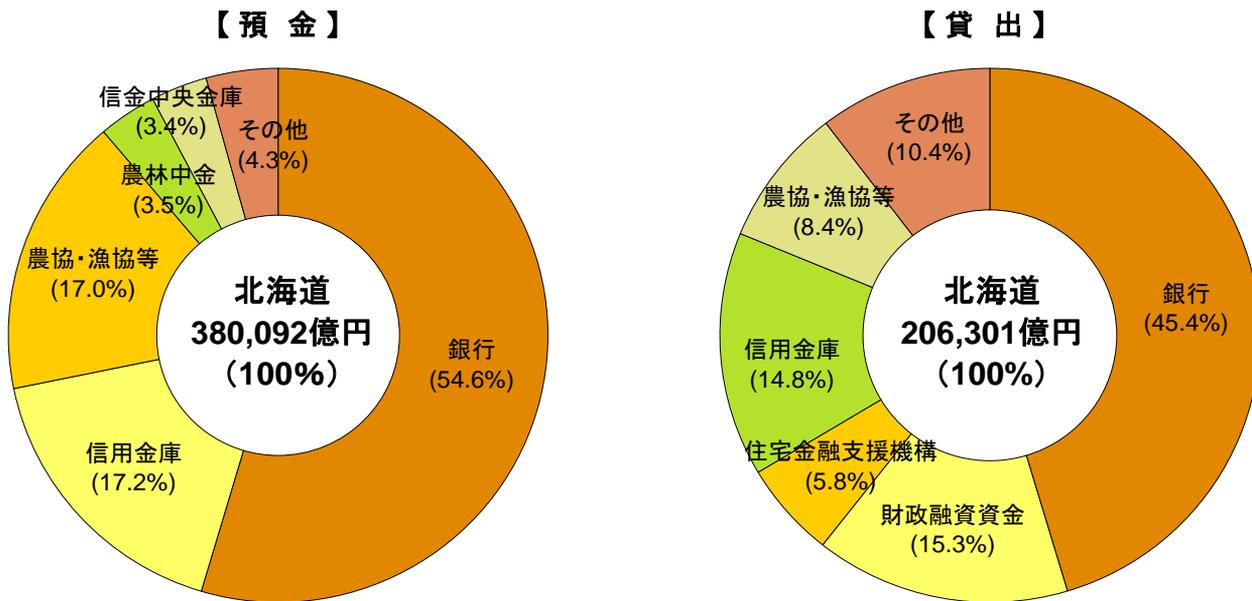
(4) 新設住宅着工の推移(北海道)



(資料) 国土交通省

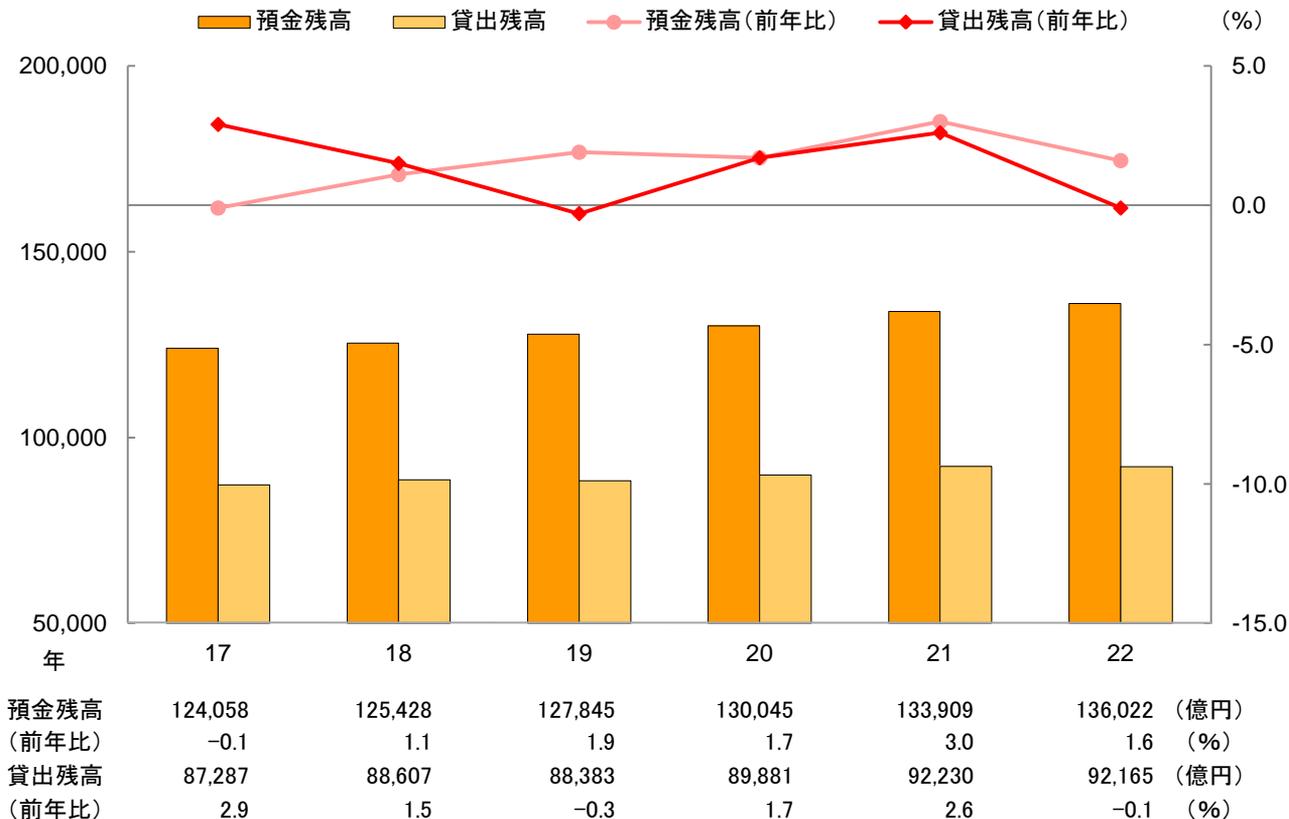
5. 金融

(1) 金融機関別預金・貸出残高の構成(22年末)



(資料)北海道財務局

(2) 銀行預金と貸出残高の推移(北海道)(各年末)

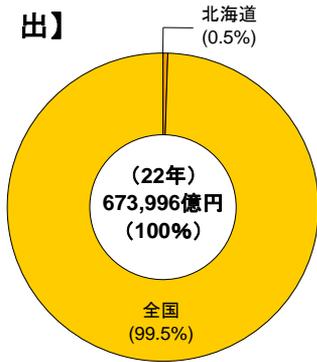


(資料)日本銀行

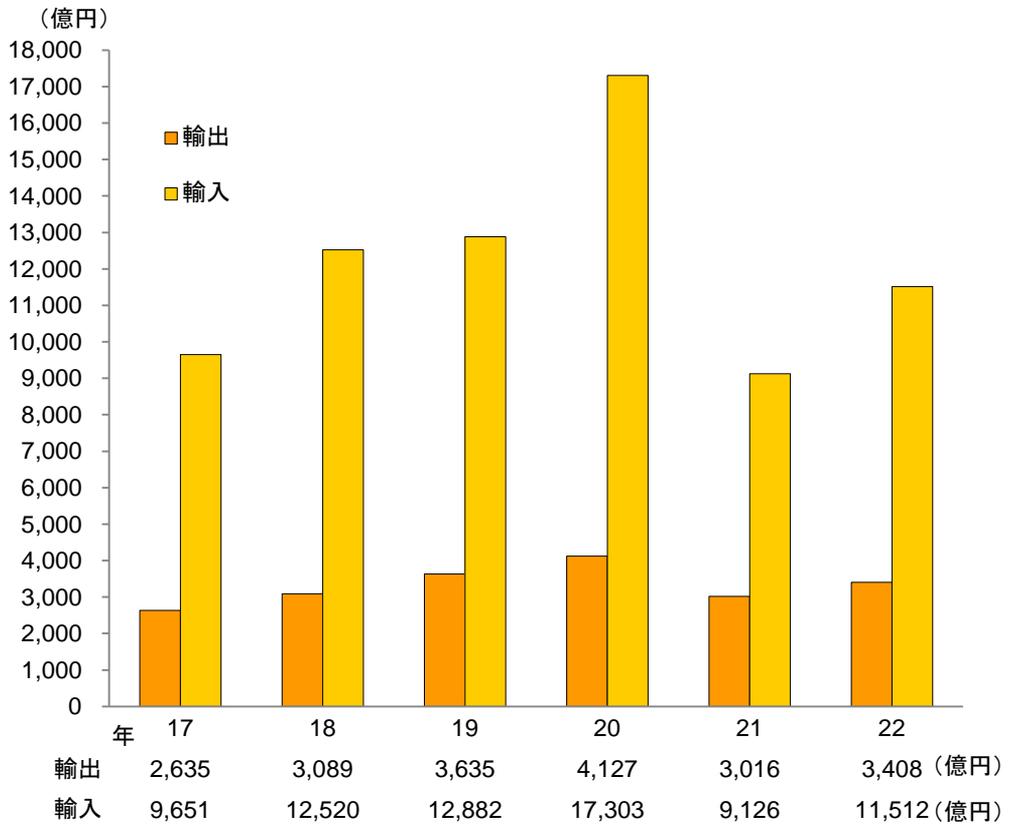
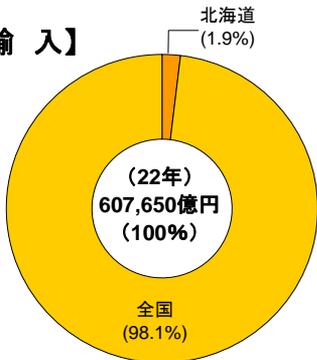
6. 貿易

(1) 輸出入額の推移

【輸出】



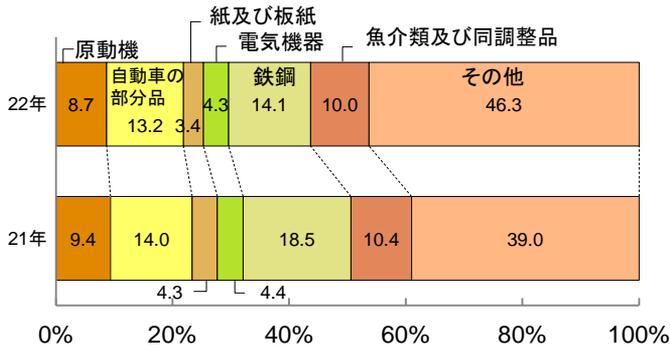
【輸入】



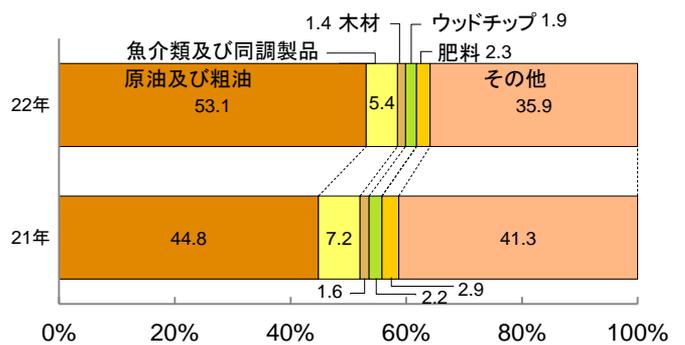
(資料)財務省「貿易統計」

(2) 品目別構成(北海道)

【輸出】



【輸入】



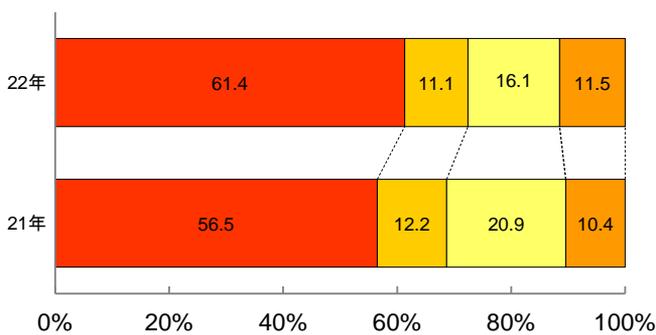
(資料)財務省「貿易統計」

(注)グラフ内の数字は貿易額の構成比(%)

(3) 地域別構成(北海道)

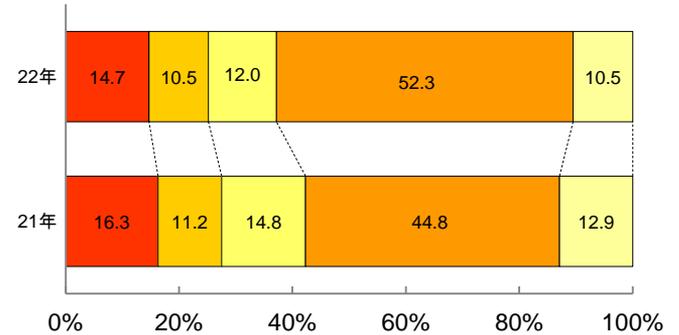
【輸出】

■アジア ■ヨーロッパ ■北アメリカ ■その他



【輸入】

■アジア ■ヨーロッパ ■北アメリカ ■中東 ■その他



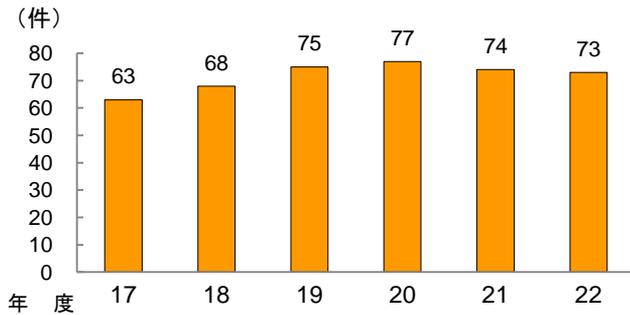
(資料)財務省「貿易統計」

(注)グラフ内の数字は貿易額の構成比(%)

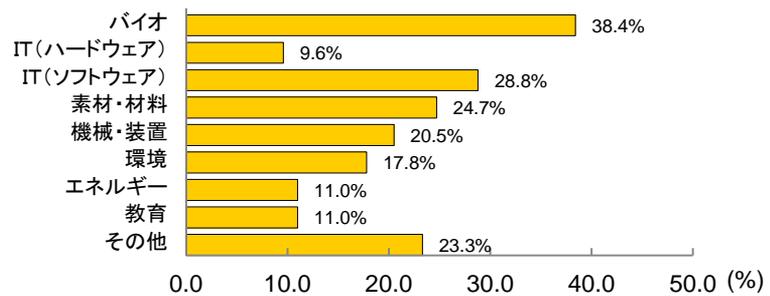
7. 創業・倒産

(1) 大学発ベンチャー設立数

大学発ベンチャー企業数(北海道)(23年3月末)



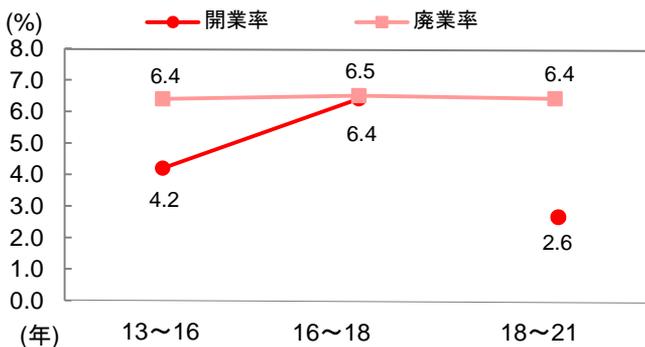
大学発ベンチャー事業分野の比較(北海道)(23年3月末)



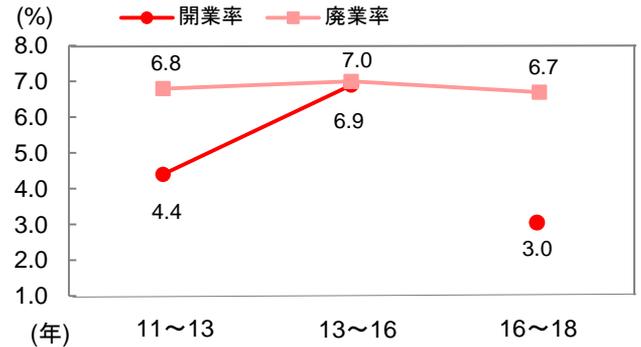
※複数分野の事業を行う企業もある。

(2) 開廃業率

全国



北海道



(資料) 総務省 平成11~18年「事業所・企業統計調査」(ただし11、16年は簡易調査)、平成18~21年「経済センサス基礎調査」を加工

(注1) 「開業率」=年平均開業事業所数/期首の事業所数×100。

※平成18~21年の数値:開業事業所数、期首(平成18年)の事業所数は、「平成21年経済センサス基礎調査」から算出。

(注2) 「廃業率」=年平均廃業事業所数/期首の事業所数×100。

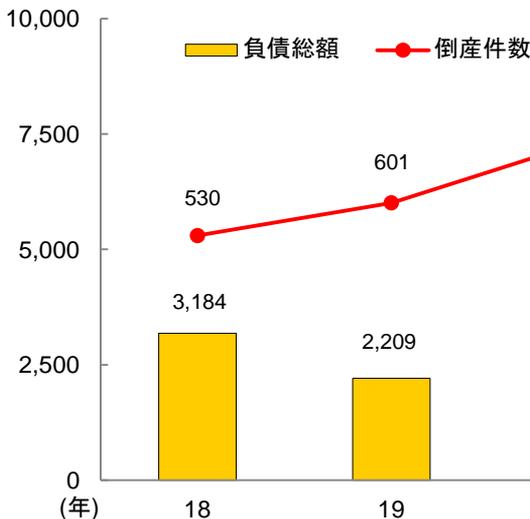
※平成18~21年の数値:廃業事業所数は、「平成18年事業所・企業統計調査」で調査された事業所のうち、「平成21年経済センサス基礎調査」で把握されなかった事業所数。このため、期首(平成18年)の事業所数は、「平成18年事業所・企業統計調査」の数値を用いた。

(注3) 開業率については、算出に用いる「開業事業所数」について、「事業所・企業統計調査」と「経済センサス基礎調査」では、調査手法・調査内容等が異なるため、その算出方法が変わっており、18~21年の数値とそれ以前の数値を単純に比較できない。また、18~21年の開業率と廃業率についても、その算出に用いる、「開業事業所数」と「廃業事業所数」の算出方法が違う等、単純に比較できない。

開廃業率算出の詳細については、中小企業白書2011年版P182をご参照下さい。

(3) 企業倒産件数及び負債金額の推移(北海道)

(億円)

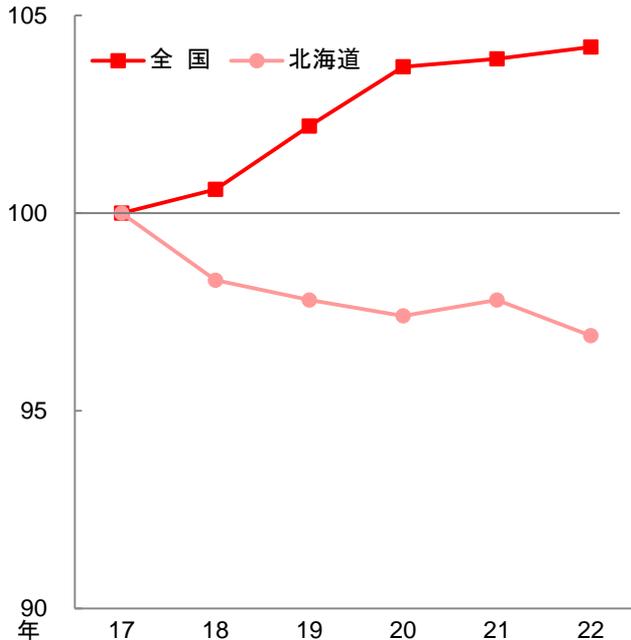


(件)

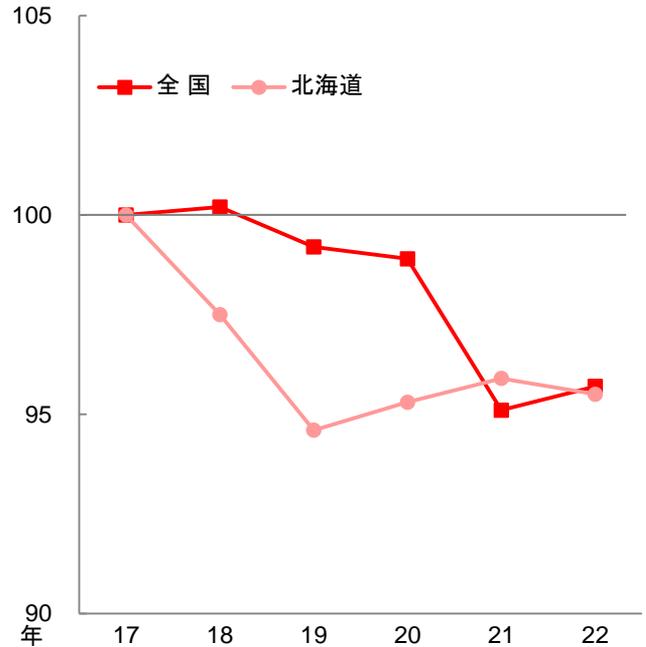
(資料) (株)東京商工リサーチ

8. 労働

(1) 雇用指数の推移(常用)(17年=100)



(2) 賃金指数の推移(実質)(17年=100)



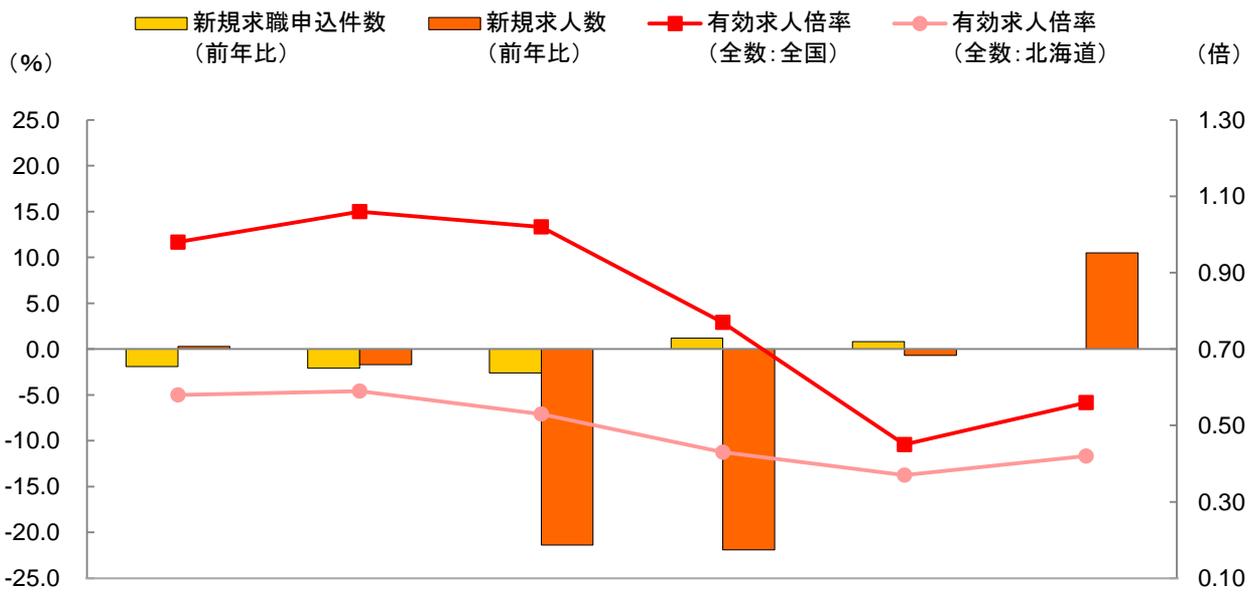
| 90年 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 全国 | 100.0 | 100.6 | 102.2 | 103.7 | 103.9 | 104.2 |
| 北海道 | 100.0 | 98.3 | 97.8 | 97.4 | 97.8 | 96.9 |

| 90年 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
|-----|-------|-------|------|------|------|------|
| 全国 | 100.0 | 100.2 | 99.2 | 98.9 | 95.1 | 95.7 |
| 北海道 | 100.0 | 97.5 | 94.6 | 95.3 | 95.9 | 95.5 |

(注)規模5人以上

(資料)全国:厚生労働省、北海道:北海道

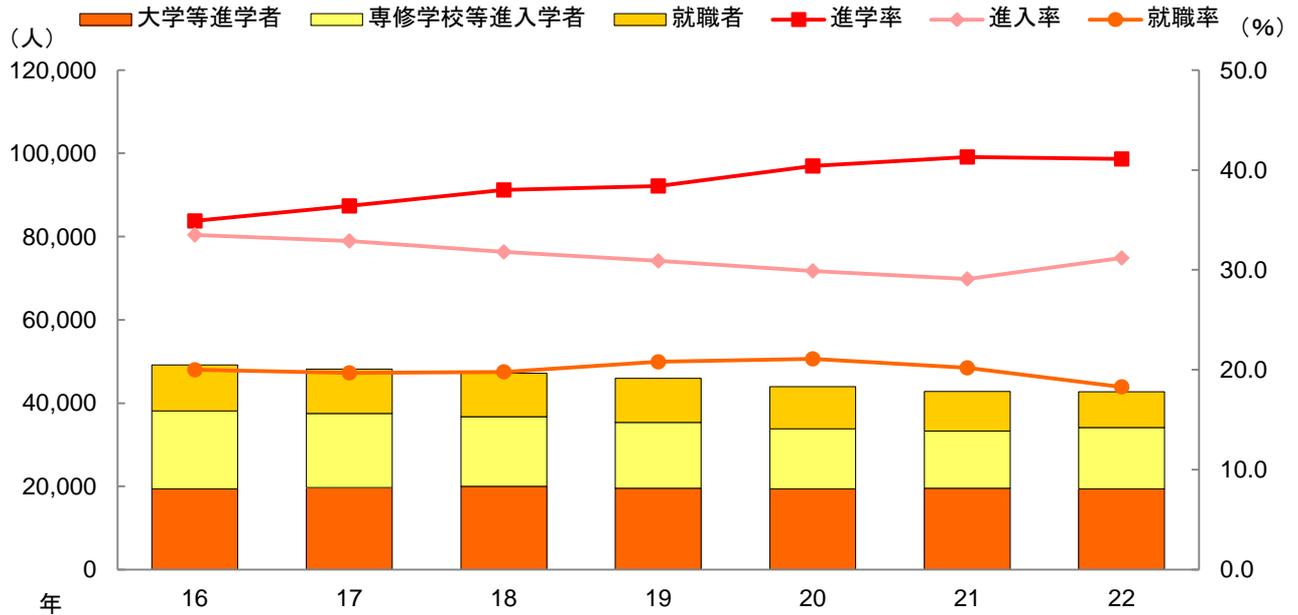
(3) 有効求人倍率の推移



| 年度 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
|----------------|------|------|-------|-------|------|----------|
| 有効求人倍率(全数:全国) | 0.98 | 1.06 | 1.02 | 0.77 | 0.45 | 0.56 (倍) |
| 有効求人倍率(全数:北海道) | 0.58 | 0.59 | 0.53 | 0.43 | 0.37 | 0.42 (倍) |
| 新規求職申込件数(前年比) | -1.9 | -2.1 | -2.6 | 1.2 | 0.8 | -0.0 (%) |
| 新規求人数(前年比) | 0.3 | -1.7 | -21.4 | -21.9 | -0.7 | 10.5 (%) |

(資料)厚生労働省

(4) 高等学校の進路別卒業生数の推移(北海道)



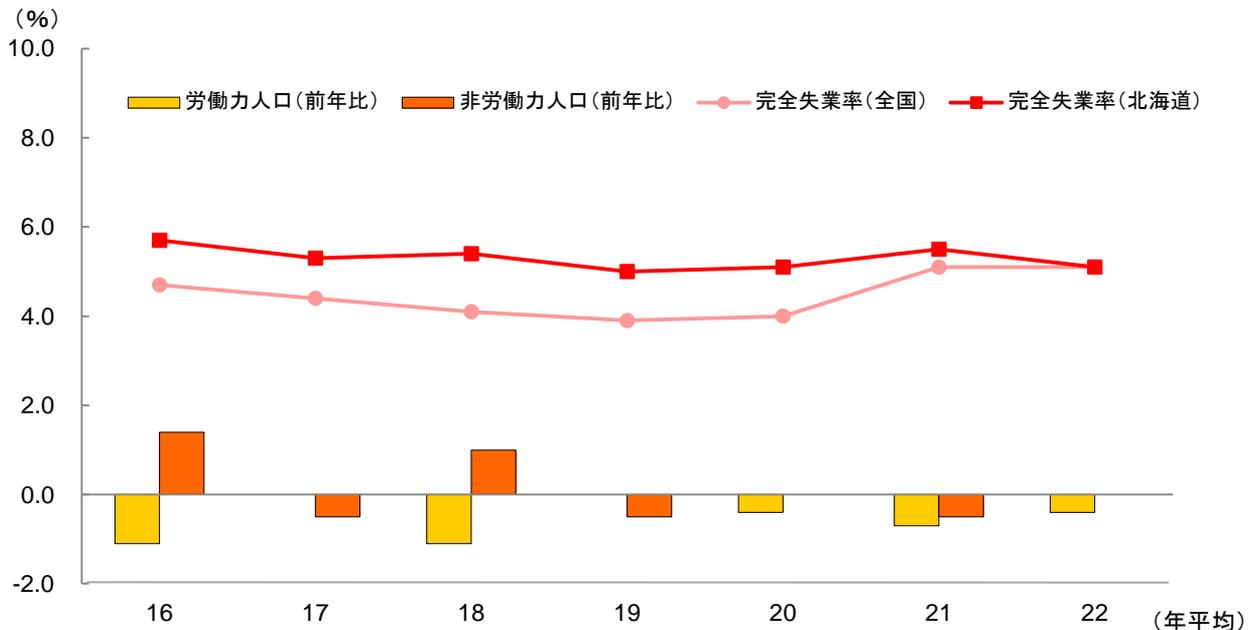
| 年 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
|---------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 大学等進学者 (進学率) | 19,452 34.9 | 19,724 36.4 | 20,006 38.0 | 19,597 38.4 | 19,447 40.4 | 19,546 41.3 | 19,397 41.1 |
| 専修学校等進入学者 (進入学率) | 18,676 33.5 | 17,824 32.9 | 16,780 31.8 | 15,779 30.9 | 14,393 29.9 | 13,775 29.1 | 14,760 31.2 |
| 就職者 就職率 | 11,065 20.0 | 10,597 19.7 | 10,397 19.8 | 10,589 20.8 | 10,139 21.1 | 9,496 20.2 | 8,595 18.3 |

(注1) 大学等進学者とは、大学、短期大学、放送大学、高等学校専攻科、盲学校・聾学校・養護学校(高等部専攻科)へ進学した者。
(就職して進学した者を含む)

(注2) 専修学校等進入学者とは、専修学校(一般課程及び高等課程)及び各種学校に進入学した者。(就職して入学した者を含む)

(資料) 北海道

(5) 完全失業率と労働力人口の推移



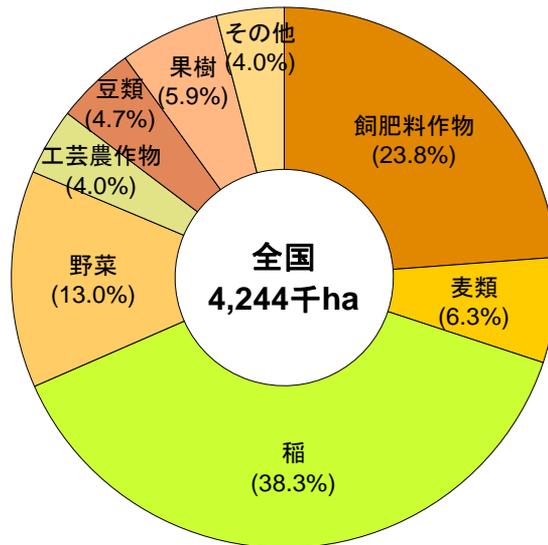
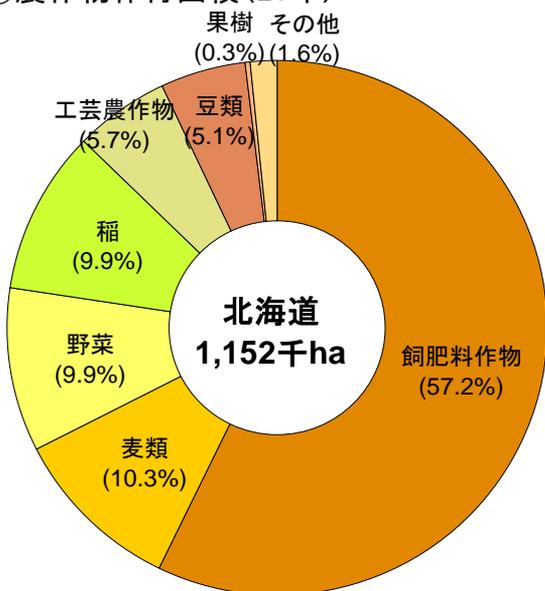
| | | | | | | | | |
|-------------|------|------|------|------|------|------|------|-----|
| 完全失業率(全国) | 4.7 | 4.4 | 4.1 | 3.9 | 4.0 | 5.1 | 5.1 | (%) |
| 完全失業率(北海道) | 5.7 | 5.3 | 5.4 | 5.0 | 5.1 | 5.5 | 5.1 | (%) |
| 労働力人口(前年比) | -1.1 | 0.0 | -1.1 | 0.0 | -0.4 | -0.7 | -0.4 | (%) |
| 非労働力人口(前年比) | 1.4 | -0.5 | 1.0 | -0.5 | 0.0 | -0.5 | 0.0 | (%) |

(資料) 全国: 総務省、北海道: 北海道

1. 農林水産業

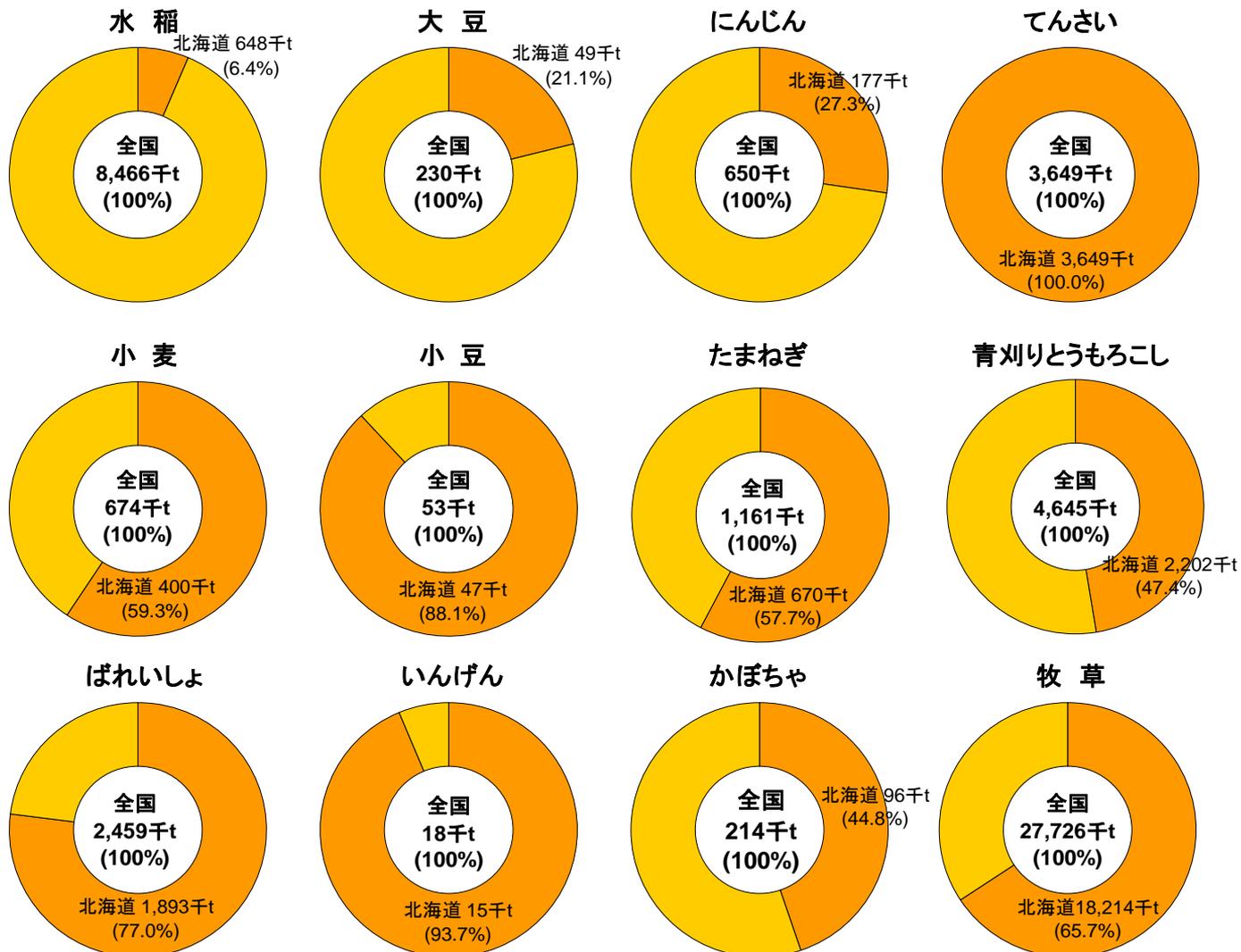
(1) 農業

① 農作物作付面積(21年)



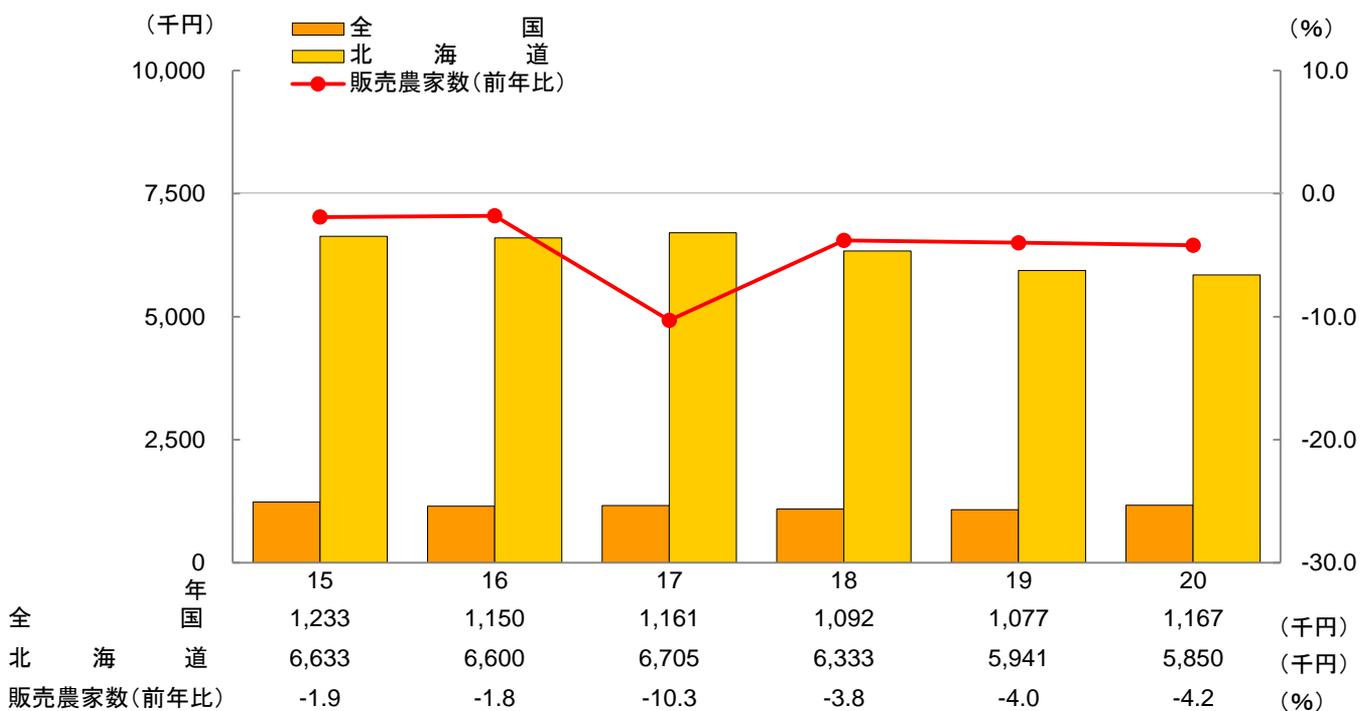
(資料) 農林水産省北海道統計・情報事務所

② 主要農作物の収穫量(北海道)(21年)



(資料) 農林水産省北海道統計・情報事務所

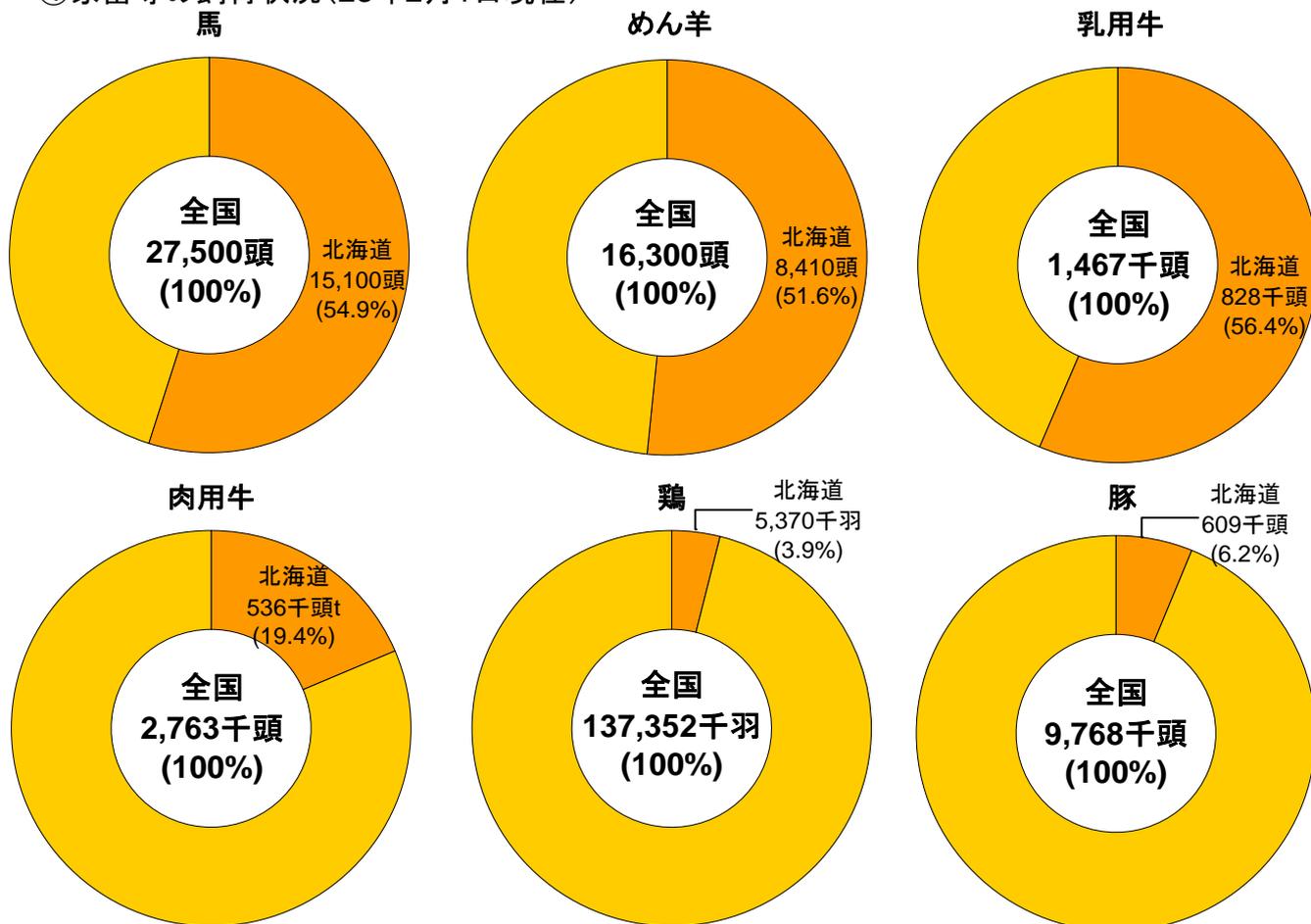
③一戸当たり生産農業所得及び販売農家数の推移



(資料)農林水産省北海道統計・情報事務所

(注)販売農家数について平成16年までは1月1日現在、平成17年以降は2月1日現在

④家畜等の飼育状況(23年2月1日現在)

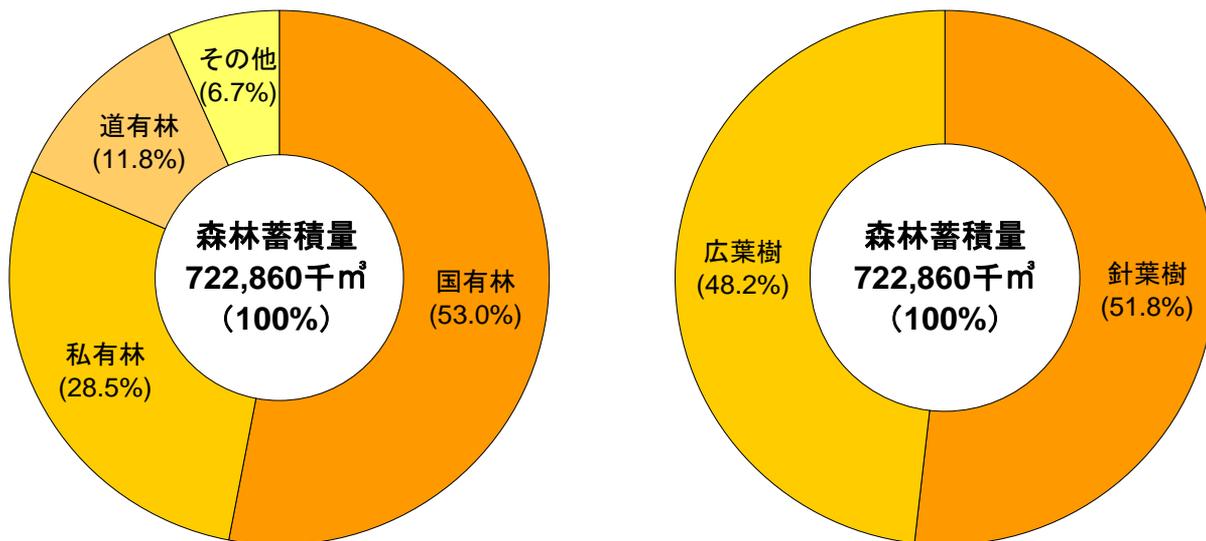


(注)馬(軽種馬を除く)、めん羊は平成9年2月1日現在、鶏は採卵鶏の成鶏めす

(資料)農林水産省北海道統計・情報事務所

(2) 林業

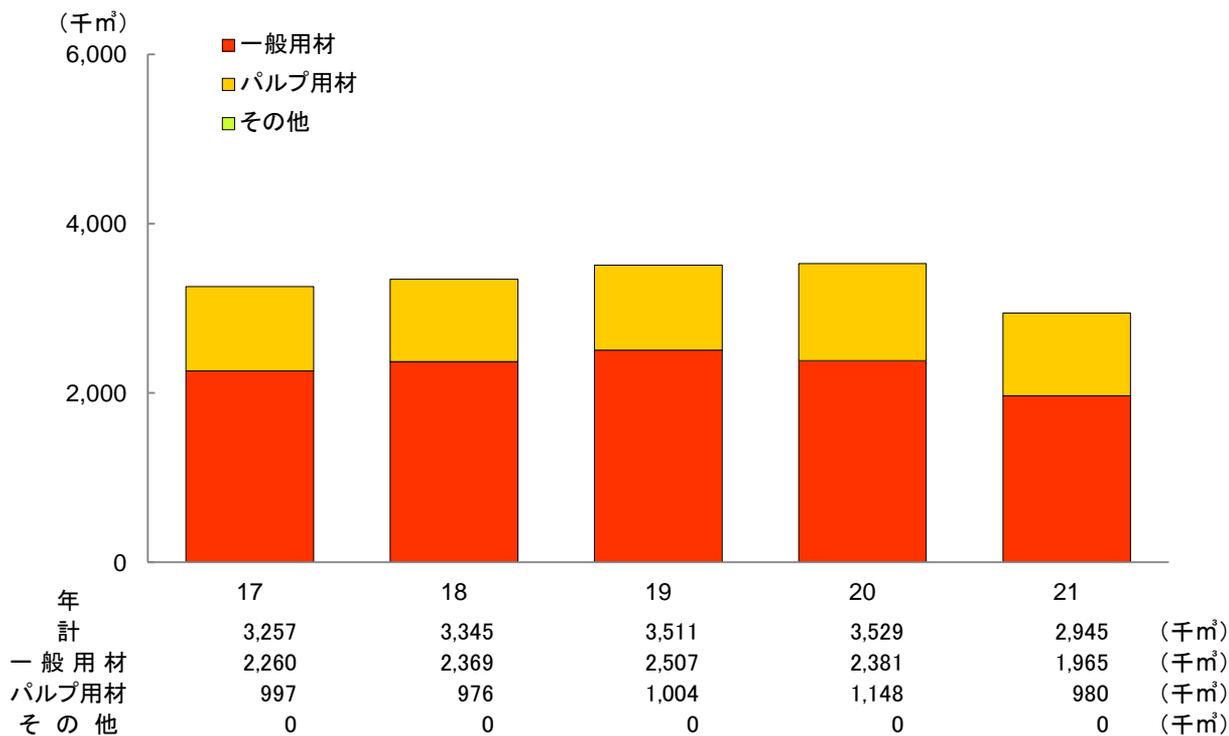
① 樹種別森林蓄積量(北海道)
平成22年4月1日現在



(注) 国立大学法人演習林及び独立行政法人が所轄する森林は「私有林」に含む。
(資料) 北海道

② 素材生産の推移(北海道)

平成21年、素材生産は全国で16,619千m³、うち北海道は2,945千m³ (全国比17.7%)

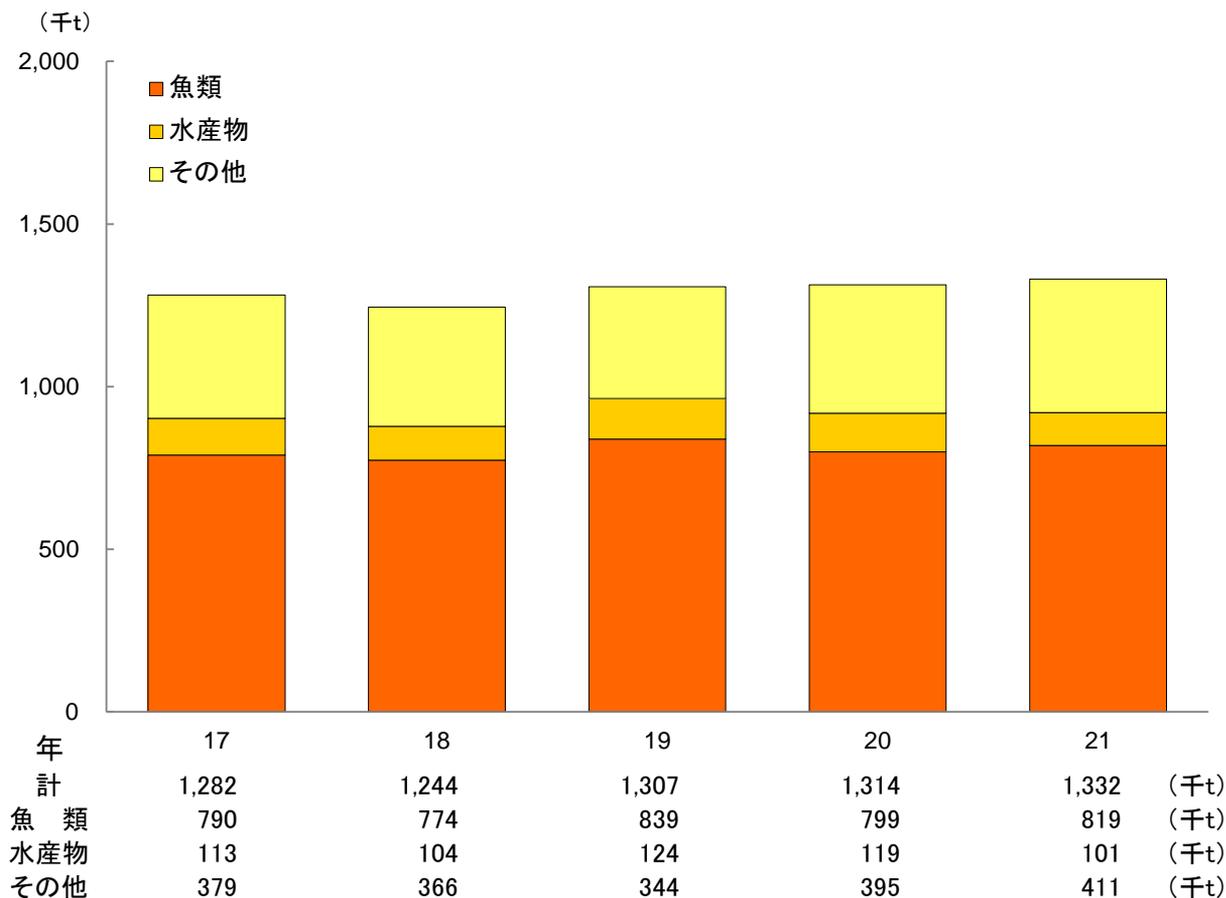


(資料) 農林水産省北海道統計・情報事務所

(3)水産業

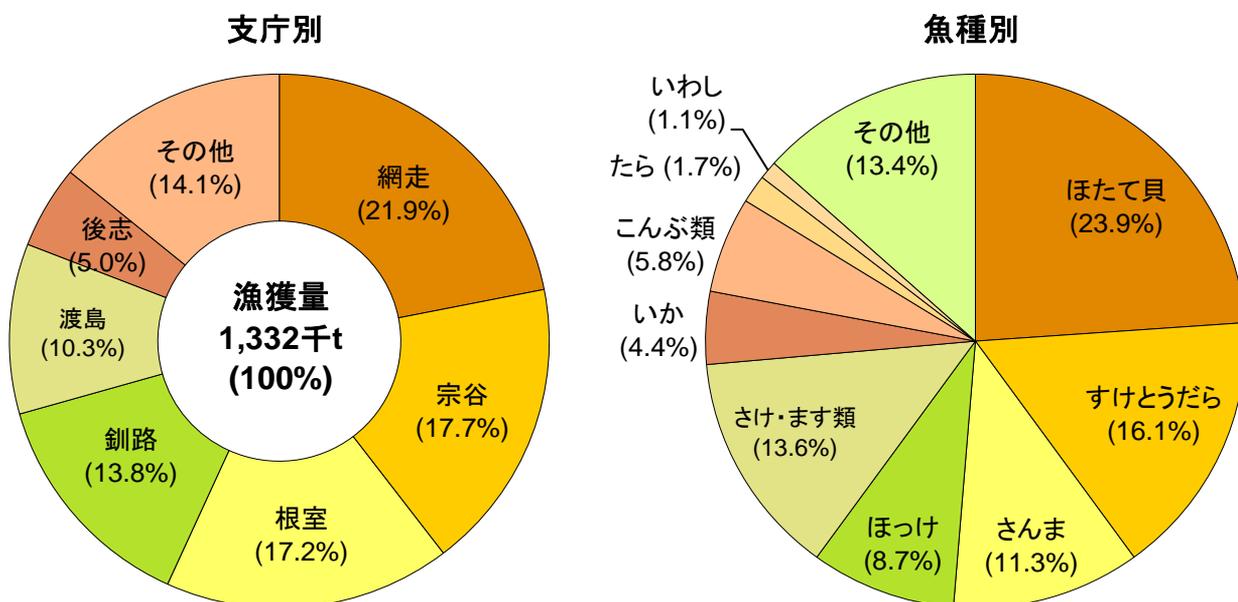
①漁獲量の推移(北海道)

平成21年、漁獲量は全国で4,147千t、うち北海道は1,332千t(全国比32.1%)



(資料)農林水産省北海道統計・情報事務所

②漁獲量の構成(北海道)(21年)

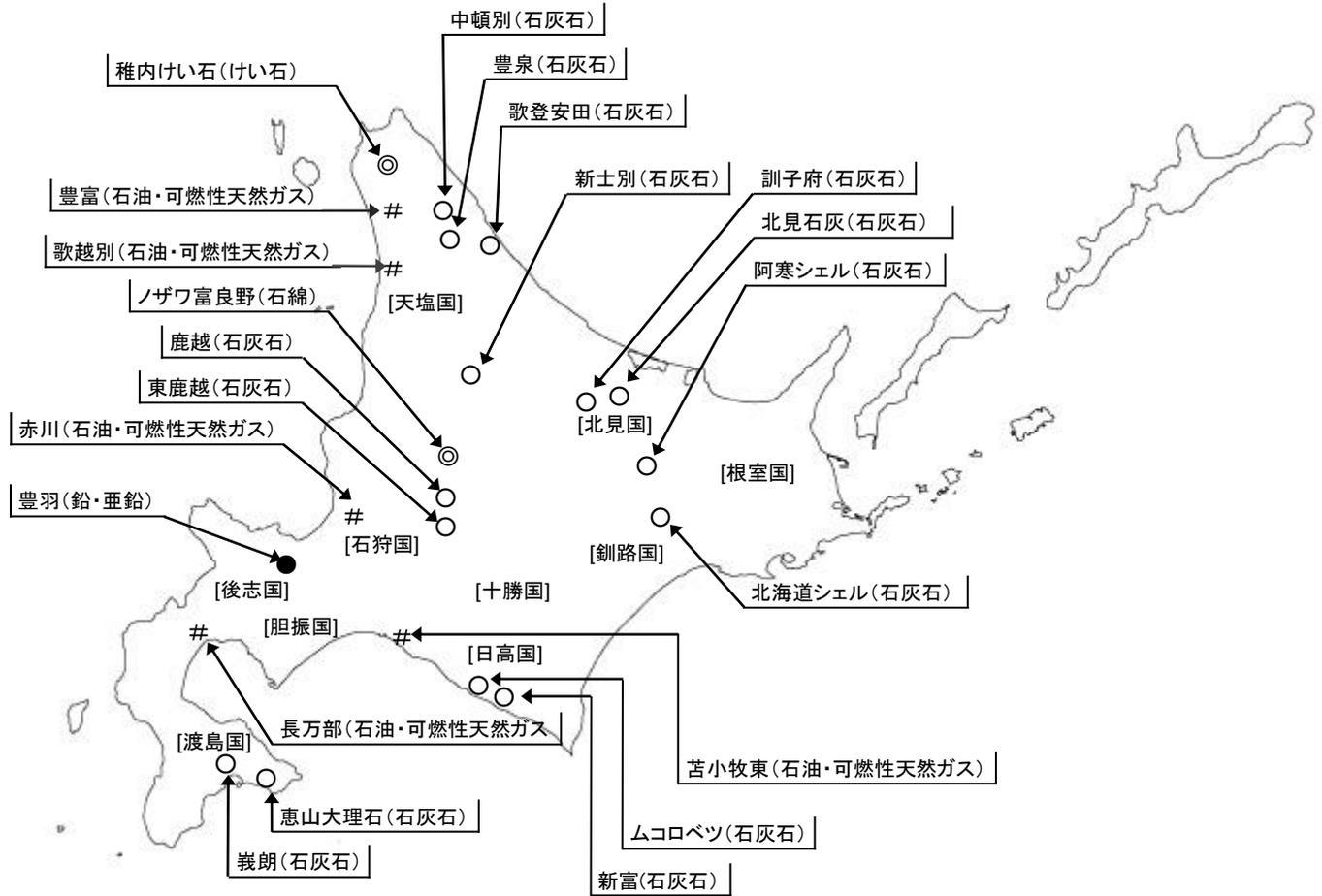


(注)海面漁業(属人)

(資料)農林水産省北海道統計・情報事務所

2. 金属・非金属鉱業

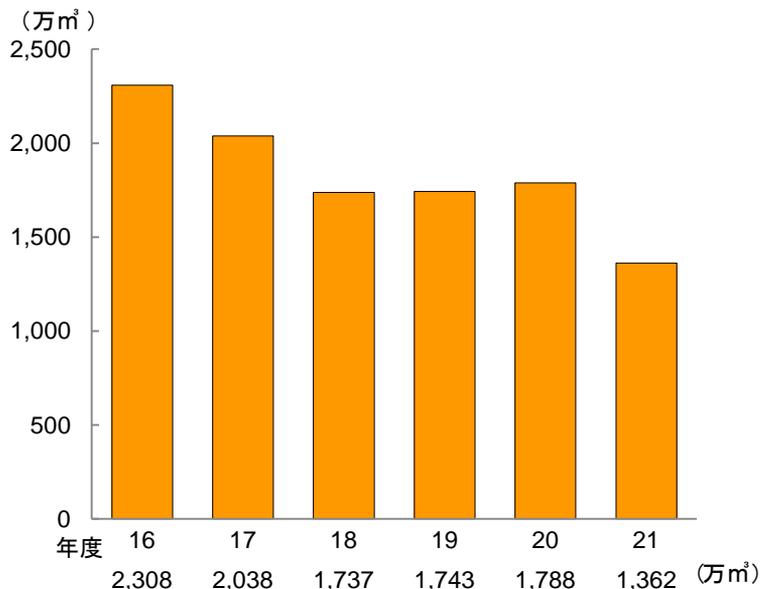
(1) 稼行鉱山の分布状況 平成23年11月末現在



(2) 砂利採取量の推移

平成21年度、砂利採取量は全国で10,859万³、うち北海道は1,362万³（全国比12.5%）

砂利採取の推移（北海道）

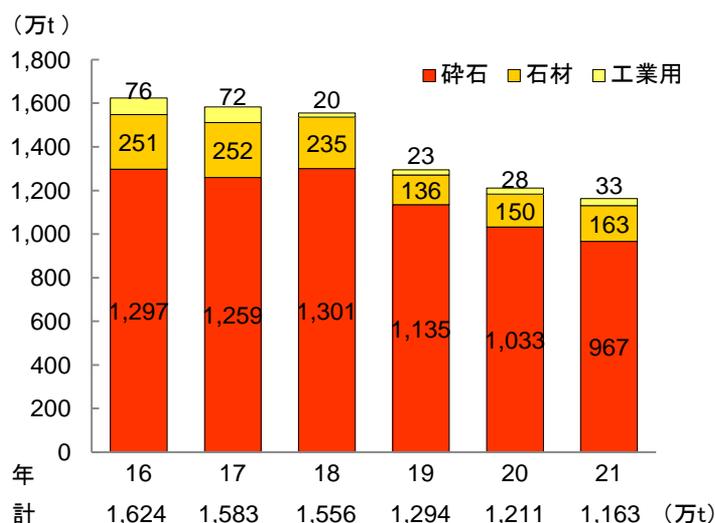


(注) 砂利採取法第33条に基づく報告による。

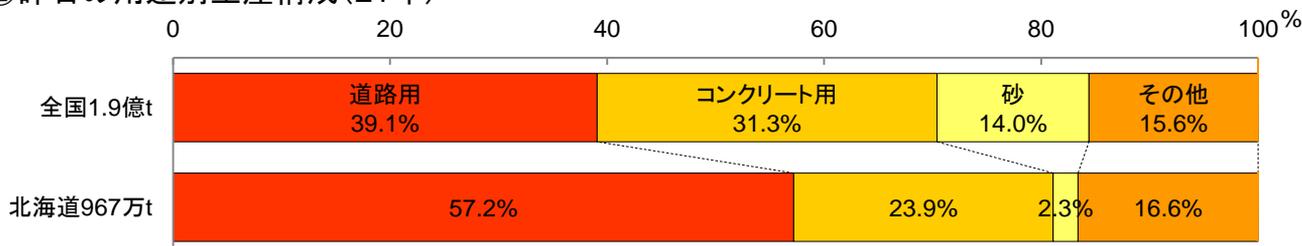
(4) 採石生産状況

① 採石生産量の推移（北海道）

平成21年度、採石生産量は全国で2.4億t、うち北海道は1,163万t（全国比4.8%）



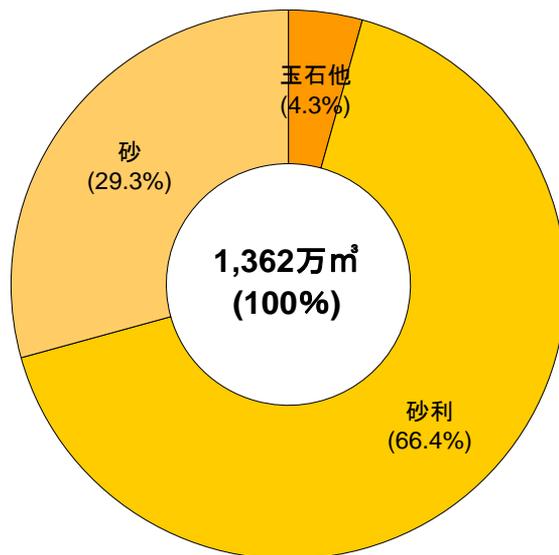
② 砕石の用途別生産構成（21年）



(注) 採石法施行規則第11条に基づく報告による。

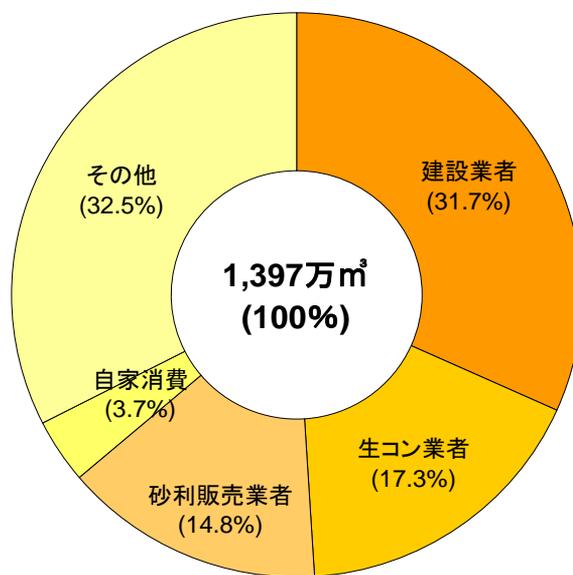
(3) 砂利採取・出荷量の構成（北海道）

① 種類別砂利採取量（21年度）



(注) 砂利採取法第33条に基づく報告による。

② 砂利出荷量（21年度）



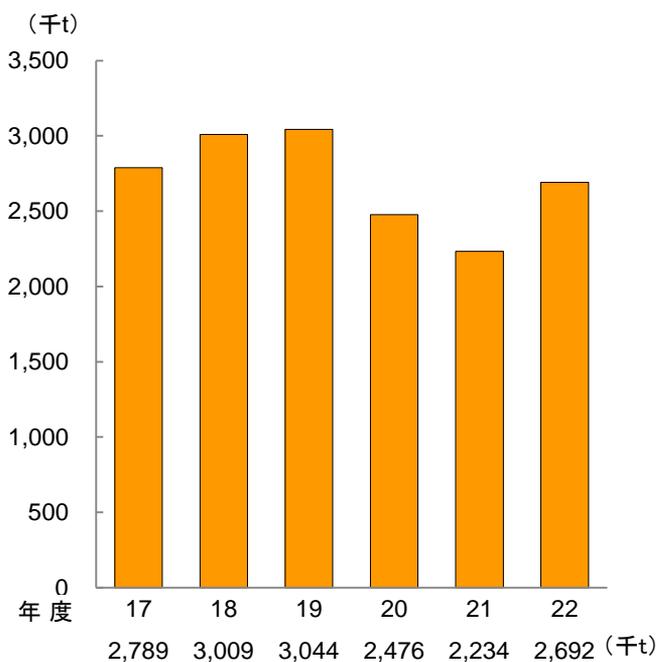
(注) 事務処理状況報告による。

3. 製造業(北海道)

(1) 鉄鋼業

平成22年度、粗鋼生産は全国で110,792千t、うち北海道は2,692千t(全国比2.4%)

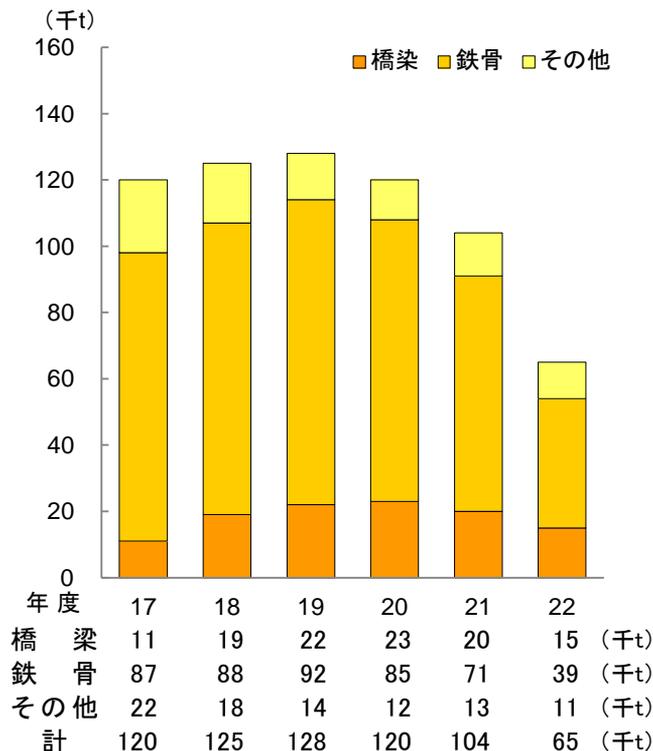
粗鋼生産の推移



(2) 金属製品工業

平成22年度、鉄構物生産は全国で1,750千t、うち北海道は65千t(全国比3.7%)

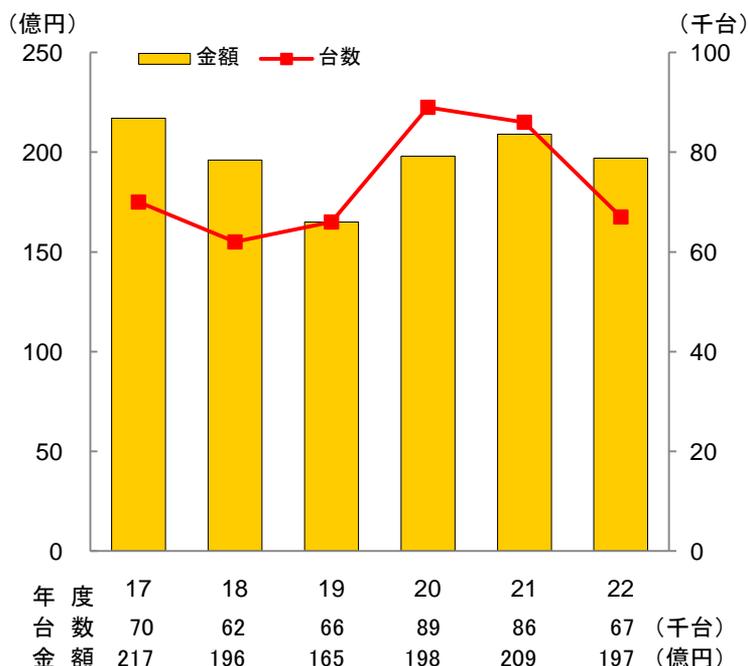
鉄構物生産の推移



(注) 全国は鉄骨、軽量鉄骨、橋梁、鉄塔の合計。

(3) 機械工業

農業機械生産の推移

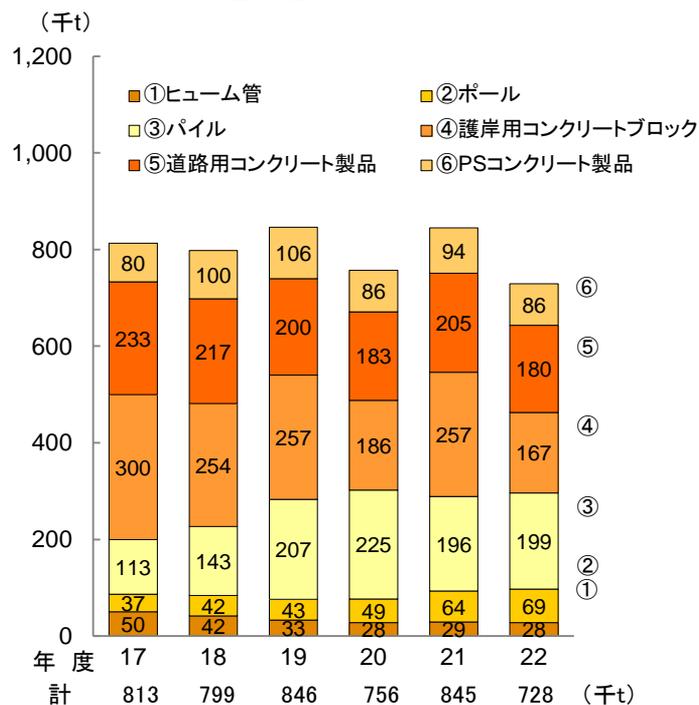


(資料) 社団法人北海道農業機械工業会

(4) 窯業・土石製品工業

平成22年度、セメント製品生産は全国で8,637千t、うち北海道は728千t(全国比8.4%)

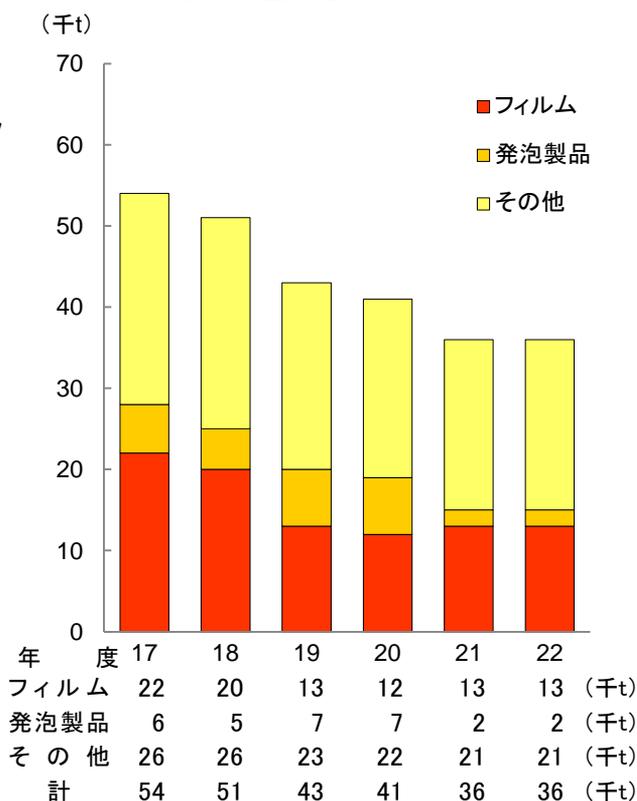
セメント製品生産の推移



(5) プラスチック製品工業

平成22年度、プラスチック製品生産は全国で5,734千t、うち北海道は36千t(全国比0.6%)

プラスチック製品生産の推移



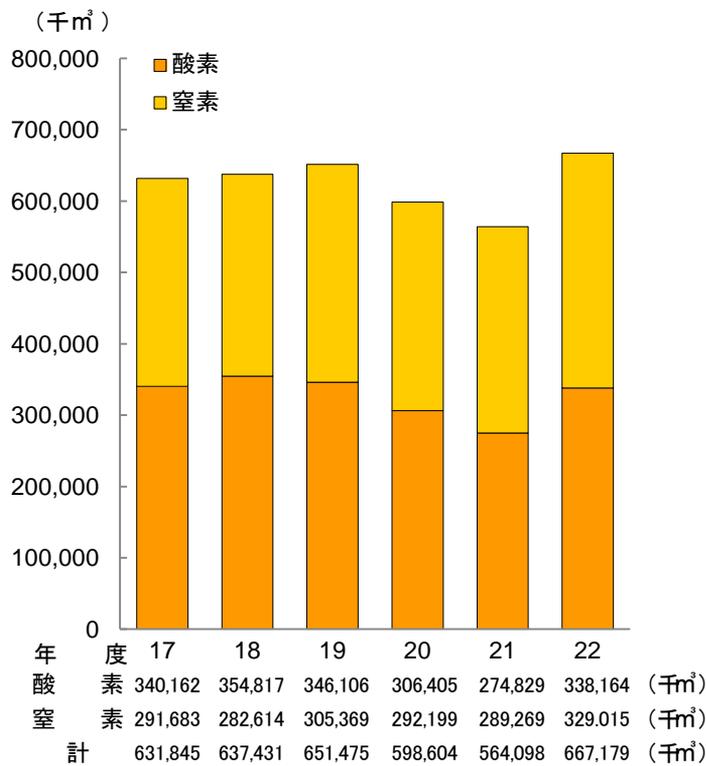
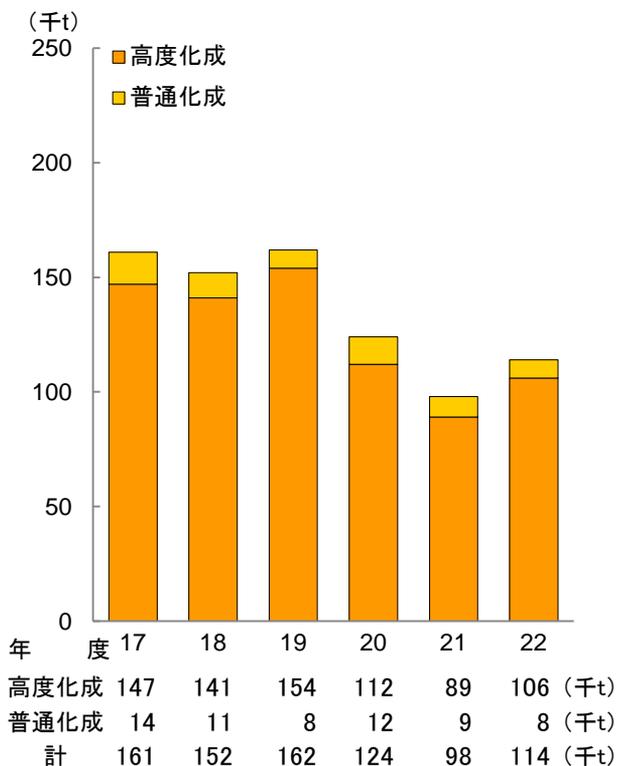
(6) 化学工業

① 複合肥料生産の推移

平成22年度、複合肥料生産は全国で1,004千t、うち北海道は114千t(全国比11.4%)

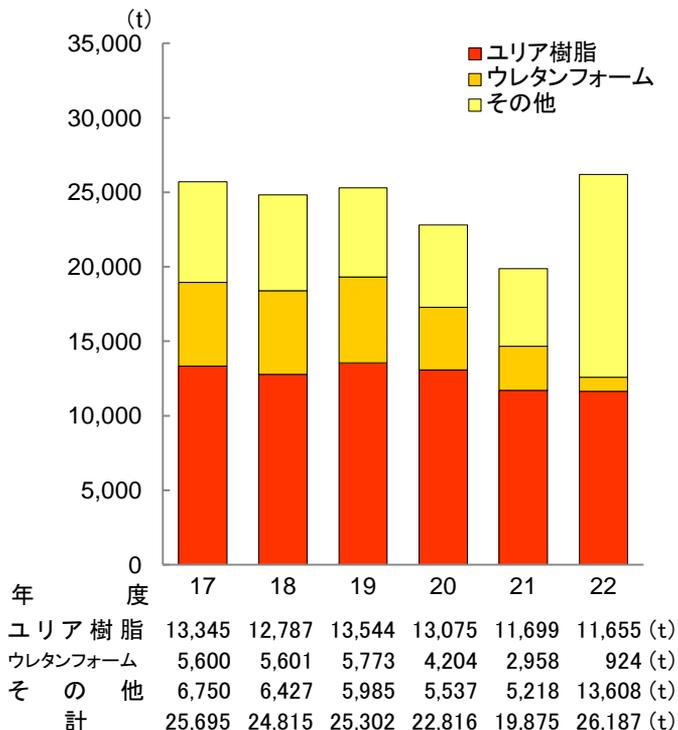
② 高圧ガス生産の推移

平成22年度、高圧ガス生産は全国で26,146,548千m³、うち北海道は667,179千m³(全国比2.6%)



③プラスチック生産の推移

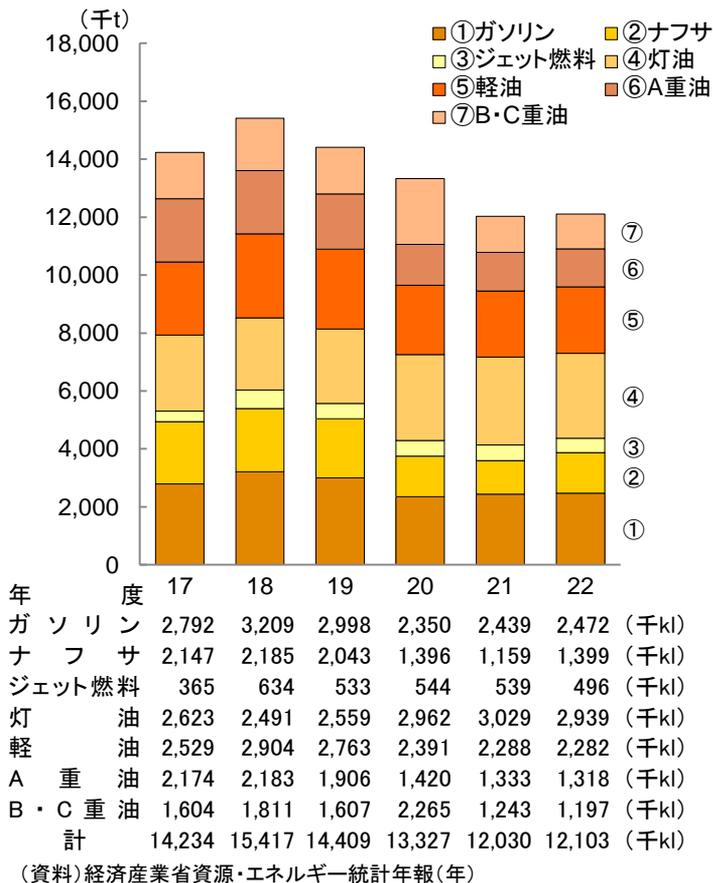
平成22年度、プラスチック生産は全国で743,984t、うち北海道は26,187t(全国比3.5%)



(注)全国はユリア樹脂、フェノール樹脂・ウレタンフォーム、メラミン樹脂、不飽和ポリエステル樹脂の合計

(7)石油製品工業

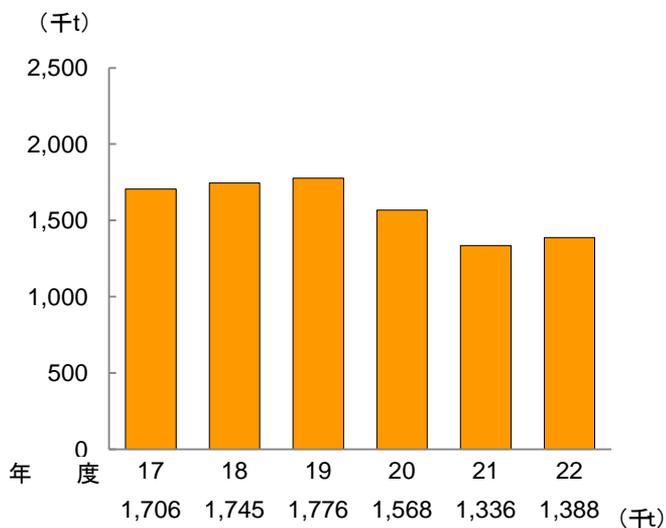
平成22年度、石油製品生産は全国で184,926千kl、うち北海道は12,103千kl(全国比6.5%)



(8)パルプ・紙・紙加工品工業

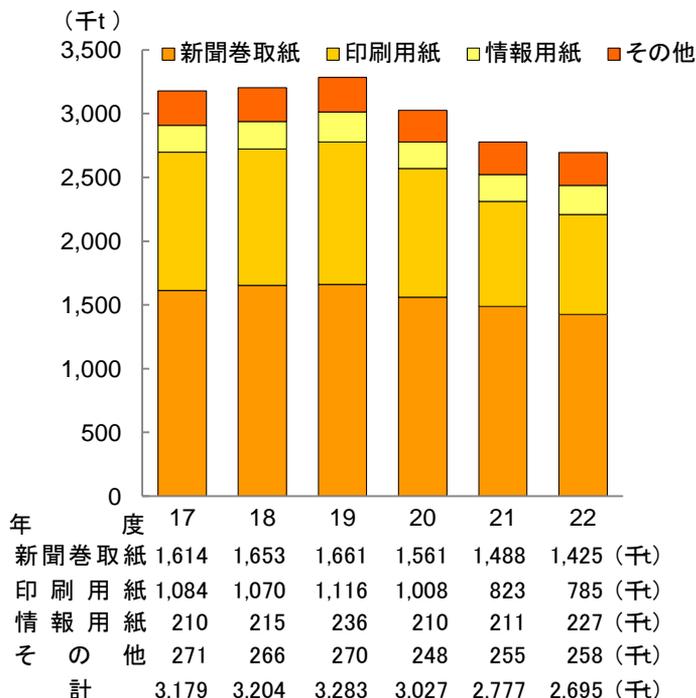
①パルプ生産の推移

平成22年度、パルプ生産は全国で9,413千t、うち北海道は1,388千t(全国比14.7%)



②紙生産の推移

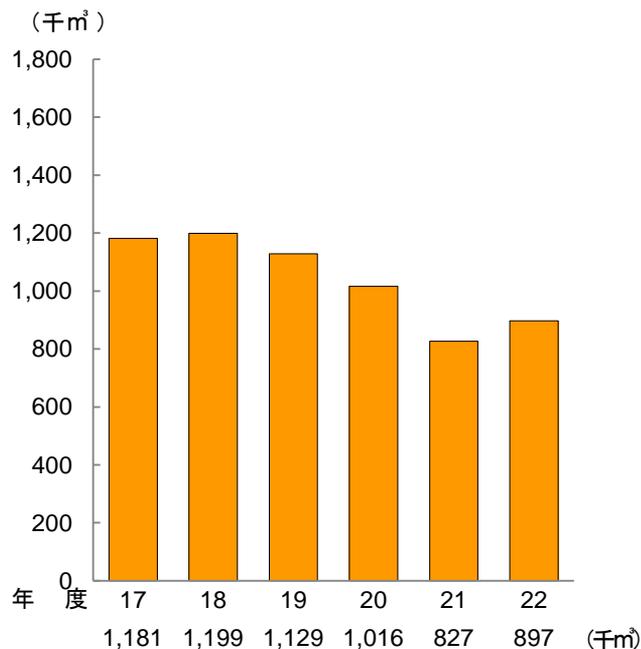
平成22年度、紙生産は全国で16,269千t、うち北海道は2,695千t(全国比16.6%)



(9) 木材・木製品工業

平成22年度、一般製材生産は全国で9,348千 m^3 、うち北海道は897千 m^3 (全国比9.6%)

一般製材生産の推移

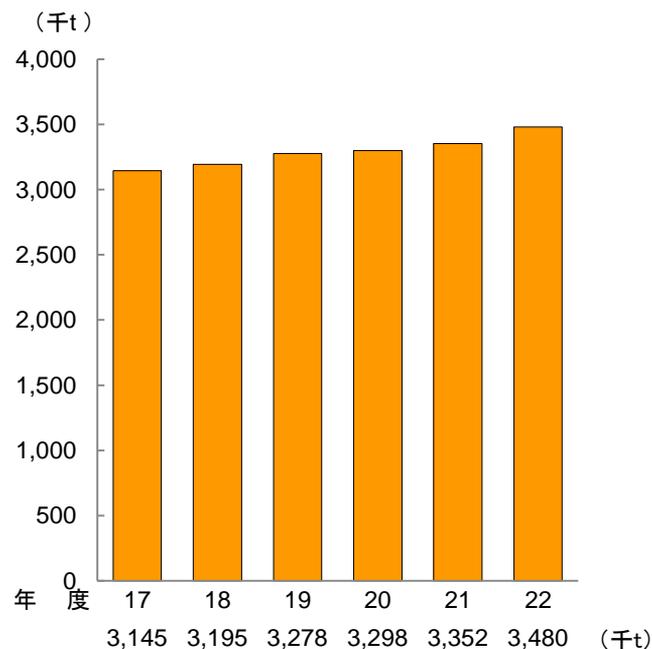


(資料) 全国: 農林水産省、北海道: 北海道

(10) 食料品工業

① 配合飼料生産の推移

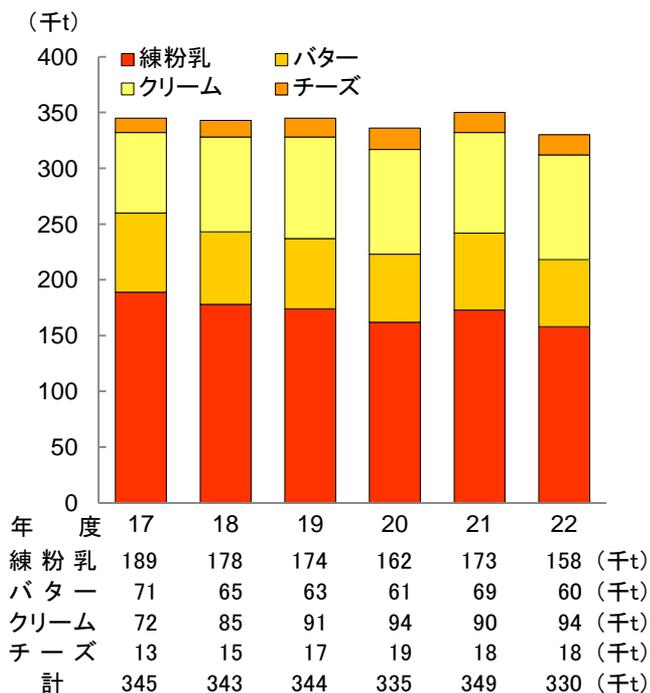
平成22年度、配合飼料生産は全国で24,479千t、うち北海道は3,480千t(全国比14.2%)



(注) 混合飼料含む
(資料) 農林水産省

② 乳製品生産の推移

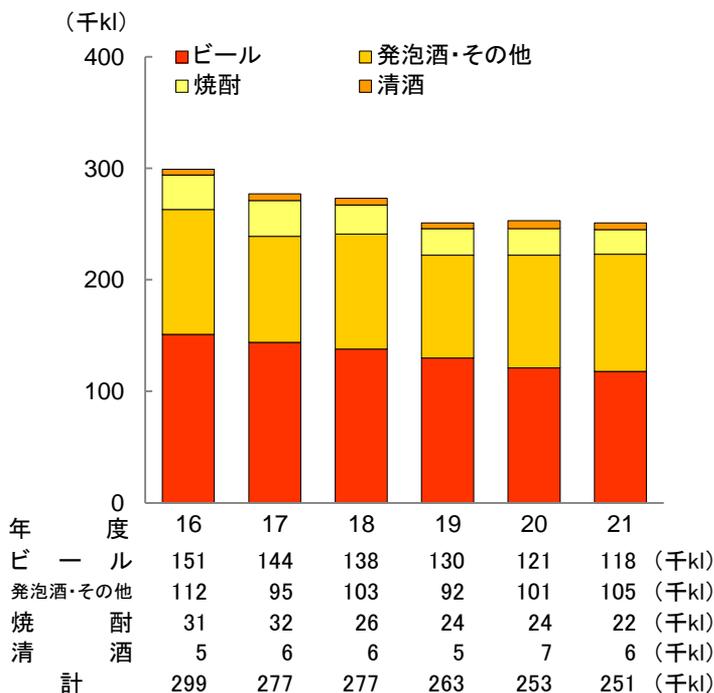
平成22年度、乳製品生産は全国で542千t、うち北海道は330千t(全国比60.9%)



(資料) 農林水産省

③ 酒類生産の推移

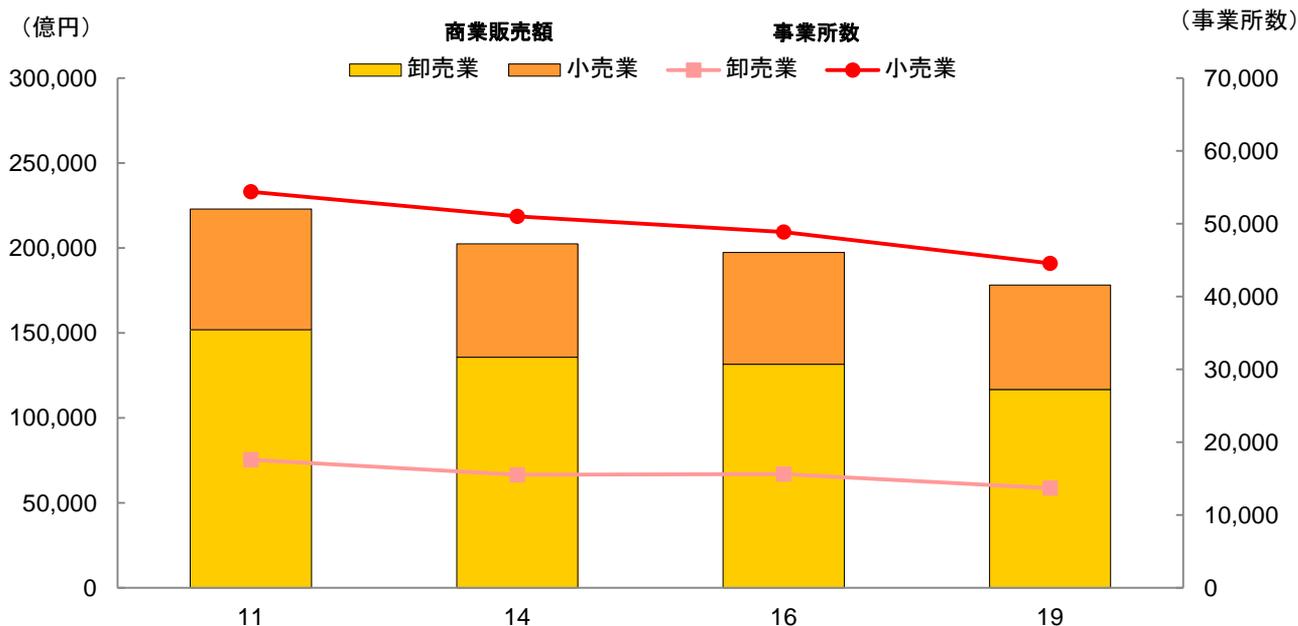
平成21年度、酒類生産は全国で8,456千kl、うち北海道は251千kl(全国比3.0%)



(資料) 全国: 国税庁、北海道: 札幌国税局

4. 商業

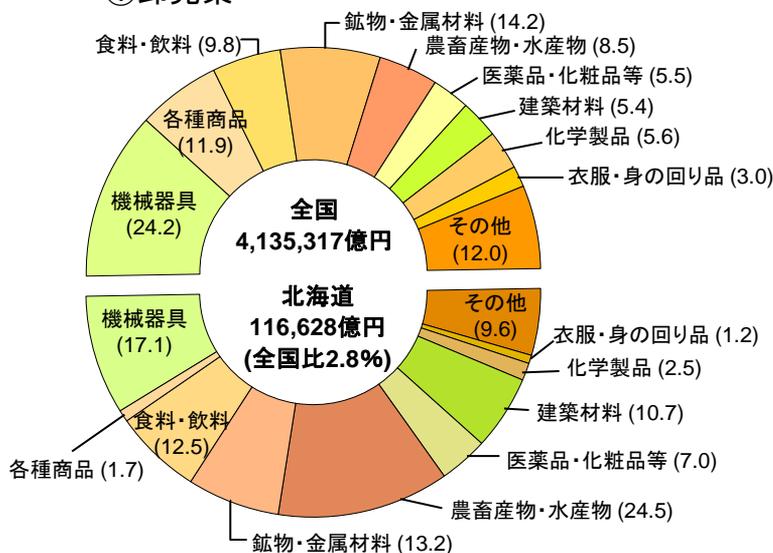
(1) 商業販売額の推移及び事業所数の推移(北海道)



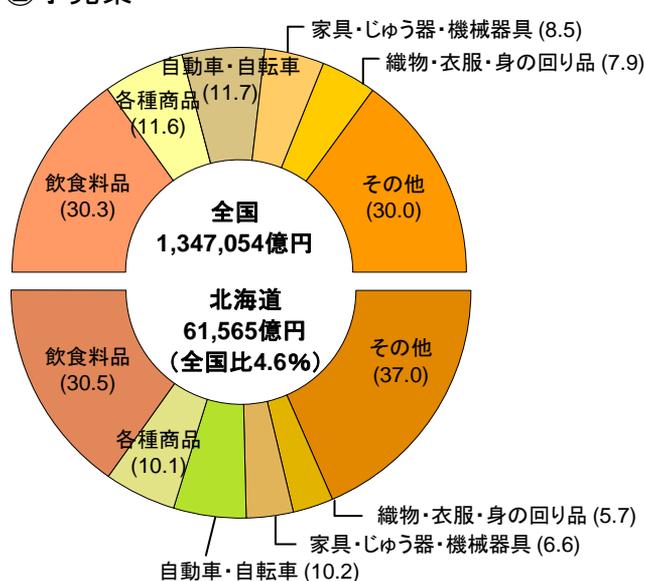
| | | 11 | 14 | 16 | 19 |
|-------|-----|---------|---------|---------|---------------|
| 計 | | 223,000 | 202,478 | 197,281 | 178,194 (億円) |
| 商業販売額 | 卸売業 | 151,827 | 135,716 | 131,629 | 116,628 (億円) |
| | 小売業 | 71,173 | 66,762 | 65,652 | 61,565 (億円) |
| 計 | | 71,980 | 66,506 | 64,471 | 58,236 (事業所数) |
| 事業所数 | 卸売業 | 17,584 | 15,499 | 15,613 | 13,687 (事業所数) |
| | 小売業 | 54,396 | 51,007 | 48,858 | 44,549 (事業所数) |

(2) 商業販売額構成(19年)

①卸売業

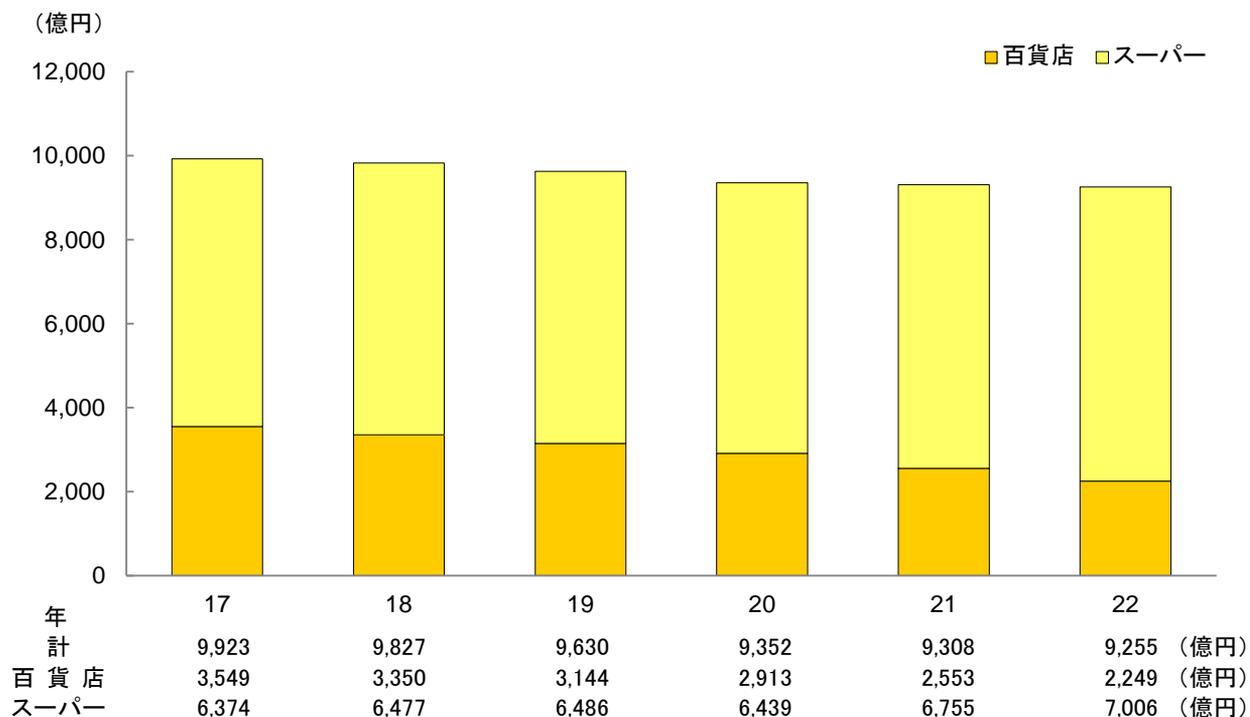


②小売業

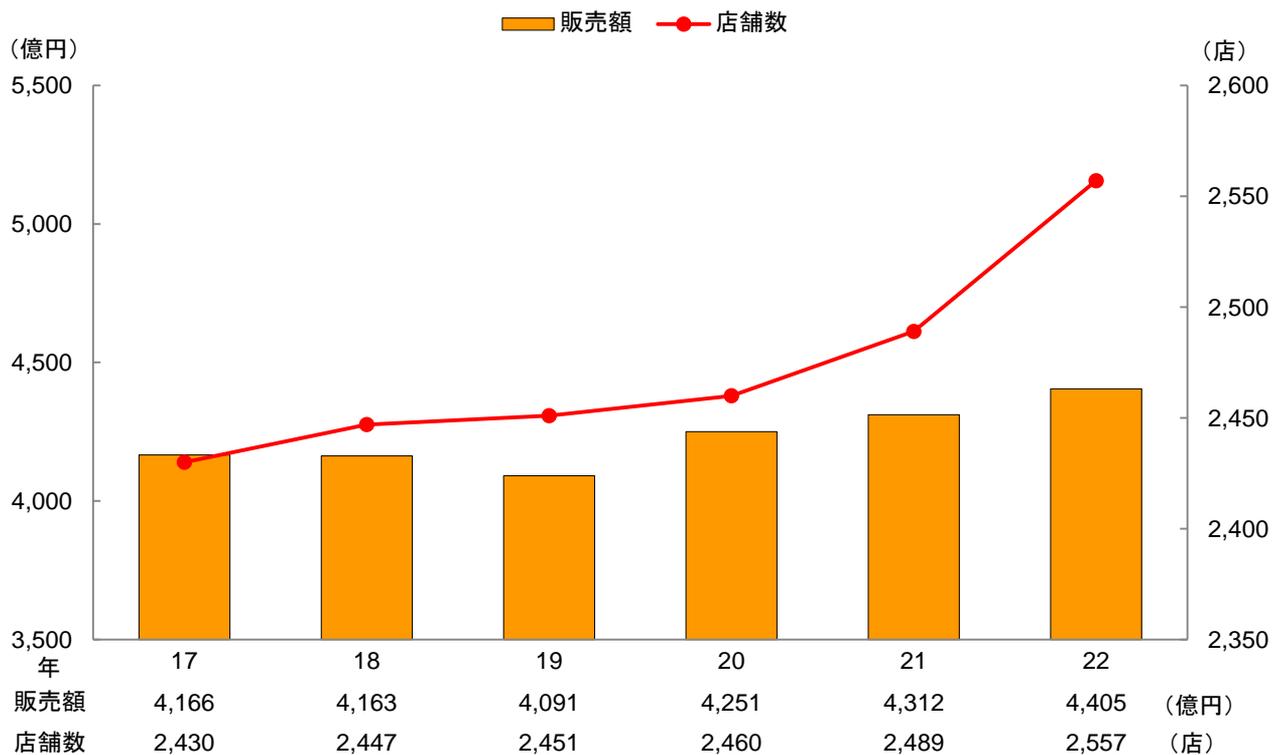


(注) グラフ内の数字は構成比 (%)

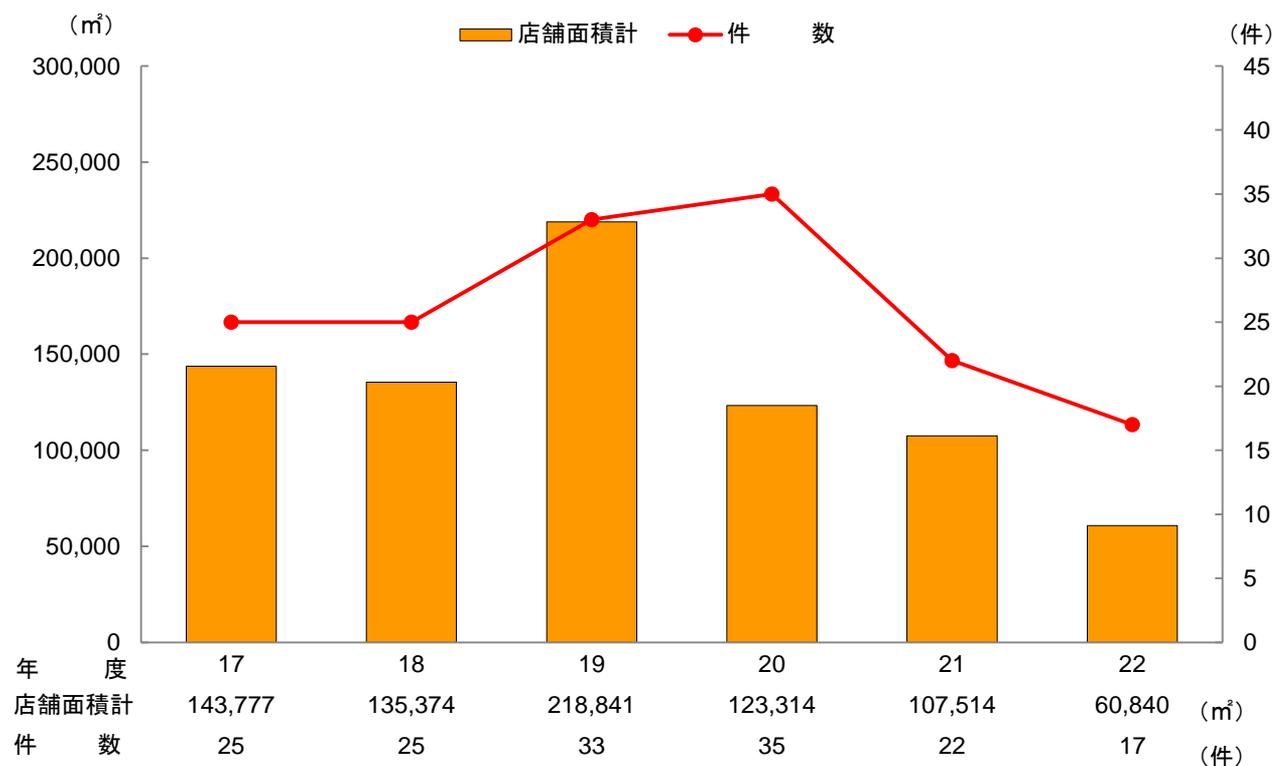
(3) 大型小売店販売額の推移(北海道)



(4) コンビニエンスストア販売額、店舗数の推移(北海道)

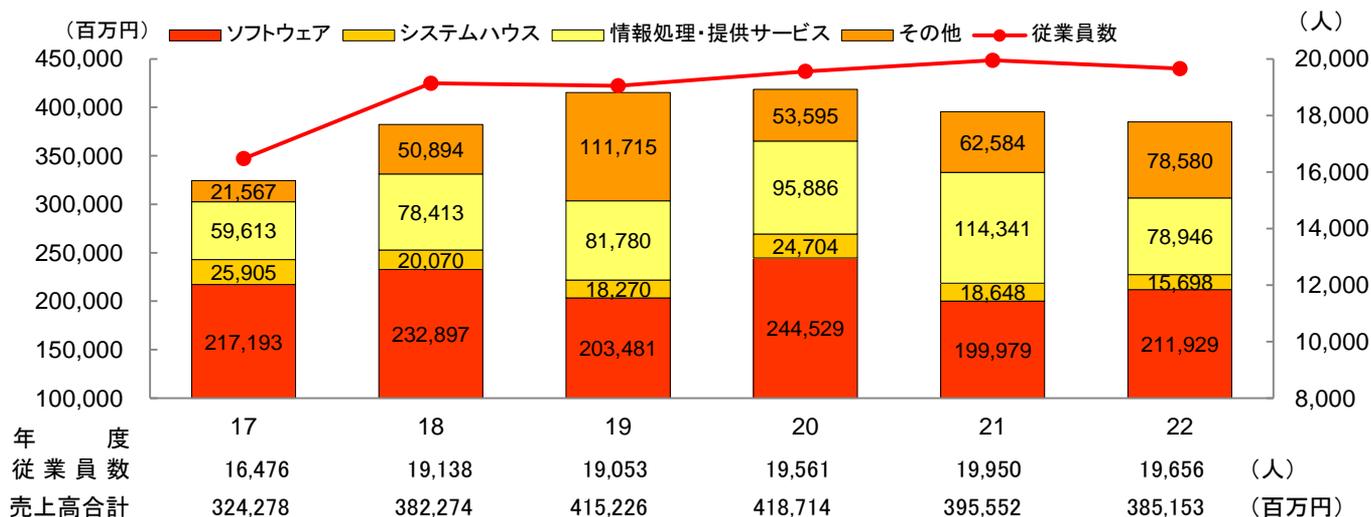


(5)大規模小売店舗立地法新設届出の推移(北海道)



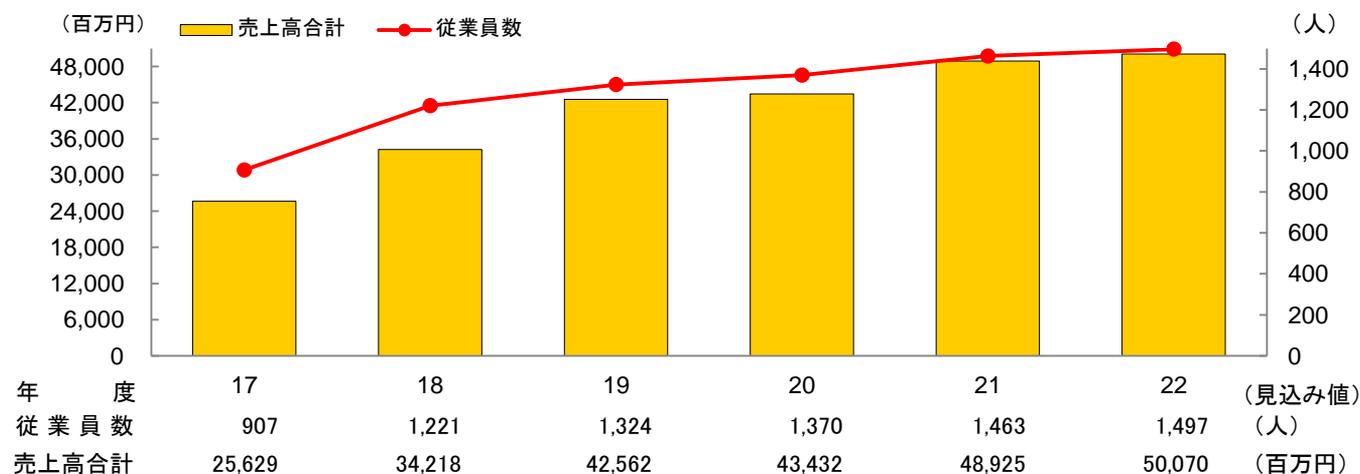
5. 情報産業・バイオ産業(北海道)

(1) 情報産業の売上高・従業員数の推移



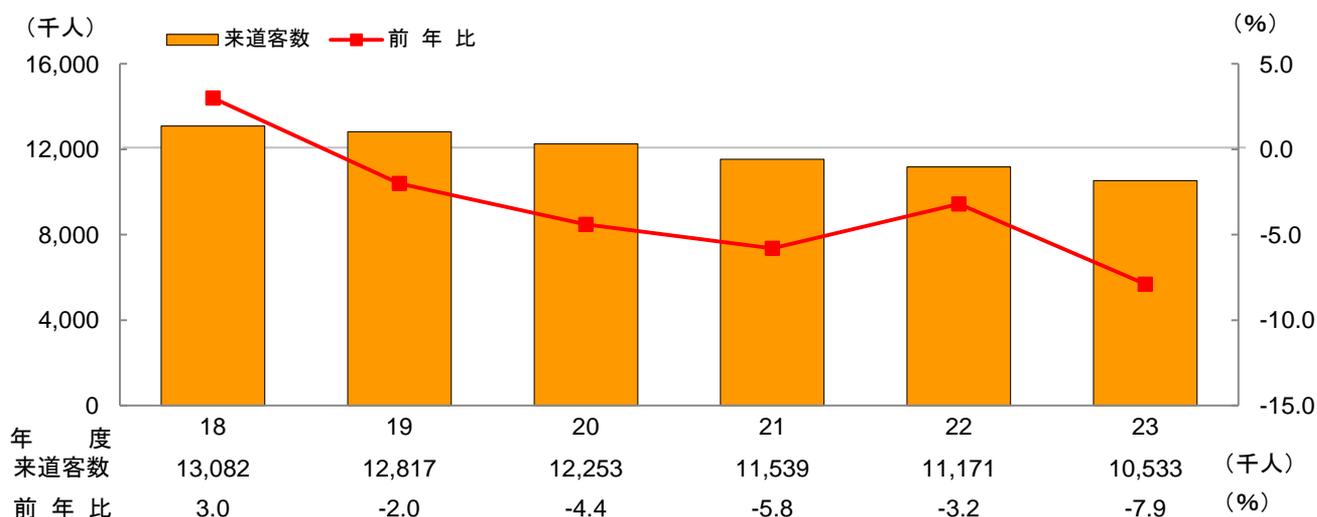
(資料)北海道IT推進協会

(2) バイオ産業の売上高・従業員数の推移



6. 観 光

来道客数の推移

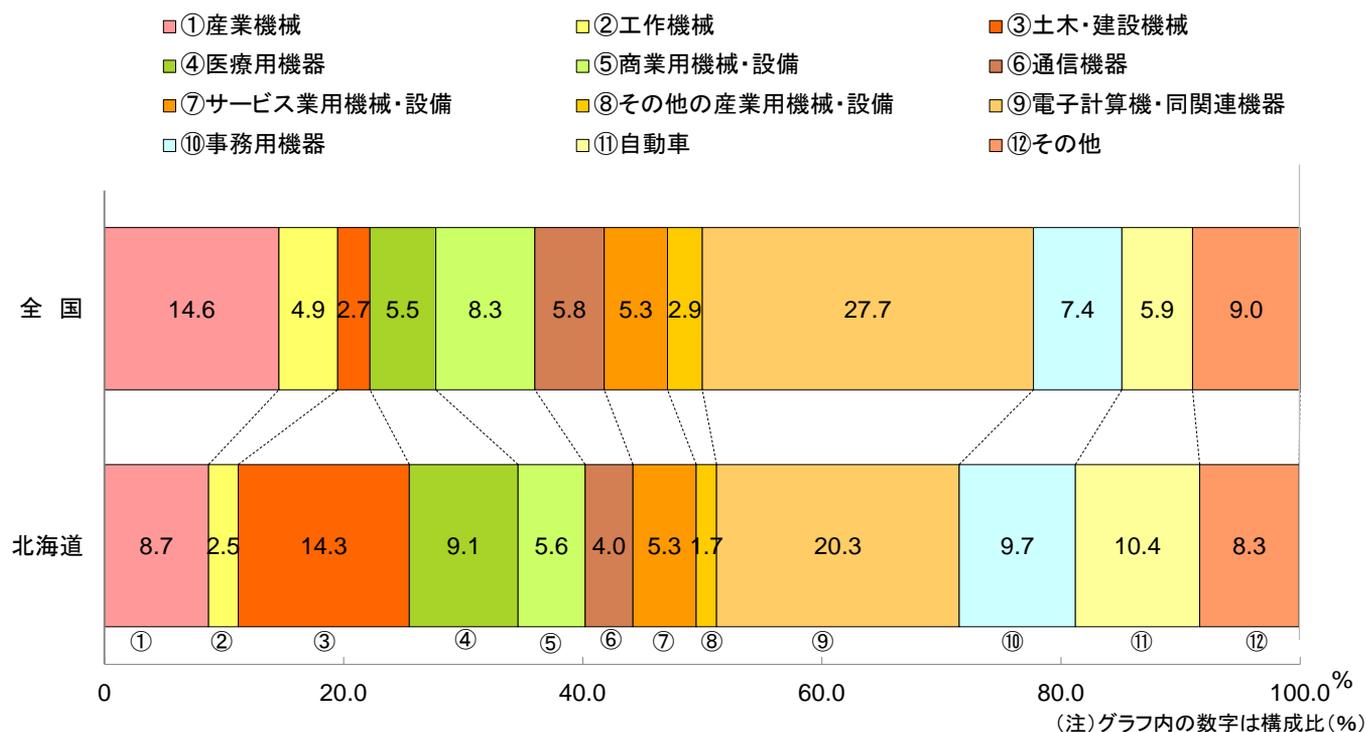


(資料)北海道観光振興機構

7. 各種物品賃貸業

リース年間契約高及び物件別リース年間契約高構成比(21年)

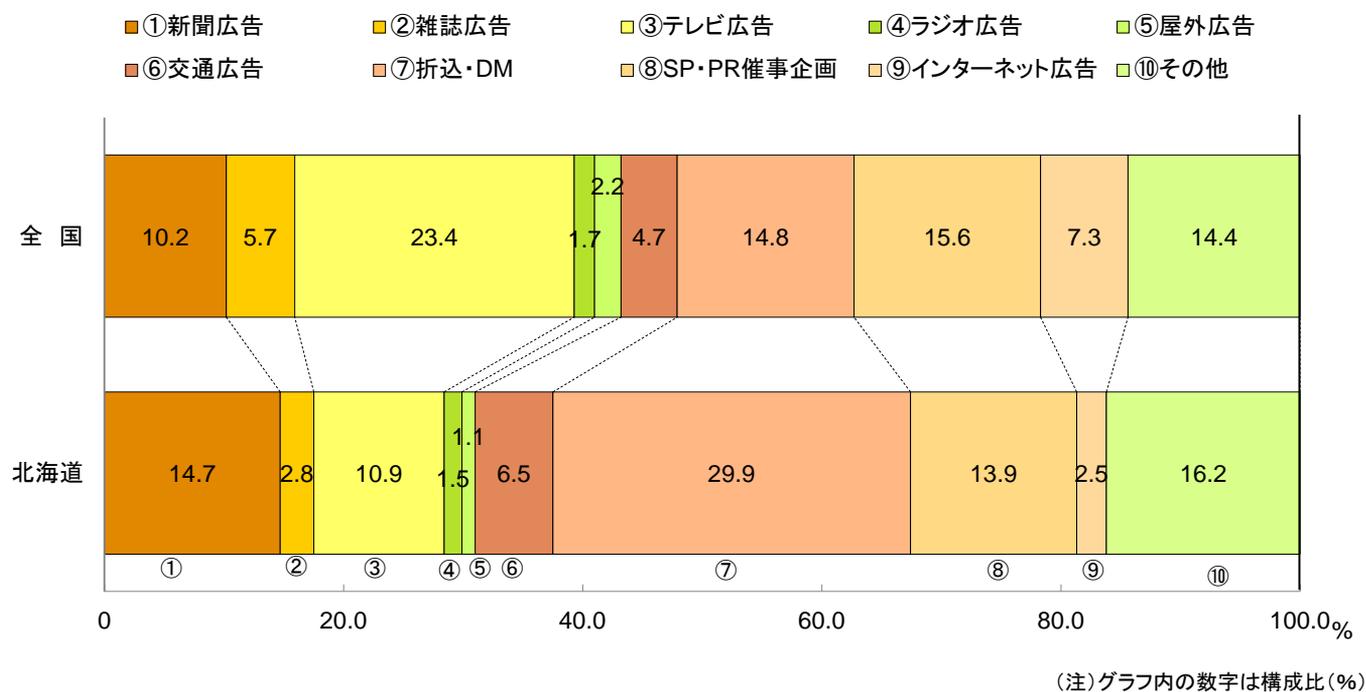
平成21年、リース年間契約高は全国で34,132億円、うち北海道は全国比2.5%



8. 広告業

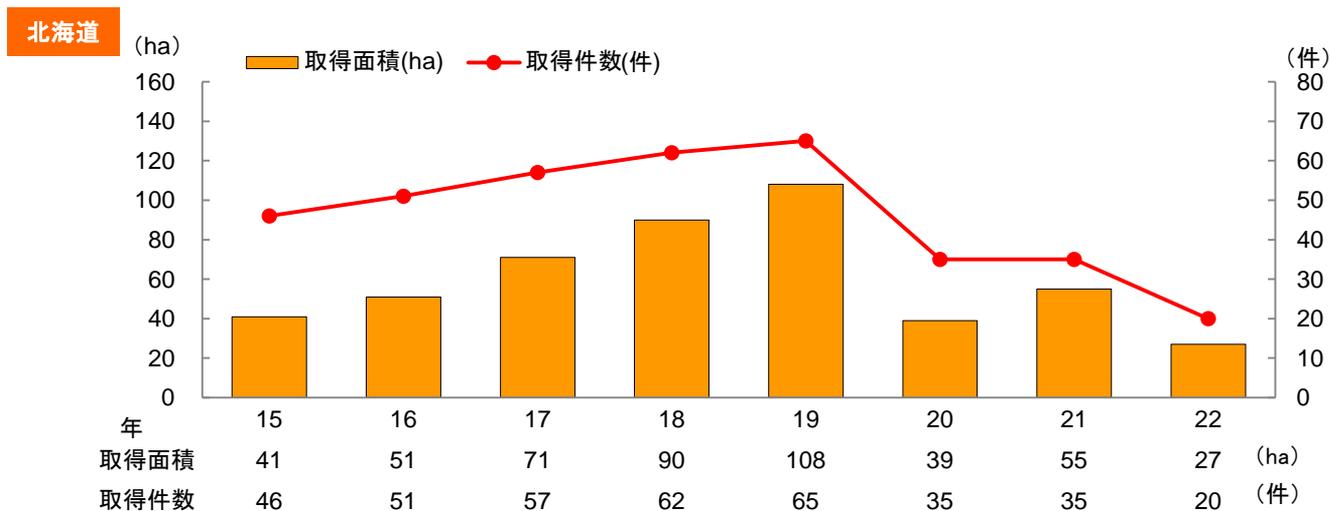
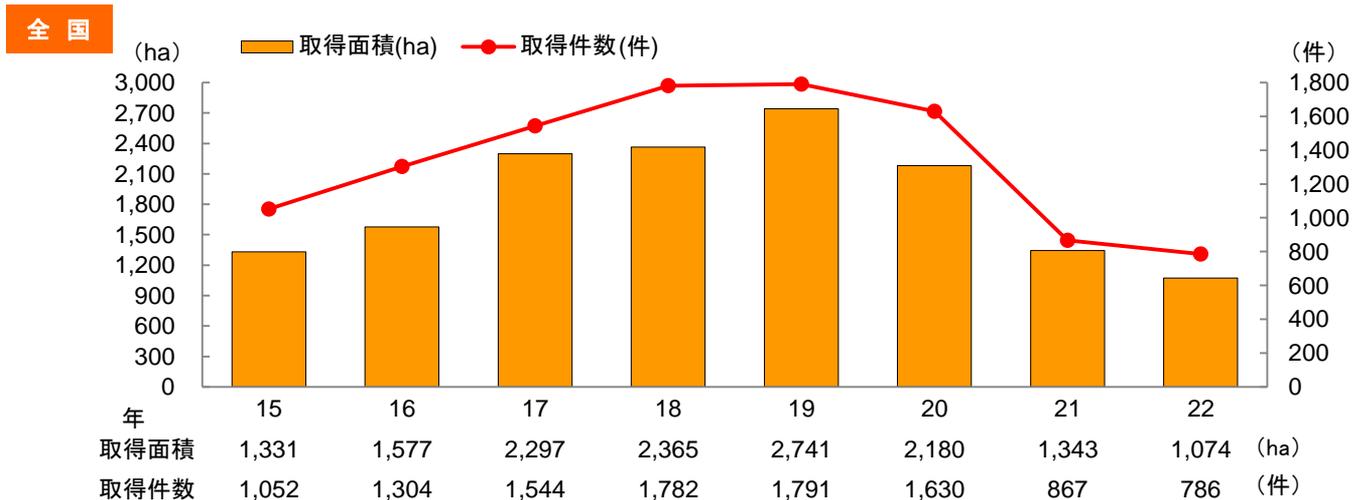
広告業における広告業務の年間売上高及び業務種類別年間売上高構成比(21年)

平成21年、広告業務の年間売上高は全国で92,770億円、うち北海道は全国比1.9%



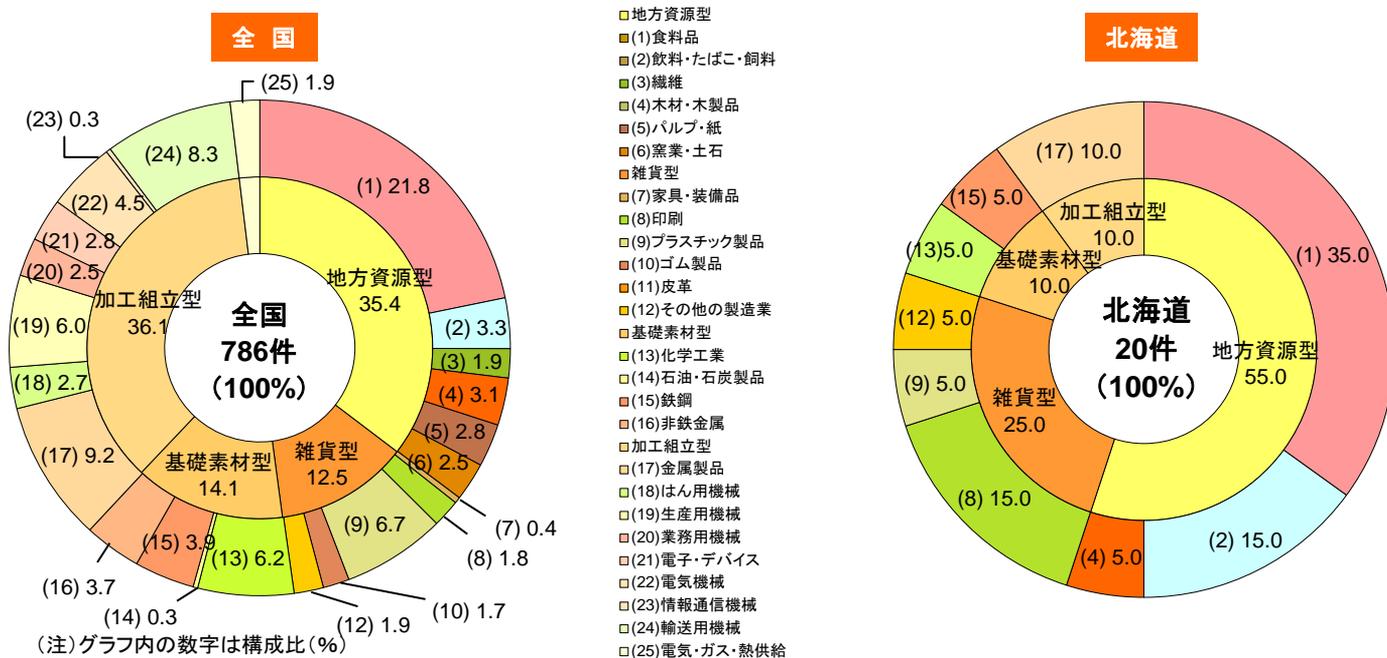
1. 工場立地状況

(1) 工場用地取得件数及び面積の推移



(注) 工場を建設する目的をもって、1,000㎡以上の用地を取得したもの。

(2) 業種別工場立地件数の構成比(22年)



2. 工業用地と工業用水道(北海道)

(1)工場適地(21年度)

| 地区名 | 適地名(所在地) | 適地数 | 適地面積(ha) | 立地未決定面積(ha) | 未決定率(%) |
|----------|--|-----|----------|-------------|---------|
| 札幌・小樽 | 発寒、新川、米里東、米里北、東雁来(札幌市)、銭函、勝納ふ頭(小樽市)、石狩湾新港(小樽市、石狩市)、江別第二、江別RTNパーク(江別市)、石狩(石狩市)、手稲山口 | 12 | 2,277 | 729 | 32.0 |
| 千歳・恵庭 | 千歳市第4工業団地、千歳臨空、千歳サイエンスパーク、千歳美々ワールド、千歳流通業務団地、千歳市根志越業務団地(千歳市)、恵庭テクノパーク、恵庭第2テクノパーク、戸磯第2(恵庭市)、中央長沼(長沼町)、晩翠、南幌(南幌町) | 12 | 781 | 190 | 24.3 |
| 苫小牧 | 西部工業団地、明野北工業団地、ウトナイ住宅・商工業団地、ウトナイ工業団地、錦西ニュータウン軽工業団地(苫小牧市)、苫小牧東部地域(苫小牧、安平町、厚真町)、田浦(むかわ町)、追分(安平町)、上厚真五区、豊沢(厚真町)、白老、石山、石山特別工業(白老町) | 13 | 11,902 | 9,413 | 79.1 |
| 室蘭 | 長和(伊達市)、入江(虻田町)、千歳(登別市) | 3 | 47 | 32 | 68.3 |
| 岩内・倶知安 | 岩内港(岩内町)、春日(京極町) | 2 | 38 | 19 | 50.0 |
| 旭川 | 永山、西神楽、旭川工業団地(旭川市)、学田、花園、中五区(富良野市)、広里(深川市)、沼田、五ヶ山(沼田町)、美瑛、鉄西(美瑛町)、西部第2、西部第3(東川町)、東神楽(東神楽町)、妹背牛第一(妹背牛町)、鷹栖(鷹栖町)、上富良野(上富良野町) | 17 | 471 | 104 | 22.1 |
| 留萌 | 苫前(苫前町) | 1 | 3 | 3 | 100.0 |
| 滝川・砂川 | 滝川中央、中空知流通関連(滝川市)、芦別、なまこ山、芦別緑泉(芦別市)、道央砂川、焼山(砂川市)、歌志内文珠(歌志内市)、赤平第2(赤平市)、歌志内第二文珠(歌志内市) | 10 | 316 | 112 | 35.4 |
| 岩見沢・美唄 | 南空知流通、上幌向、東町(岩見沢市)、空知(美唄市、奈井江町)、三笠第2工業団地(三笠市)、南由良(岩見沢市) | 6 | 478 | 189 | 39.6 |
| 夕張 | 紅葉山、住の江、夕張緑陽工業団地(夕張市)、三川、古川(由仁町)、栗山(栗山町) | 6 | 138 | 36 | 26.3 |
| 帯広 | 帯広市西20条北(帯広市)、利別第一、利別第二、池田北(池田町)、屈足(新得町)、芽室東第3、芽室東第4、芽室東第5(芽室町)、明野第二、札内東、リバーサイド幕別(幕別町)、木野、音更IC工業団地(音更町)、土幌(土幌町)、勇愛(本別町)、桜ヶ丘(清水町) | 16 | 426 | 131 | 30.8 |
| 釧路・白糠 | 西港臨海工業団地、釧路益浦軽工業団地(釧路市)、釧路・白糠(釧路市、白糠町)、布伏内(釧路市)、東陽(釧路町) | 5 | 735 | 244 | 33.2 |
| 根室 | 花咲港(根室市) | 1 | 24 | 11 | 45.0 |
| 北見・網走 | 北見工業団地(北見市)、呼人、能取(網走市)、訓子府(訓子府町)、湖南(大空町)、旭三(留辺蘂町)、稲美(美幌町) | 7 | 224 | 63 | 28.0 |
| 紋別 | 紋別港、元紋別(紋別市)、学田(遠軽町)、春日(興部町) | 4 | 123 | 61 | 50.0 |
| 名寄・士別 | 徳田(名寄市)、士別市駅南(士別市)、和寒、和寒東丘(和寒町)、下川中成(下川町) | 5 | 76 | 30 | 38.9 |
| 天北 | 天北臨海(稚内市)、浜頓別(浜頓別町) | 2 | 82 | 4 | 4.6 |
| 静内・浦河 | 神森(新ひだか町) | 1 | 9 | 7 | 12.2 |
| 函館・上磯 | 函館臨空、函館市西桔便南地場工業団地、函館テクノパーク(函館市)、上磯(上磯町)、中島(七飯町)、元町(知内町) | 6 | 180 | 22 | 12.7 |
| 森・八雲・長万部 | 静狩(長万部町)、野田生(八雲町)、姫川(森町) | 3 | 56 | 35 | 61.4 |
| 20地区 | | 132 | 18,386 | 11,435 | 62.2 |

(2)工業用水道

| 事業主体 | 事業名 | 給水能力(千 m^3 /日) | 施工年度 | 水源 |
|-------------|------------------|------------------|---------|----------|
| 営 業 中 | 北海道 室蘭地区工業用水道 | 115 | S36~46 | 胆振幌別川 |
| | 北海道 苫小牧地区工業用水道 | 200 | S43~H10 | 勇払川・安平川 |
| | 北海道 石狩湾新港地域工業用水道 | 12 | H5~10 | 幾春別川 |
| | 美唄市 美唄市工業用水道 | 2.79 | S48~57 | 美唄川 |
| | 釧路市 釧路市工業用水道 | 15 | S50~57 | 音別川 |
| | 室蘭市 室蘭市工業用水道 | 6 | S31~H1 | ポロペケレオタ川 |
| | 釧路白糠工業用水道企業団 | 釧路白糠工業用水道 | 11.16 | H4~16 |
| | 7事業 | 361.95 | | |
| 改 築 中 | 北海道 苫小牧地区工業用水道 | 200 | H18~23 | 勇払川・安平川 |
| | | 1事業 | 200 | |

(3)工業団地名簿(北海道)

| 工業団地名 | 団地所在地 | 事業主体 | 工業団地 総面積 (ha) | 工業用地 面積 (ha) | 分譲済 面積 (ha) |
|-----------------|--------------|-----------------|---------------------|--------------------|-------------------|
| (臨海) | | | | | |
| 石狩湾新港地域 | 石狩市・小樽市 | 石狩開発(株) | 3,022.0 | 1,296.0 | 822.0 |
| 勝納ふ頭工業団地 | 小樽市 | 小樽市 | 41.3 | 8.3 | 5.9 |
| 岩内港工業団地 | 岩内町 | 岩内町 | 20.4 | 12.5 | 3.8 |
| 苫小牧東部地域 | 苫小牧市、厚真町、安平町 | (株)苫小牧東 | 10,700.0 | 5,500.0 | 1,022.0 |
| 苫小牧西部工業基地(臨海部) | 苫小牧市 | 苫小牧港開発(株) | 1,720.7 | 1,155.8 | 1,100.1 |
| 白老港臨海部 | 白老町 | 白老町 | 11.9 | 9.5 | 2.2 |
| 築地町臨港業務団地 | 室蘭市 | 室蘭市(土地) | 2.8 | 2.6 | 0.4 |
| 天北臨海工業団地 | 稚内市 | 稚内市 | 58.3 | 25.1 | 23.2 |
| 能取工業団地 | 網走市 | 網走市 | 66.9 | 28.2 | 10.0 |
| 十勝港工業団地 | 広尾町 | 広尾町 | 26.0 | 25.0 | 12.5 |
| 西港臨港工業団地 | 釧路市 | 釧路市・(株)釧路振興公社 | 279.9 | 228.2 | 33.0 |
| 花咲港工業団地 | 根室市 | 根室市 | 11.0 | 5.1 | 1.9 |
| 小計 | 12団地 | | 15,961.2 | 8,296.3 | 3,037.0 |
| (内陸) | | | | | |
| 江別RTNパーク | 江別市 | 江別市(土地) | 95.8 | 42.8 | 37.6 |
| 恵庭テクノパーク | 恵庭市 | 恵庭市 | 127.0 | 89.1 | 86.8 |
| 千歳臨空工業団地 | 千歳市 | 千歳市(土地) | 401.8 | 214.4 | 169.3 |
| 千歳市第4工業団地 | 千歳市 | 千歳市 | 38.4 | 31.5 | 13.4 |
| 千歳サイエンスパーク | 千歳市 | 千歳市(土地) | 12.4 | 9.0 | 5.7 |
| 千歳市流通業務団地 | 千歳市 | 千歳市(土地) | 52.7 | 30.2 | 6.3 |
| 千歳美々ワールド | 千歳市 | 千歳市(土地) | 147.5 | 108.4 | 27.5 |
| 千歳市根志越業務団地 | 千歳市 | 千歳市 | 7.0 | 6.5 | 1.6 |
| 札幌テクノパーク | 札幌市 | (財)さっぽろ産業振興財団 | 26.8 | 12.6 | 12.37 |
| 明日風工業団地 | 札幌市 | 札幌市手稲山口土地区画整理組合 | 2.8 | 2.3 | 0.2 |
| 豊沢工業団地 | 厚真町 | 厚真町 | 32.6 | 27.1 | 3.4 |
| 明野北工業団地 | 苫小牧市 | 苫小牧港開発(株) | 203.0 | 131.1 | 65.6 |
| ウトナイ住宅・商工業団地 | 苫小牧市 | 苫小牧港開発(株) | 125.8 | 65.8 | 7.0 |
| ウトナイ工業団地 | 苫小牧市 | 苫小牧市 | 52.2 | 48.3 | 1.2 |
| 錦西ニュータウン軽工業団地 | 苫小牧市 | 苫小牧市 | 5.4 | 4.1 | 1.4 |
| 沼ノ端第二地区中小企業団地 | 苫小牧市 | 苫小牧市 | 26.5 | 15.8 | 15.5 |
| 明野軽工業団地 | 苫小牧市 | 苫小牧市 | 167.9 | 156.0 | 145.4 |
| 沼ノ端南工業団地 | 苫小牧市 | 苫小牧市 | 30.1 | 21.4 | 14.6 |
| 石山工業団地 | 白老町 | 白老町 | 62.0 | 40.6 | 27.2 |
| 石山特別工業地区 | 白老町 | 白老町 | 11.2 | 5.9 | 4.4 |
| 北町工業団地 | 安平町 | 安平町 | 4.9 | 3.7 | 0.4 |
| 香川工業用地 | 室蘭市 | (株)室蘭振興公社・室蘭市 | 13.4 | 10.0 | 7.1 |
| 伊達長和(Aブロック)工業団地 | 伊達市 | 伊達市(土地) | 2.0 | 1.3 | 0.8 |
| 南幌工業団地 | 南幌町 | 南幌町(土地) | 44.3 | 36.9 | 16.8 |
| 中央長沼工業団地 | 長沼町 | 長沼町 | 31.4 | 28.0 | 22.4 |
| 岡山工業団地 | 岩見沢市 | 岩見沢市 | 50.8 | 41.7 | 37.6 |
| 上幌向工業団地 | 岩見沢市 | 岩見沢市 | 41.1 | 35.3 | 26.7 |
| 南空知流通工業団地 | 岩見沢市 | 北海道(土地) | 35.1 | 31.5 | 10.5 |
| 道央栗沢団地 | 岩見沢市 | 中小企業基盤整備機構 | 36.8 | 28.4 | 1.5 |
| 夕張緑陽団地 | 夕張市 | 中小企業基盤整備機構 | 11.1 | 8.0 | 4.2 |
| 三笠第2工業団地 | 三笠市 | 三笠工業団地開発(株) | 31.9 | 27.4 | 18.3 |
| 空知団地 | 美唄市、奈井江町 | 中小企業基盤整備機構 | 276.6 | 247.3 | 137.4 |
| 駒が台工業団地 | 上砂川町 | 上砂川町 | 6.6 | 5.2 | 4.7 |
| 中町工業団地 | 上砂川町 | 上砂川町 | 8.7 | 6.6 | 6.2 |
| 本町工業団地 | 上砂川町 | 上砂川町 | 1.3 | 1.3 | 1.0 |
| 歌志内文珠団地 | 歌志内市 | 歌志内市 | 5.3 | 4.6 | 3.4 |
| 道央砂川工業団地 | 砂川市 | 砂川市(土地) | 99.6 | 74.8 | 47.9 |
| 滝川中央工業団地 | 滝川市 | 滝川市(土地) | 27.5 | 24.1 | 20.1 |

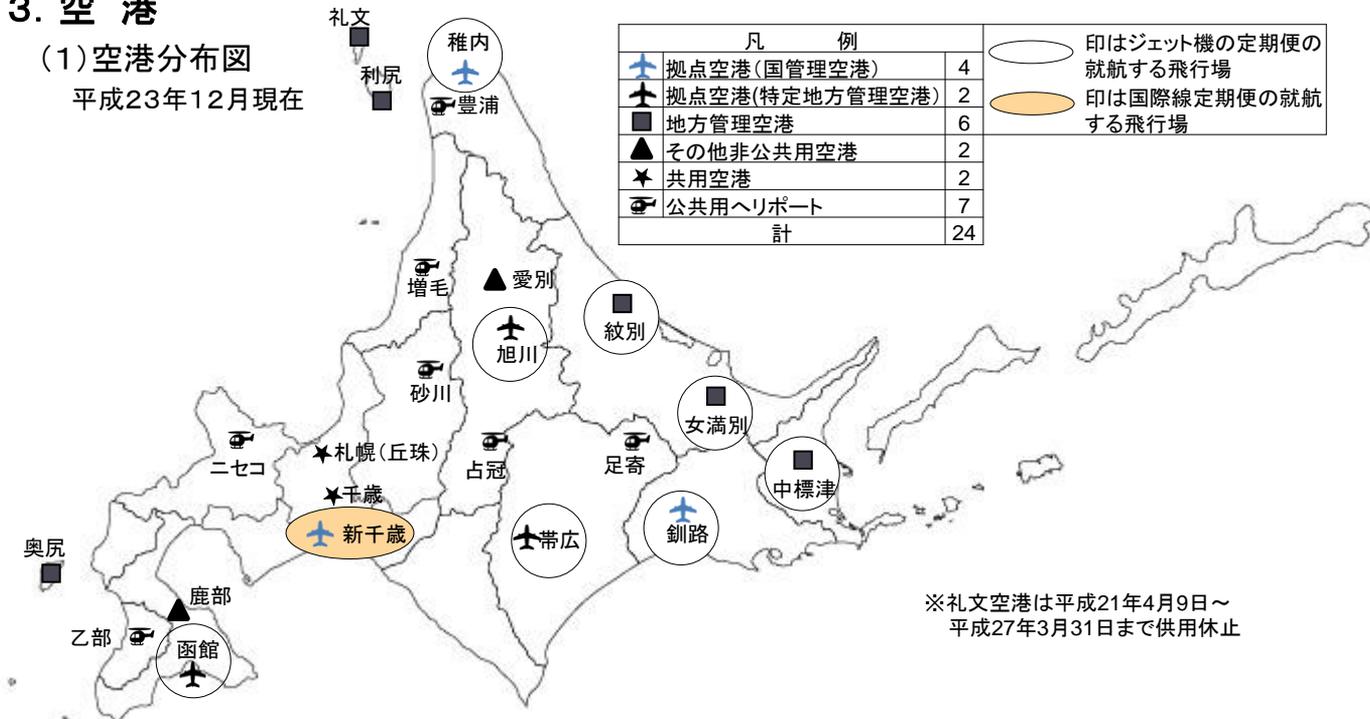
(資料)北海道

| 工業団地名 | 団地所在地 | 事業主体 | 工業団地 総面積 (ha) | 工業用地 面積 (ha) | 分譲済 面積 (ha) |
|--------------|---------|------------------|---------------------|--------------------|-------------------|
| 中空知流通関連団地 | 滝川市 | 北海道(土地)、滝川市(土地) | 44.9 | 37.1 | 33.8 |
| 沼田団地 | 沼田町 | 沼田町 | 12.7 | 10.8 | 8.9 |
| 五ヶ山工業団地 | 沼田町 | 沼田町 | 2.1 | 1.7 | 0.9 |
| 広里工業団地 | 深川市 | 深川市(土地) | 71.0 | 49.2 | 24.9 |
| 栗山工業団地 | 栗山町 | 栗山町 | 62.5 | 62.5 | 59.2 |
| 函館臨空工業団地 | 函館市 | 函館市 | 56.9 | 27.3 | 21.3 |
| 函館テクノパーク | 函館市 | 函館市 | 6.5 | 2.5 | 1.4 |
| 函館港町ふ頭港湾関連用地 | 函館市 | 函館市 | 7.0 | 7.0 | 1.0 |
| 野田生工業団地 | 八雲町 | 八雲町 | 31.1 | 29.3 | 17.4 |
| 峠下流通関連団地 | 七飯町 | 七飯町 | 6.1 | 4.8 | 4.1 |
| 旭川リサーチパーク | 旭川市 | 中小企業基盤整備機構 | 17.3 | 13.5 | 7.9 |
| 東神楽工業団地 | 東神楽町 | 東神楽町(土地) | 23.3 | 18.8 | 18.4 |
| 士別市駅南工業団地 | 士別市 | 士別市(土地) | 8.4 | 7.0 | 5.6 |
| 食品加工流通団地 | 名寄市 | 名寄市(土地) | 9.6 | 7.3 | 7.0 |
| 比布町農工団地 | 比布町 | 比布町 | 9.9 | 9.9 | 1.5 |
| 浜頓別工業団地 | 浜頓別町 | 浜頓別町 | 24.2 | 20.1 | 17.5 |
| 北見工業団地 | 北見市 | 北見市 | 67.2 | 51.4 | 50.0 |
| 北見ハイテクパーク | 北見市 | 北見市 | 4.2 | 3.2 | 1.3 |
| 帯広市西20条北工業団地 | 帯広市 | 帯広市西20条北土地区画整理組合 | 48.9 | 36.8 | 24.1 |
| 桜が丘工業団地 | 清水町 | 清水町 | 18.4 | 15.5 | 15.0 |
| 芽室東第5工業団地 | 芽室町 | 芽室町 | 31.8 | 31.8 | 20.0 |
| 音更町IC工業団地 | 音更町 | 音更町(土地) | 36.3 | 28.9 | 12.7 |
| 大樹町川南工業団地 | 大樹町 | 大樹町 | 4.0 | 2.5 | 1.2 |
| リバーサイド幕別 | 幕別町 | 幕別町(土地) | 41.5 | 28.3 | 21.1 |
| 札内東工業団地 | 幕別町 | 幕別町(土地) | 23.8 | 17.7 | 15.8 |
| 池田北工業団地 | 池田町 | 池田町 | 15.2 | 12.7 | 6.4 |
| 本別勇愛工業団地 | 本別町 | 本別町 | 2.3 | 2.3 | 1.5 |
| 布伏内工業団地 | 釧路市 | 釧路市 | 16.7 | 11.6 | 10.1 |
| 釧路白糠団地 | 釧路市、白糠町 | 中小企業基盤整備機構 | 340.3 | 248.8 | 190.4 |
| 釧路益浦軽工業団地 | 釧路市 | 太平洋興発(株) | 10.5 | 9.3 | 3.1 |
| 釧路愛国ソフトパーク | 釧路市 | (株)釧路振興公社 | 5.6 | 5.4 | 3.4 |
| 音別工業団地 | 釧路市 | 釧路市 | 54.3 | 54.3 | 50.9 |
| 釧路内陸標茶工業団地 | 標茶町 | 標茶町 | 13.3 | 9.1 | 7.4 |
| 小計 | 7 1 団地 | | 3,485.1 | 2,557.4 | 1,678.7 |
| 合計 | 8 3 団地 | | 19,446.3 | 10,853.7 | 4,715.7 |

3. 空港

(1) 空港分布図

平成23年12月現在

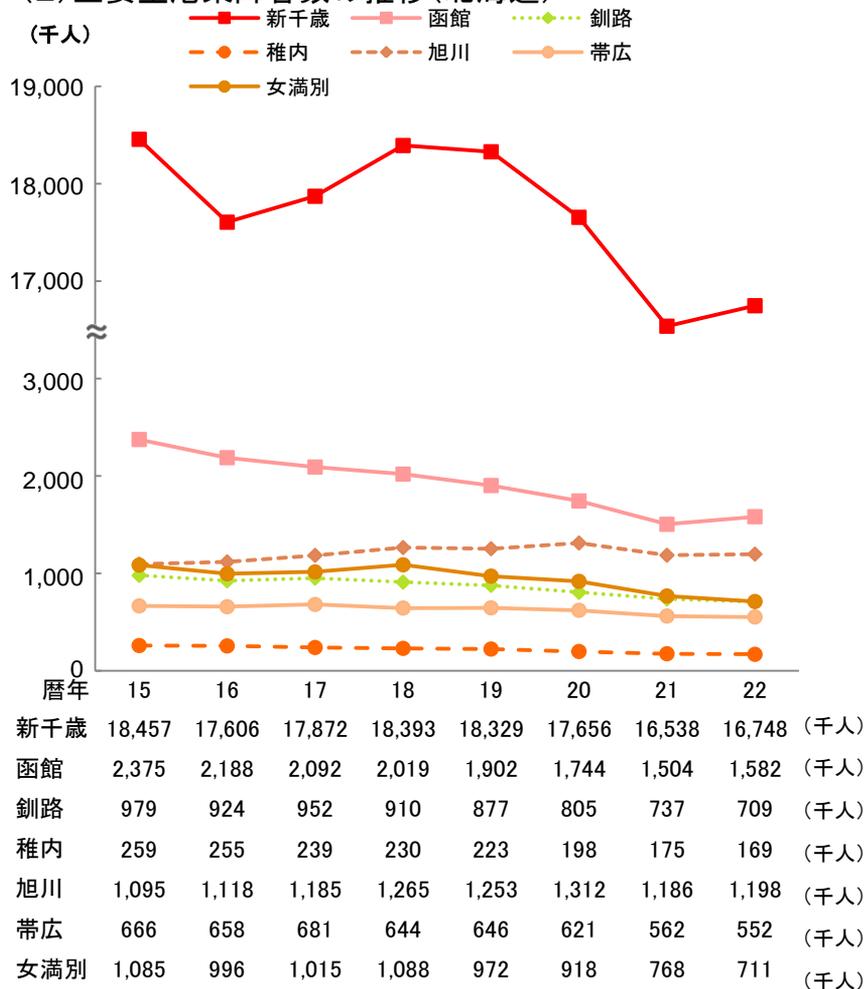


※礼文空港は平成21年4月9日～平成27年3月31日まで供用休止

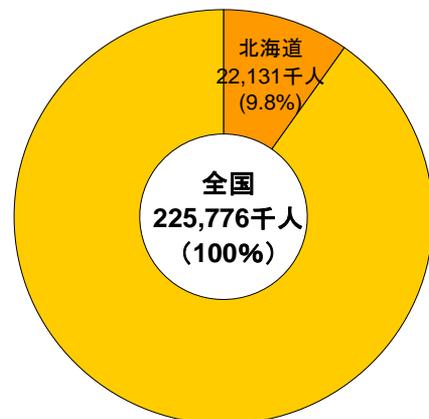
(資料)国土交通省 北海道開発局空港課

(2) 主要空港乗降客数の推移(北海道)

(千人)

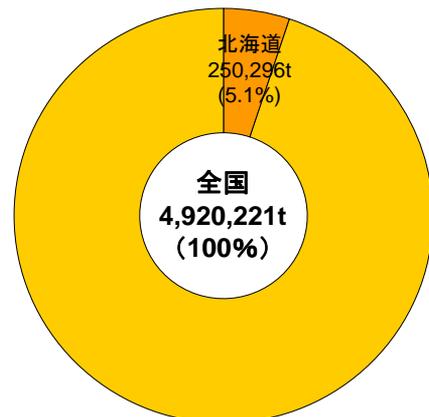


(3) 空港乗降客数(22年)



(資料)国土交通省 東京・大阪航空局速報値

(4) 空港貨物取扱量(22年)

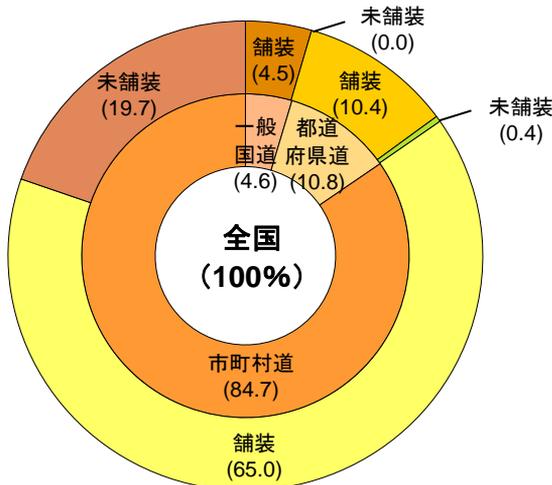


(資料)国土交通省 平成21年以前は、空港管理状況調書、平成22年は東京・大阪航空局速報値

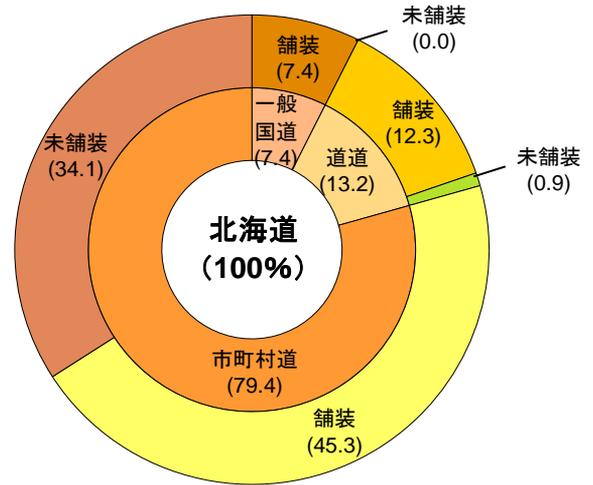
(資料)国土交通省 東京・大阪航空局速報値

4. 道路

(1) 道路網の整備状況



平成21年4月1日現在



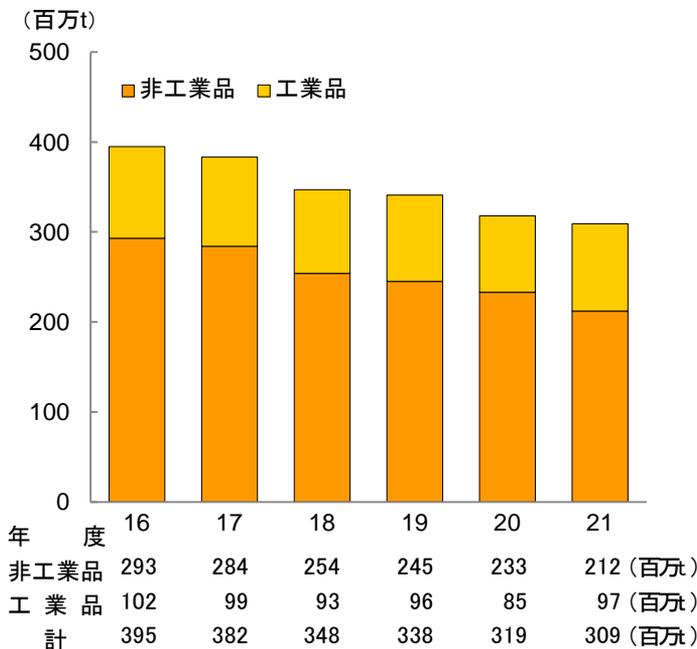
平成22年4月1日現在

(注) グラフ内の数字は構成比(%)

(資料) 国土交通省 北海道開発局道路現状調査

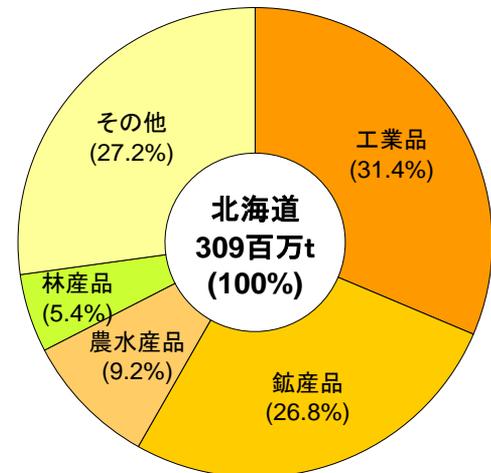
(2) 自動車貨物輸送の推移(北海道)

平成21年度、自動車貨物輸送量は全国で3,812百万t、うち北海道は309百万t(全国比8.1%)



(資料) 国土交通省 北海道運輸局

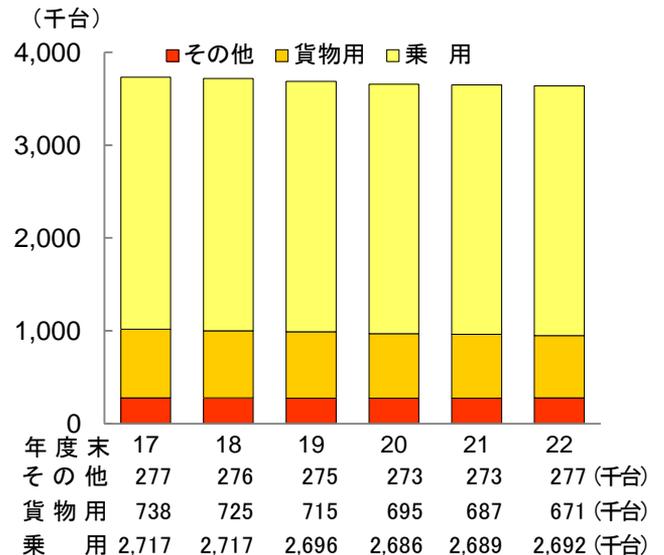
(3) 自動車貨物の品目別構成(北海道)(21年度)



(資料) 国土交通省 北海道運輸局

(4) 自動車保有台数の推移(北海道)

平成22年度末、自動車保有台数は全国で78,661千台、うち北海道は3,641千台(全国比4.6%)

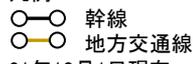


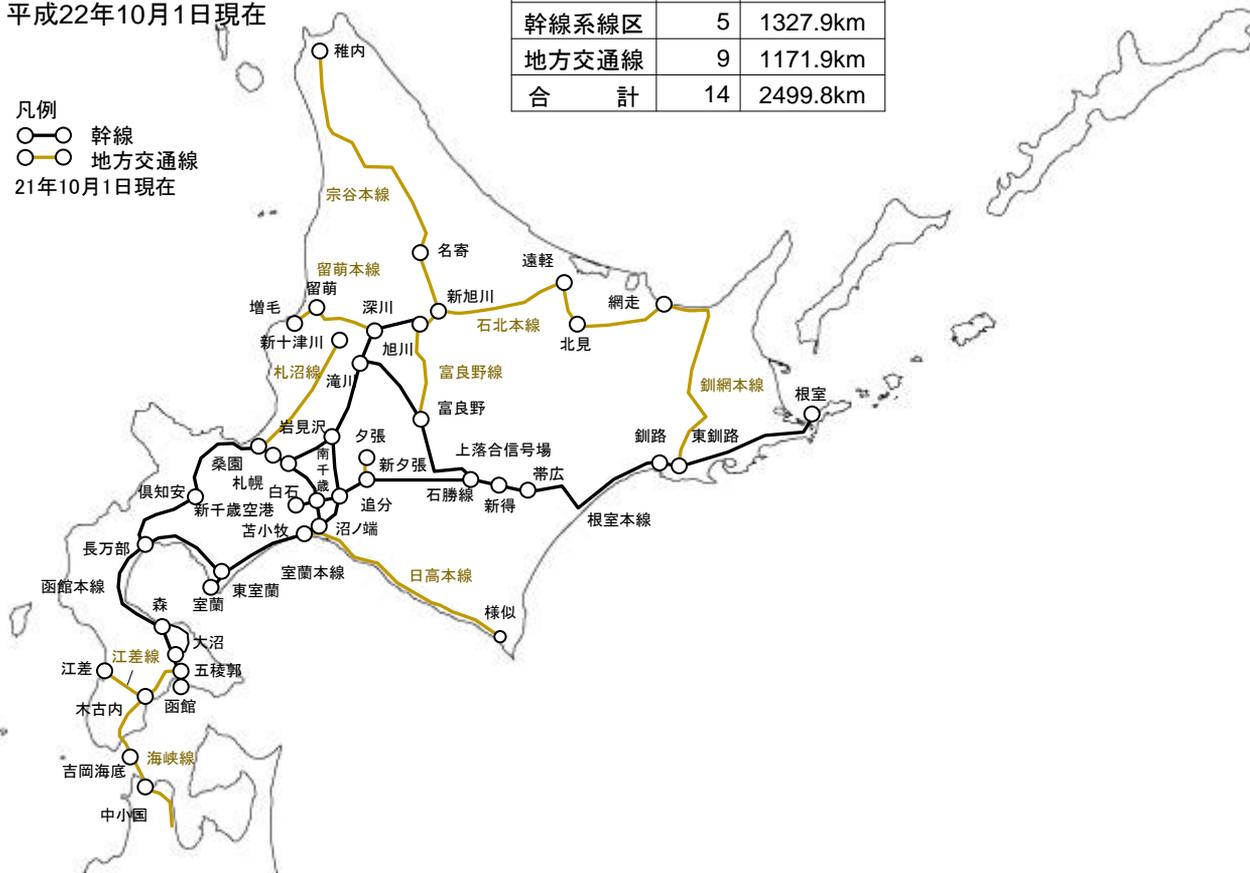
(資料) 国土交通省

5. 鉄道

(1) 鉄道網の整備状況 平成22年10月1日現在

| 区分 | 線数 | 営業キロ |
|-------|----|----------|
| 幹線系線区 | 5 | 1327.9km |
| 地方交通線 | 9 | 1171.9km |
| 合計 | 14 | 2499.8km |

凡例

 ○—○ 幹線
 ○-○ 地方交通線
 21年10月1日現在

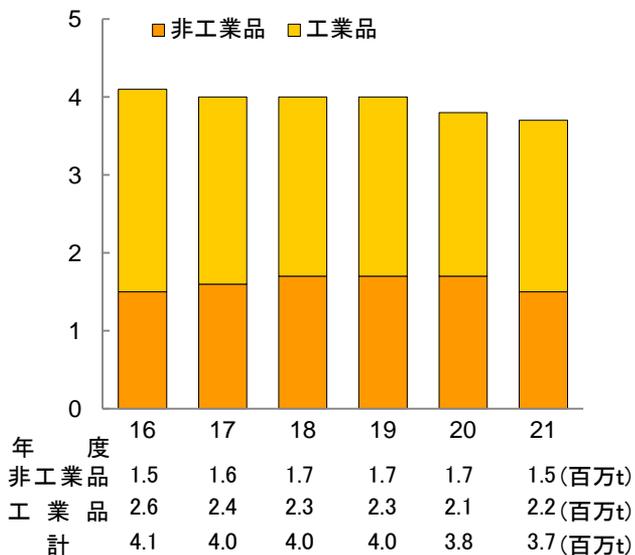


(資料) 国土交通省 北海道運輸局

(2) 鉄道貨物輸送の推移(北海道)

平成21年度、鉄道貨物輸送量は全国で30,849千t、うち北海道は3,731千t(全国比12.1%)

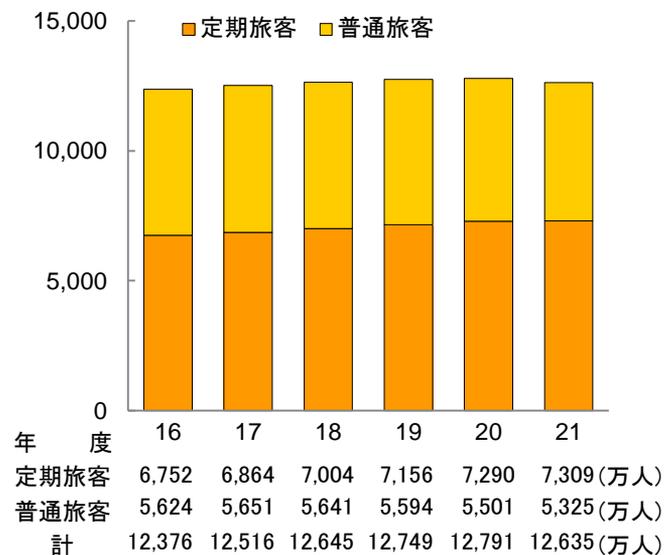
(百万t)



(資料) 国土交通省 北海道運輸局

(3) 鉄道旅客輸送人数(北海道)

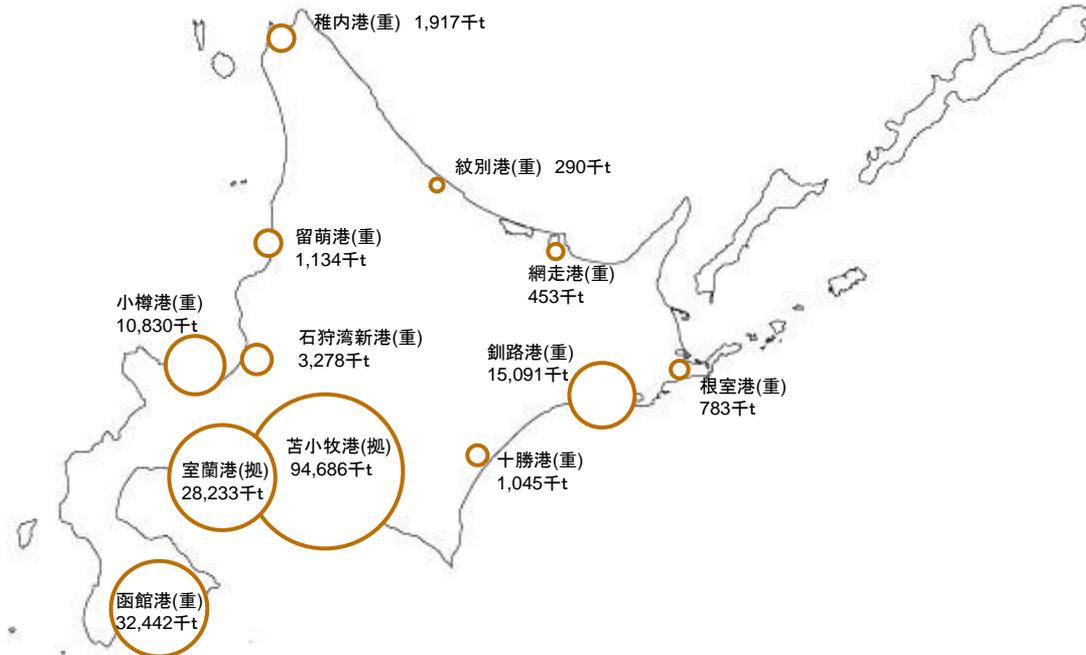
(万人)



(資料) 国土交通省 北海道運輸局

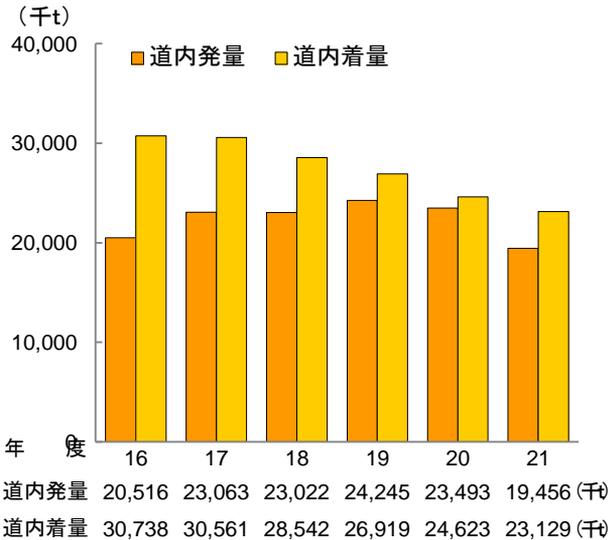
6. 港湾

(1) 国際拠点港湾と重要港湾の取扱貨物量 (22年速報値)



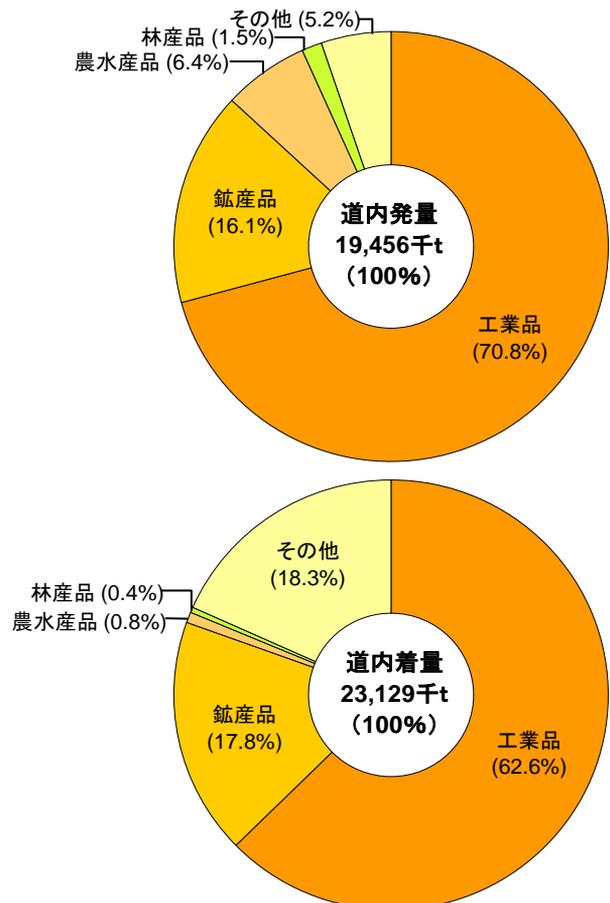
(注)(拠)は国際拠点港湾、(重)は重要港湾
 (資料)国土交通省 北海道開発局

(2) 海運輸送量の推移(北海道)



(資料)国土交通省 貨物・旅客地域流動調査
 (注)道内発量とは、北海道から都府県への輸送量。
 道内着量とは、都府県から北海道への輸送量。

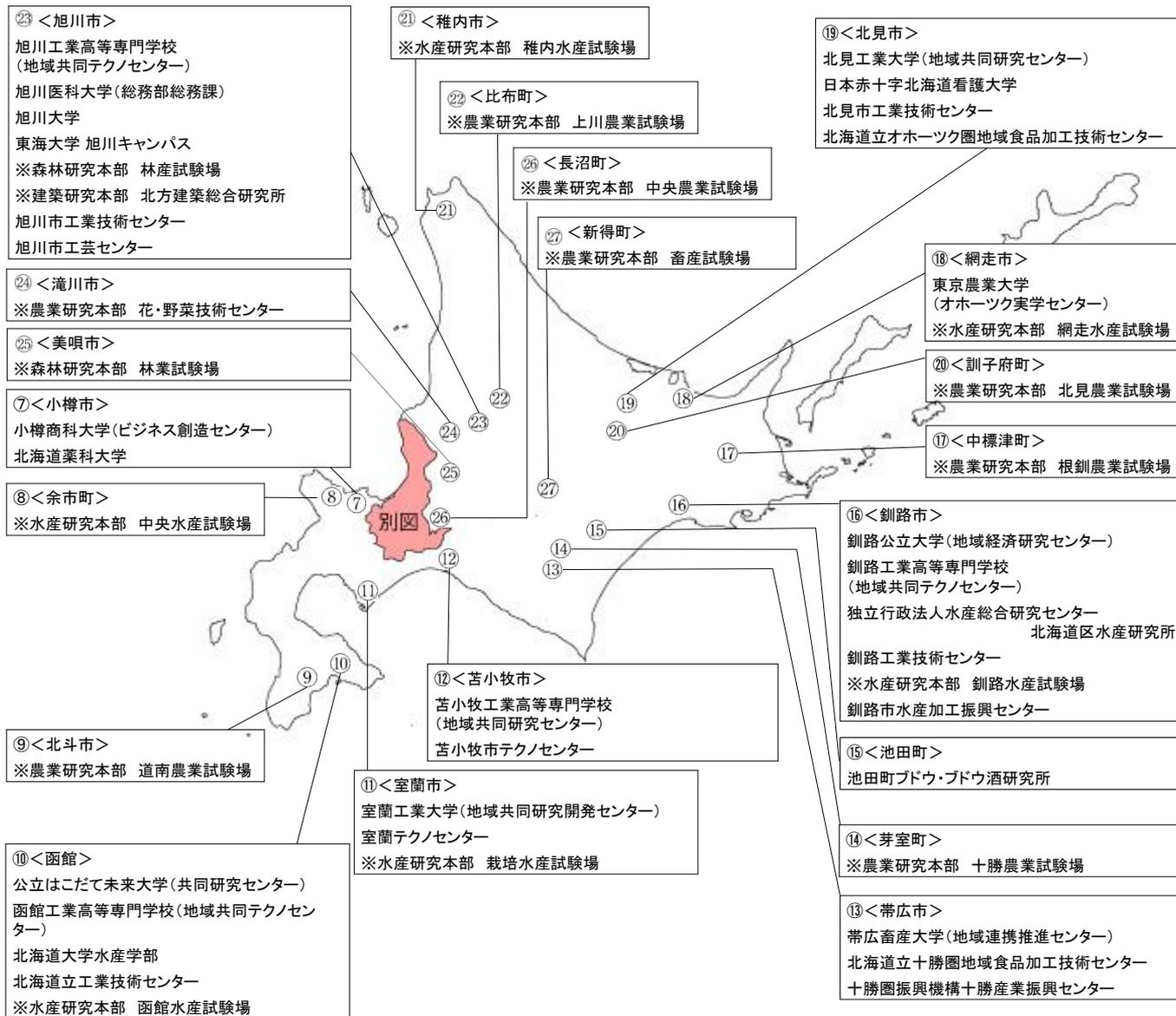
(3) 海運輸送量の品目別構成(北海道)(21年度)



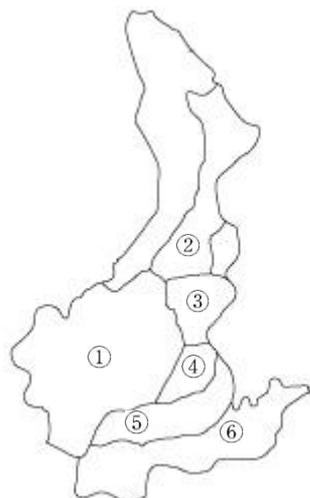
(資料)国土交通省 貨物・旅客地域流動調査
 (注)工業品内訳: 金属機械工業品、化学工業品、軽工業品、雑工業品、特種品

7. 主な大学、独立行政法人、公設試験研究機関等の設置状況

各大学・高専の()内は、産学連携窓口



別図

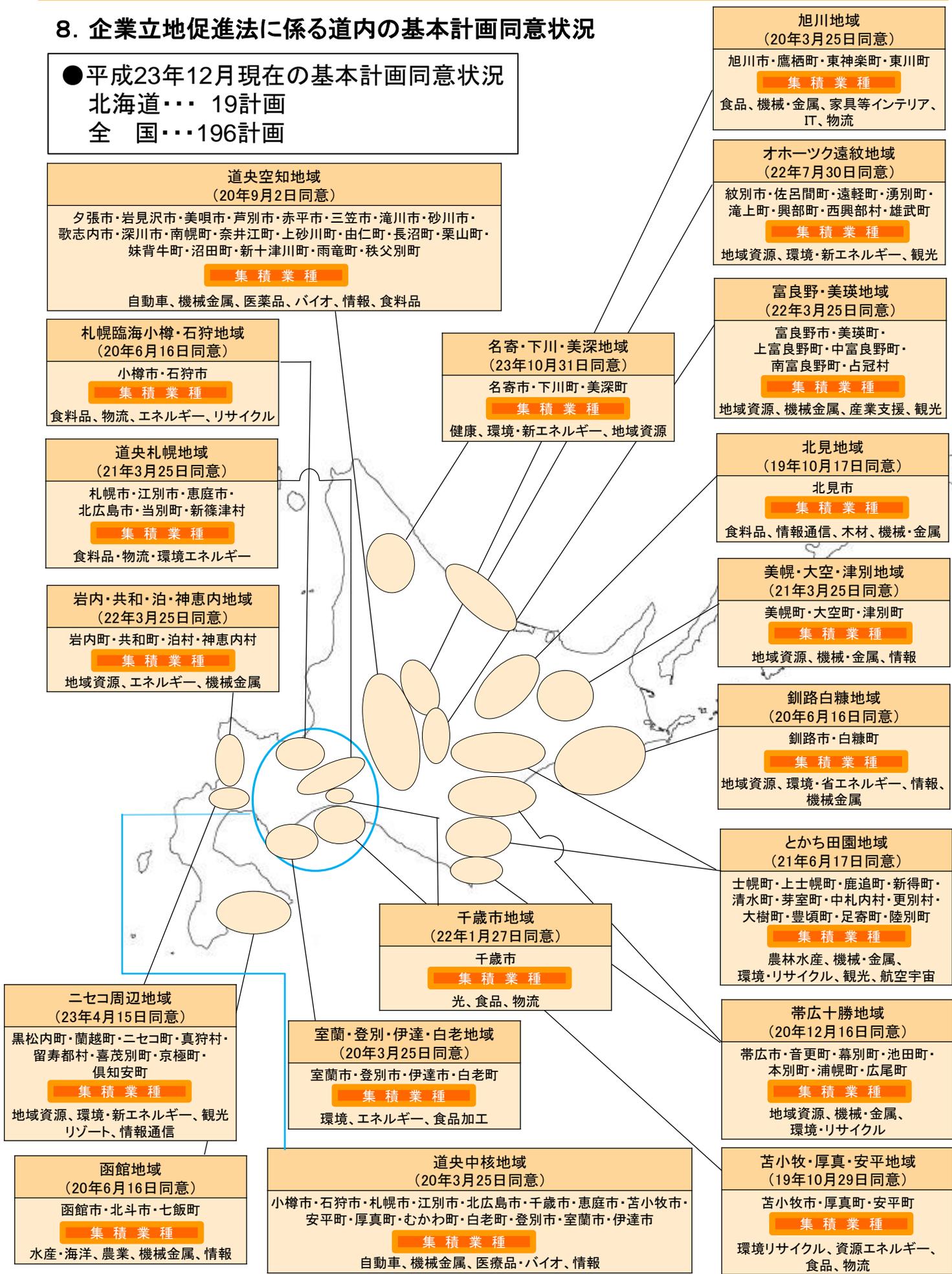


| | |
|--|---|
| <p>①<札幌市> R&Bパーク札幌大通サテライト 北海道大学(産学連携本部) 北海道工業大学(研究支援センター) 札幌医科大学(附属産学・地域連携センター) 札幌市立大学(地域連携研究センター) 札幌国際大学 東海大学札幌キャンパス 北海学園大学 北星学園大学</p> | <p>札幌大学 独立行政法人産業技術総合研究所北海道センター 独立行政法人森林総合研究所北海道支所 独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構 北海道農業研究センター 独立行政法人土木研究所寒地土木研究所 ※産業技術研究本部 工業試験場 ※環境・地質研究本部 環境科学研究センター 北海道立衛生研究所 ※環境・地質研究本部 地質研究所</p> |
| <p>②<当別町> 北海道医療大学</p> | <p>④<北広島市> 独立行政法人種苗管理センター北海道中央農場</p> |
| <p>③<江別市> 酪農学園大学(研究支援課) 札幌学院大学 北海道情報大学 ※産業技術研究本部 食品加工研究センター</p> | <p>⑤<恵庭市> ※水産研究本部 さけます・内水面水産試験場</p> <p>⑥<千歳市> 千歳科学技術大学(研究推進課)</p> |

※印は地方独立行政法人北海道立総合研究機構の組織です。

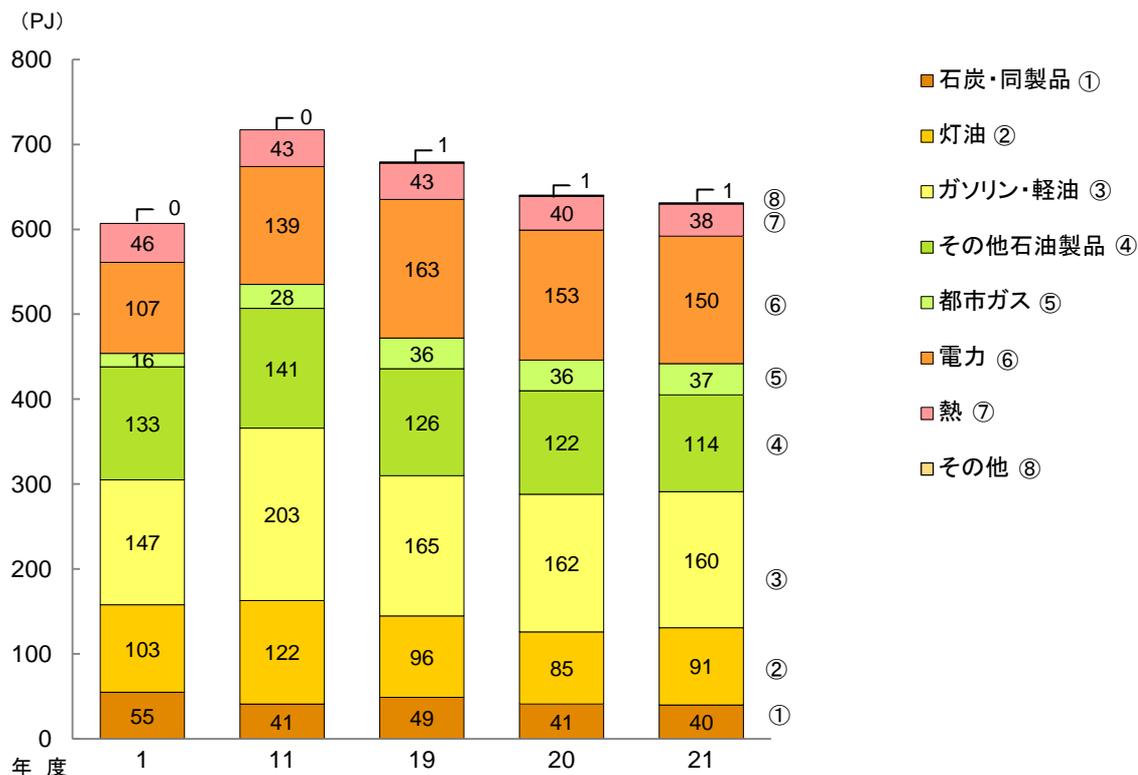
8. 企業立地促進法に係る道内の基本計画同意状況

●平成23年12月現在の基本計画同意状況
 北海道・・・19計画
 全国・・・196計画



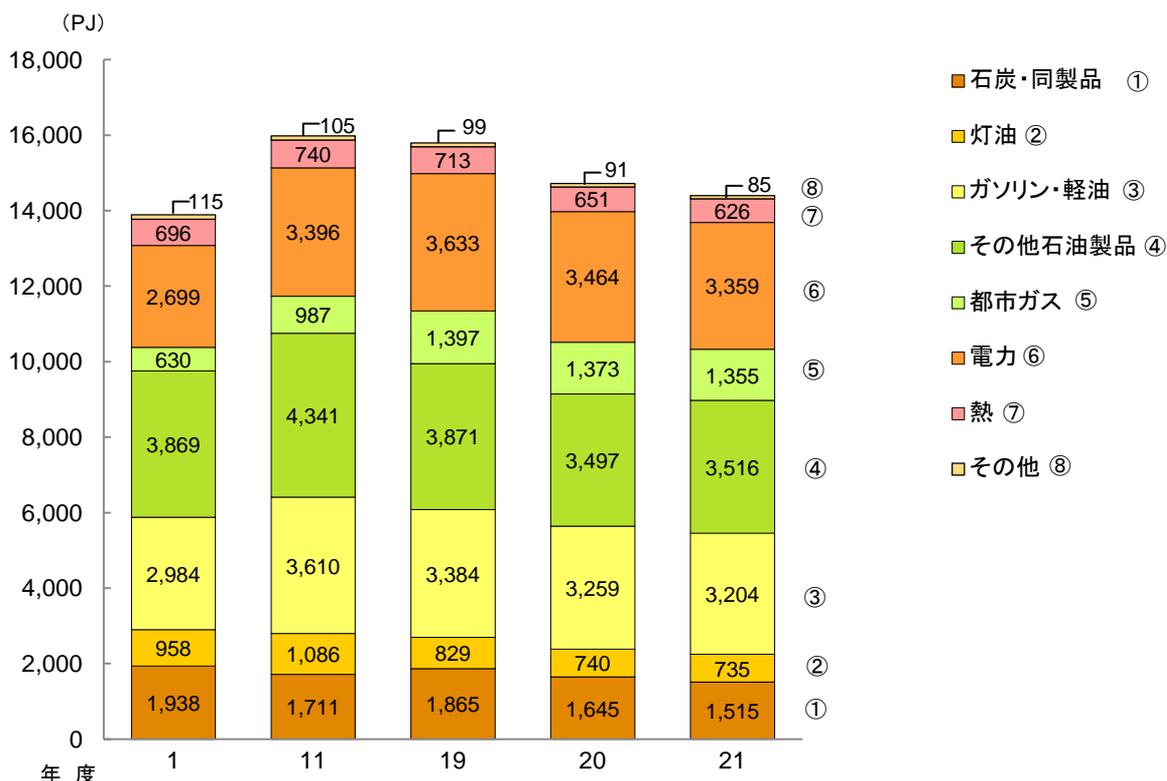
1. エネルギー源別消費量

北海道



(注) 上記消費量には運輸部門も含まれるが、運輸部門は北海道経済産業局による推計

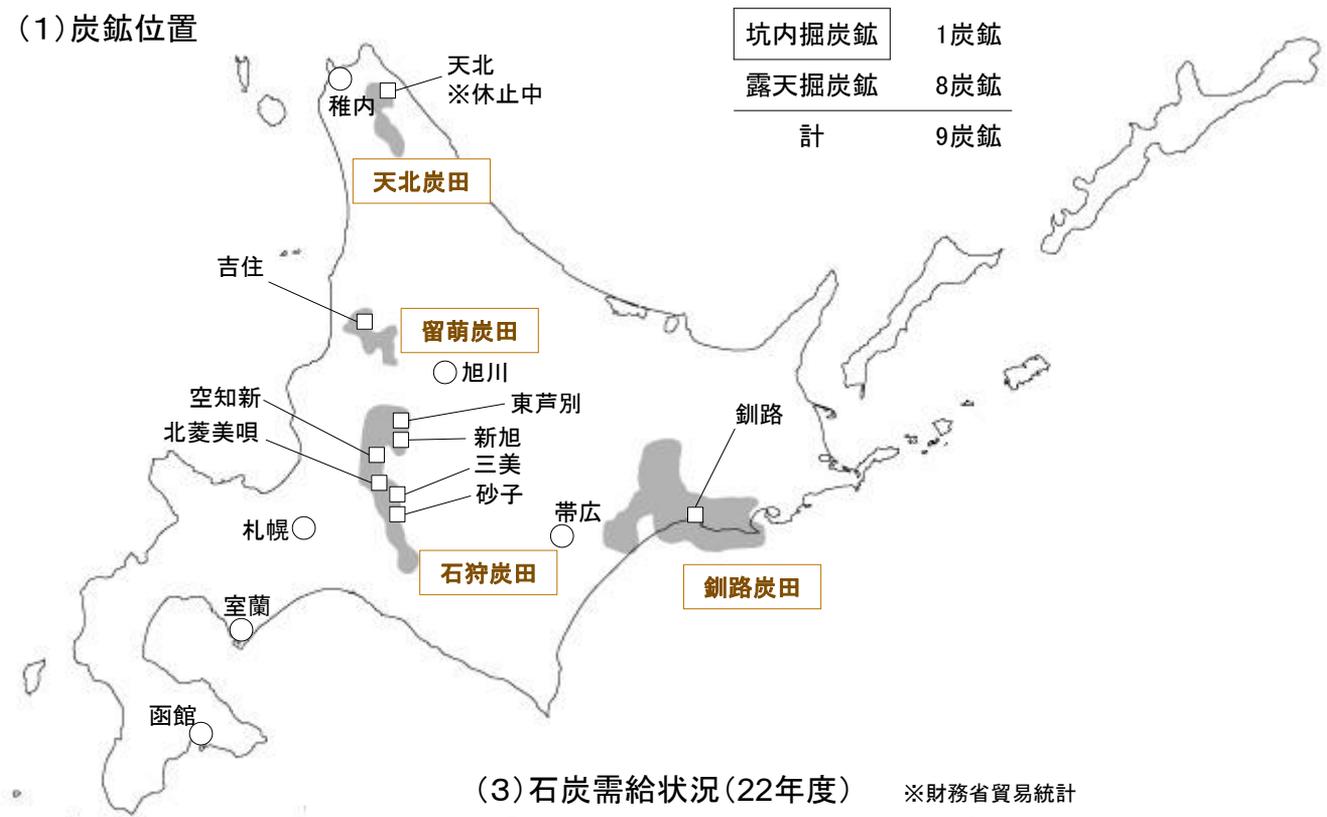
全国



(注) 平成22年度の石油製品は灯油、ガソリン・軽油、その他石油製品を含んでいる。

2. 石炭鉱業

(1) 炭鉱位置

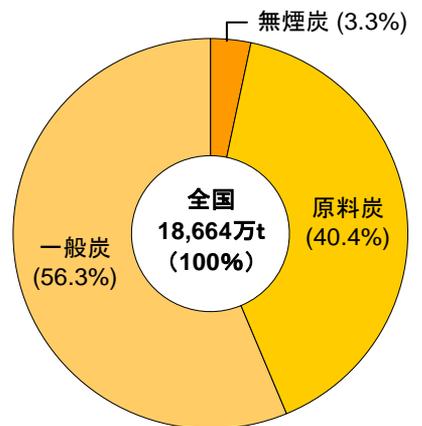
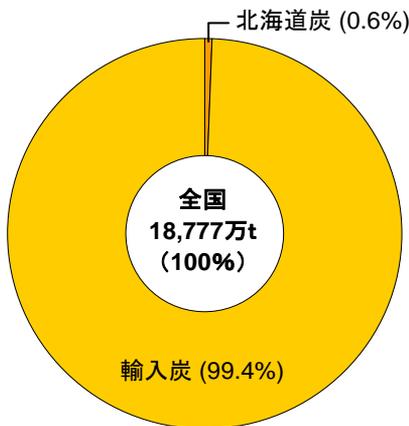


(3) 石炭需給状況(22年度)

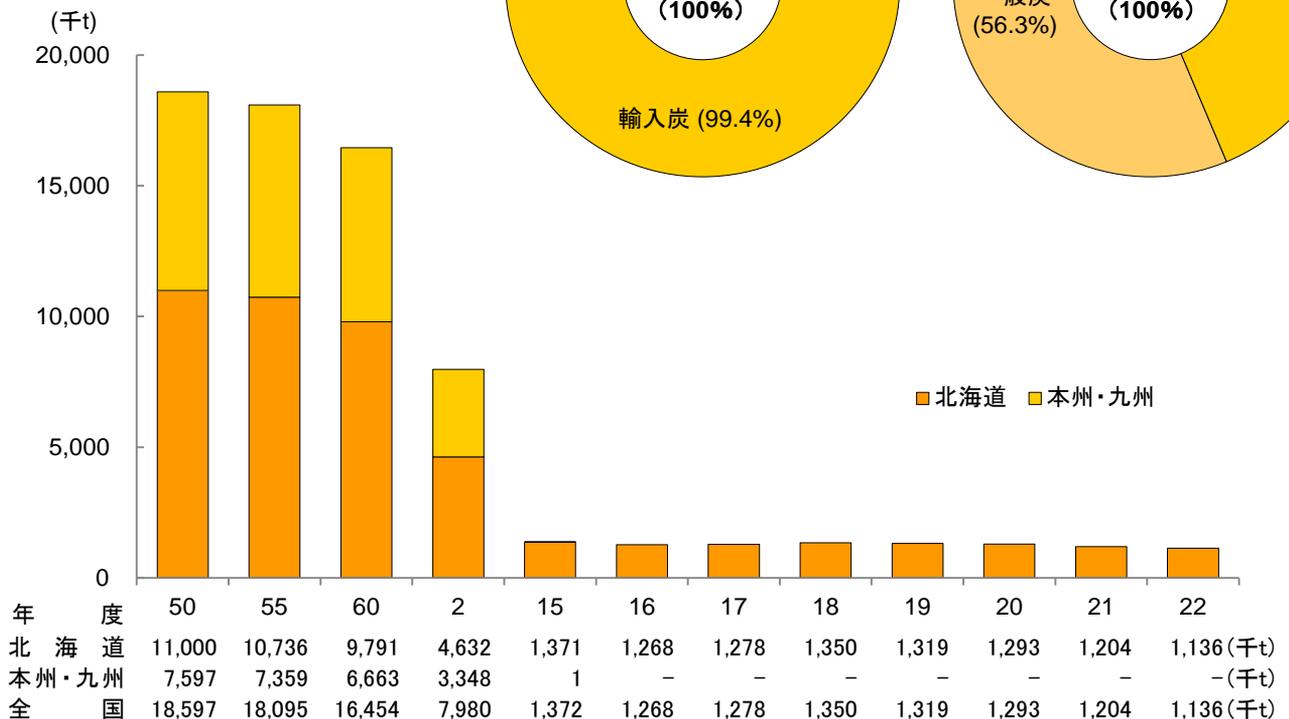
※財務省貿易統計

①国内炭・輸入炭販売割合

②用途別輸入割合



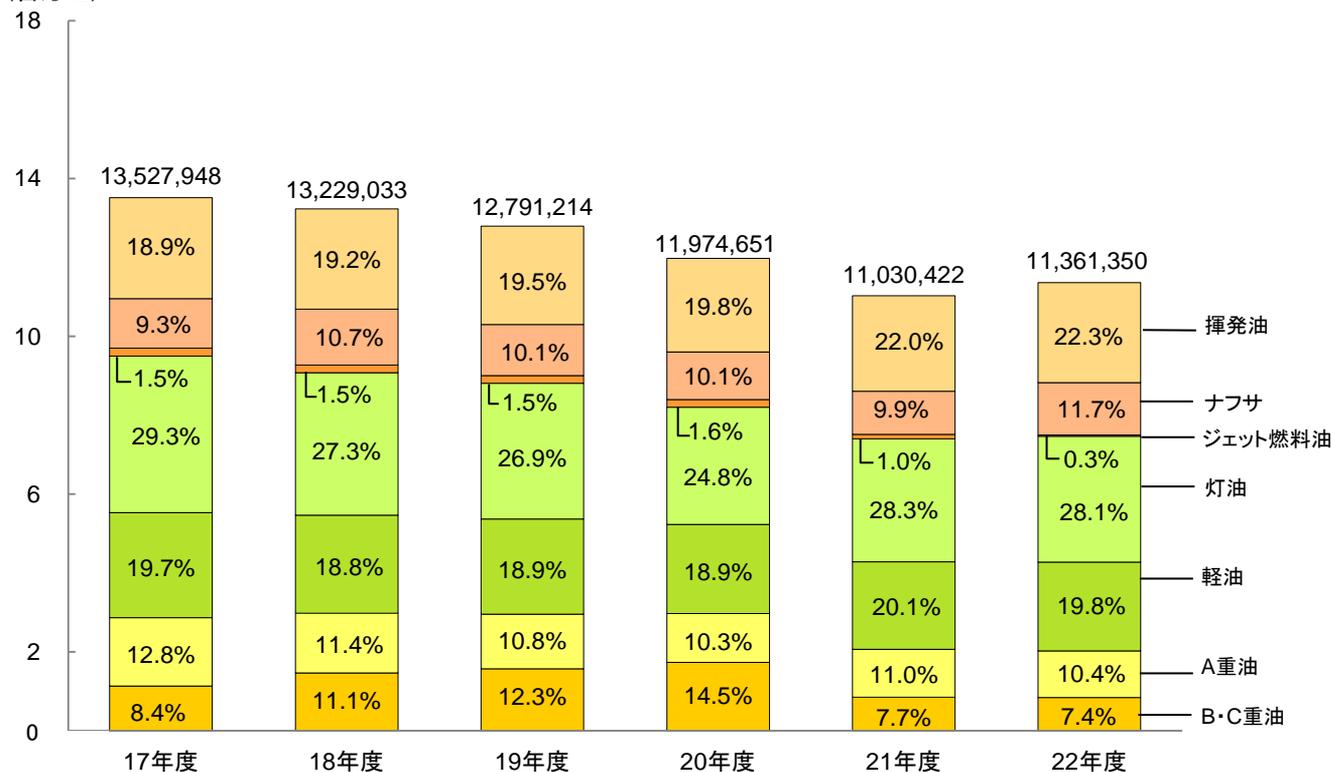
(2) 石炭生産量の推移



3. 石油

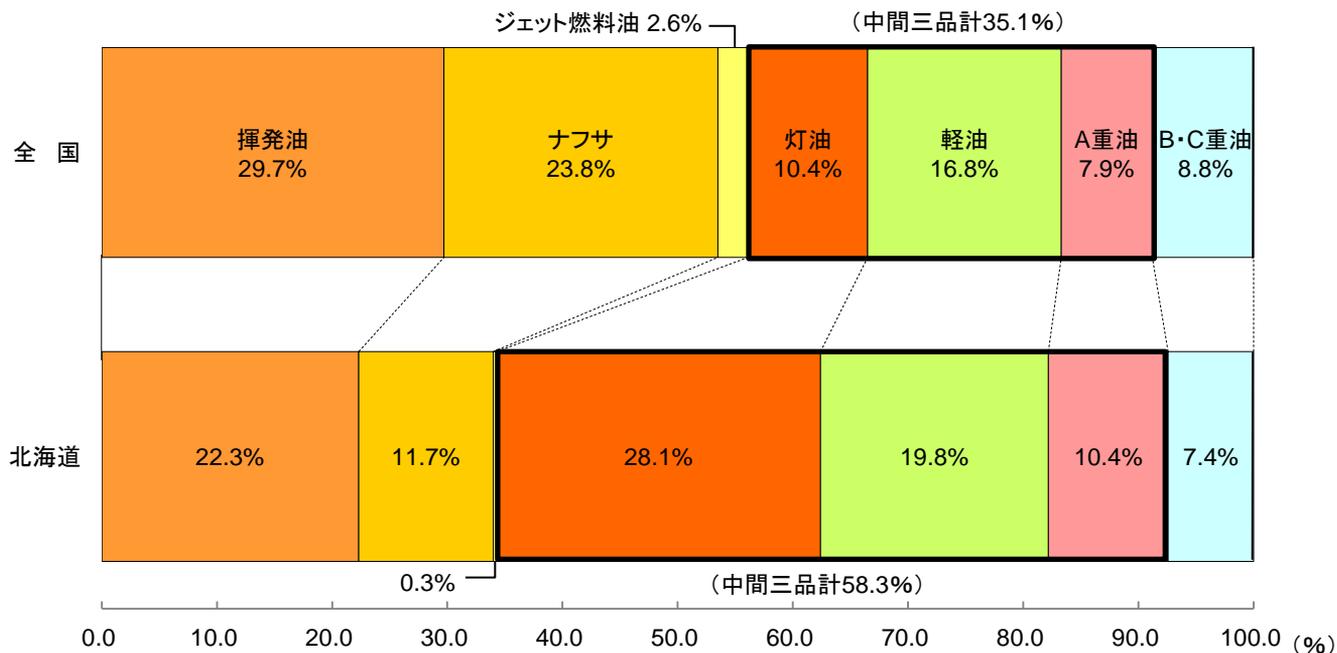
(1) 石油製品需要量の推移(北海道)

(百万KL)



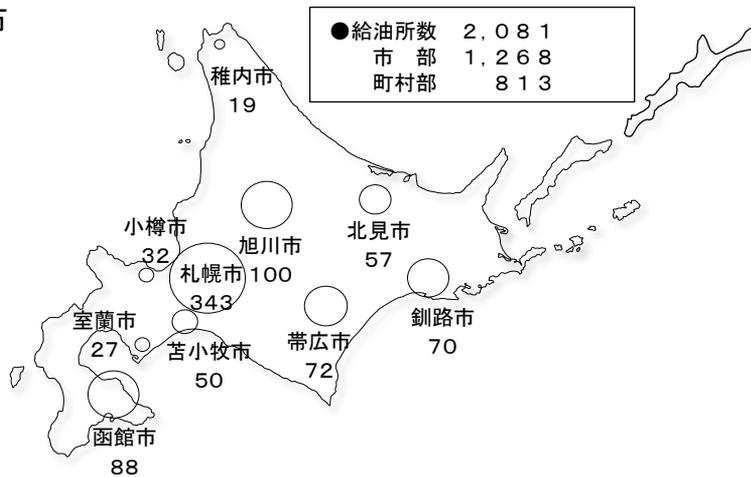
(2) 石油製品需要構成比(22年度)

北海道は寒冷地のため、灯油を含む中間三品の割合が58.3%と全国より高くなっている。

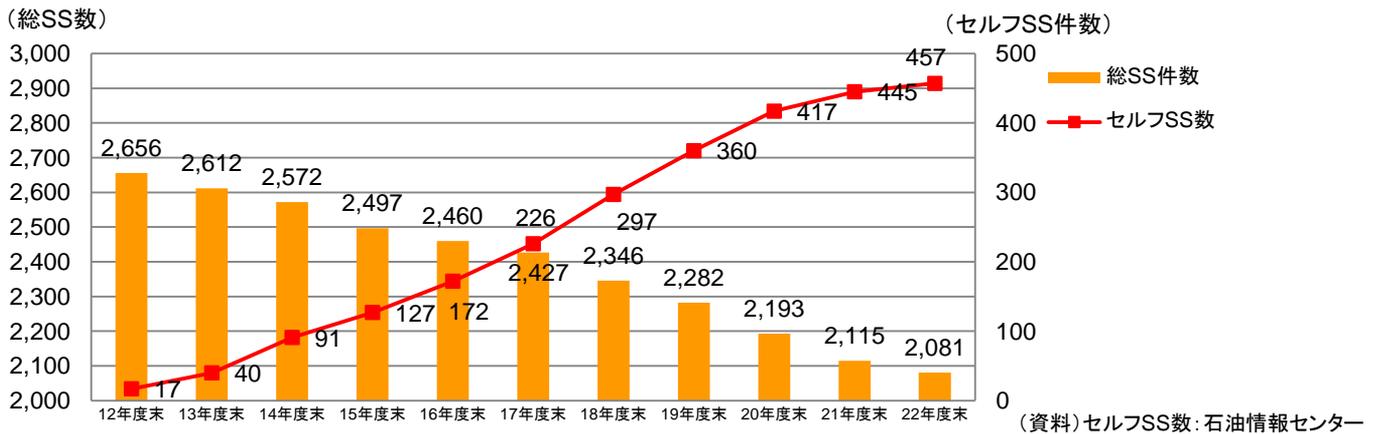


(3) 給油所の状況(平成22年度末現在)

① 給油所の分布

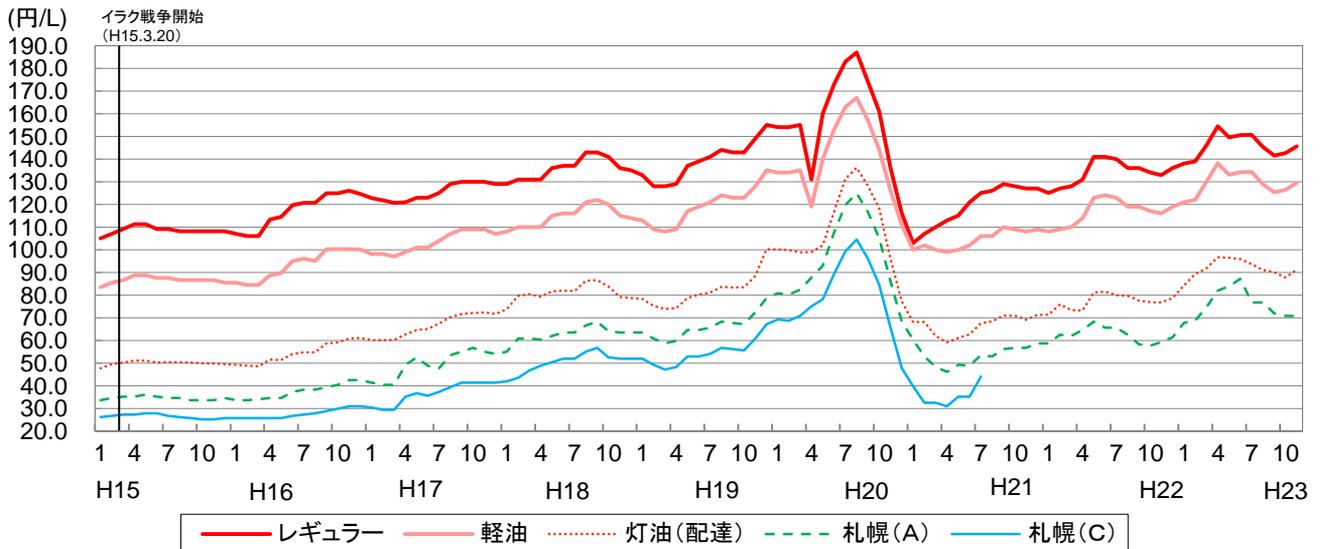


② 給油所(SS)数の推移(北海道)



(4) 石油製品価格の推移(北海道) 24年1月13日現在

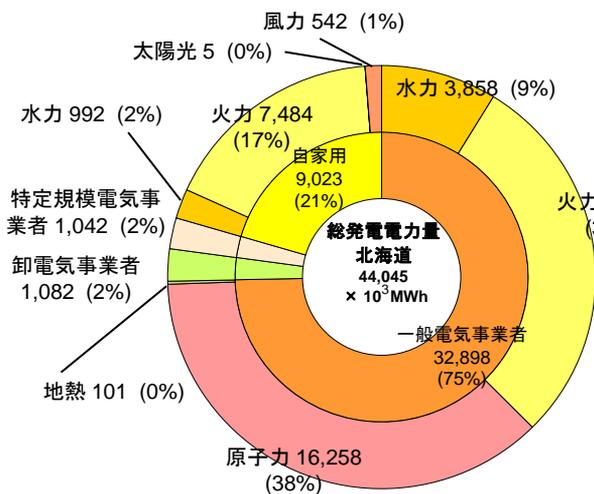
(資料)石油情報センター



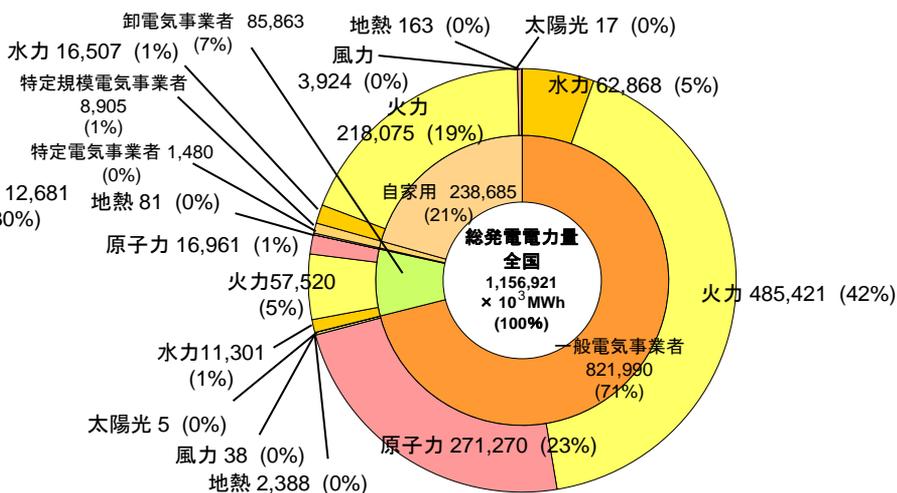
| | H18年度平均 | H19年度平均 | H20年度平均 | H21年度平均 | H22年度平均 | H22/12 | H23/1 | H23/2 | H23/3 | H23/4 | H23/5 | H23/6 | H23/7 | H23/8 | H23/9 | H23/10 | H23/11 | H23/12 |
|-------------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|
| レギュラー(北海道) | 135.7 | 145.3 | 145.1 | 124.3 | 137.6 | 136.0 | 138.0 | 139.0 | 146.0 | 154.5 | 149.6 | 150.6 | 150.7 | 145.3 | 141.5 | 142.6 | 145.6 | 145.4 |
| 軽油(北海道) | 114.9 | 125.2 | 131.8 | 106.3 | 120.6 | 119.0 | 121.0 | 122.0 | 130.0 | 138.1 | 133.1 | 134.4 | 134.4 | 128.9 | 125.4 | 126.5 | 129.5 | 129.4 |
| 灯油(配達)(北海道) | 80.6 | 87.7 | 100.2 | 68.5 | 80.9 | 78.7 | 84.2 | 89.3 | 91.8 | 96.7 | 96.4 | 93.7 | 93.7 | 91.1 | 90.1 | 87.7 | 91.3 | 91.2 |
| A重油(札幌) | 63.2 | 71.1 | 89.2 | 55.2 | 58.3 | 61.4 | 67.7 | 68.8 | 74.6 | 81.9 | 84.0 | 87.2 | 76.7 | 76.7 | 71.9 | 70.9 | 70.9 | 74.6 |
| C重油(札幌) | 51.7 | 59.5 | 70.4 | 36.4 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |

(円/L)

(3) 電気事業者別・原動力別 発電電力量(22年度)



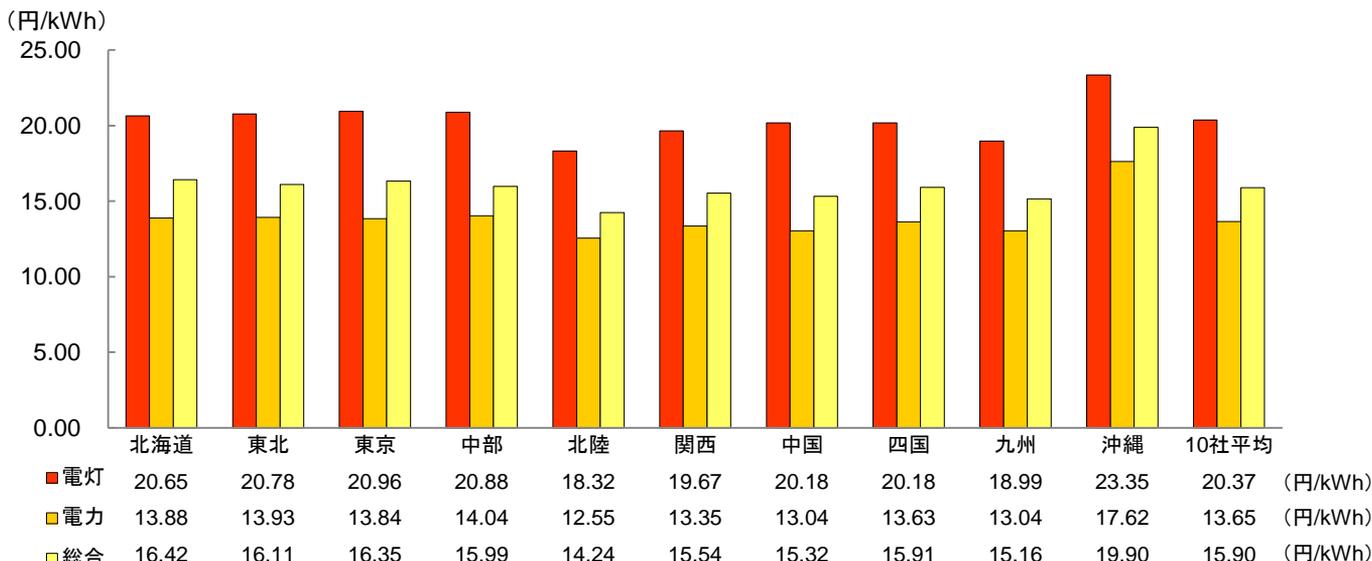
(出所) 平成23年度版電気事業便覧



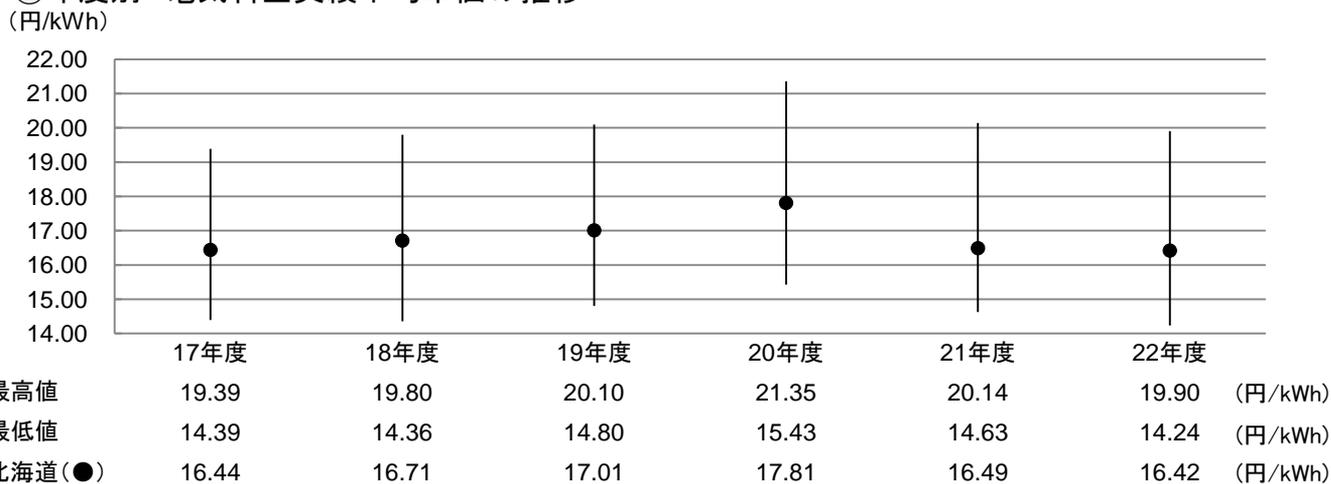
(出所) 平成23年度版電気事業便覧

(4) 電気料金の比較(22年度)

① 電力会社別 電気料金実績平均単価



② 年度別 電気料金実績平均単価の推移



(注) 最高値・最低値は各年度の電力会社の実績平均単価(総合)のうち最高の値と最低の値を示す。

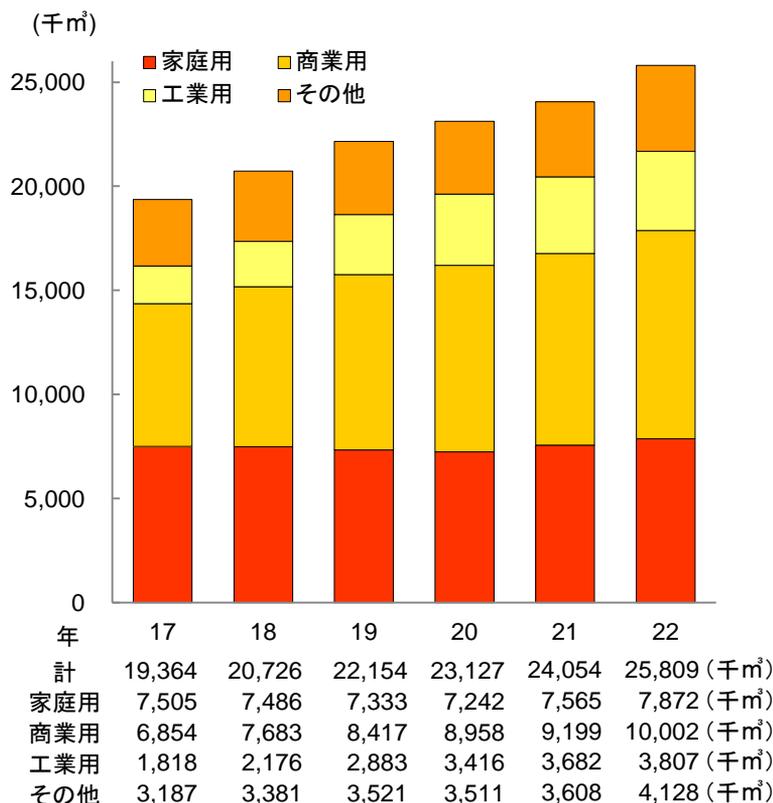
5. 都市ガス

(1) 都市ガス事業者の分布(23年12月現在)



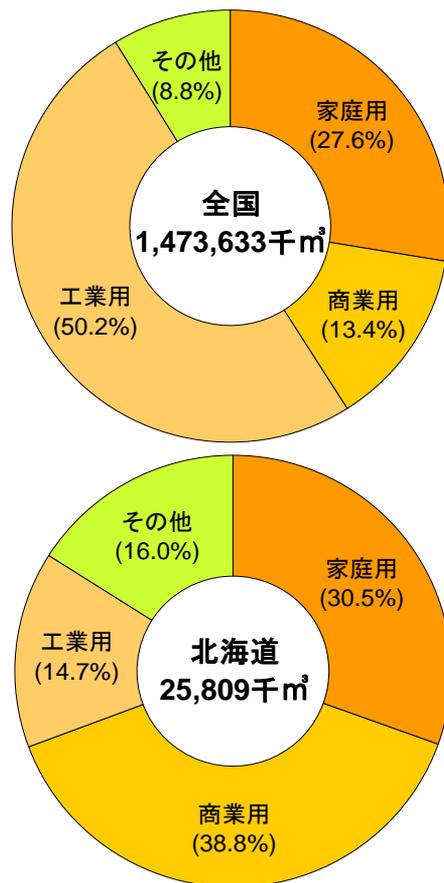
| 事業者 | 主な供給エリア |
|-------------|--------------|
| ①北海道瓦斯(株)本社 | 札幌市、石狩市、北広島市 |
| ② " | 小樽支店 小樽市 |
| ③ " | 函館支店 函館市、北斗市 |
| ④ " | 千歳支店 千歳市、恵庭市 |
| ⑤ " | 北見支店 北見市 |
| ⑥旭川ガス(株) 本社 | 旭川市、東神楽町 |
| ⑦ " | 江別支社 江別市 |
| ⑧釧路ガス(株) | 釧路市、釧路町 |
| ⑨室蘭ガス(株) | 室蘭市、登別市 |
| ⑩帯広ガス(株) | 帯広市 |
| ⑪苫小牧ガス(株) | 苫小牧市 |
| ⑫滝川ガス(株) | 滝川市 |
| ⑬岩見沢ガス(株) | 岩見沢市 |
| ⑭美唄ガス(株) | 美唄市 |
| ⑮長万部町 | 長万部町 |

(2) 販売量の推移(北海道)



(注)1,000MJ換算

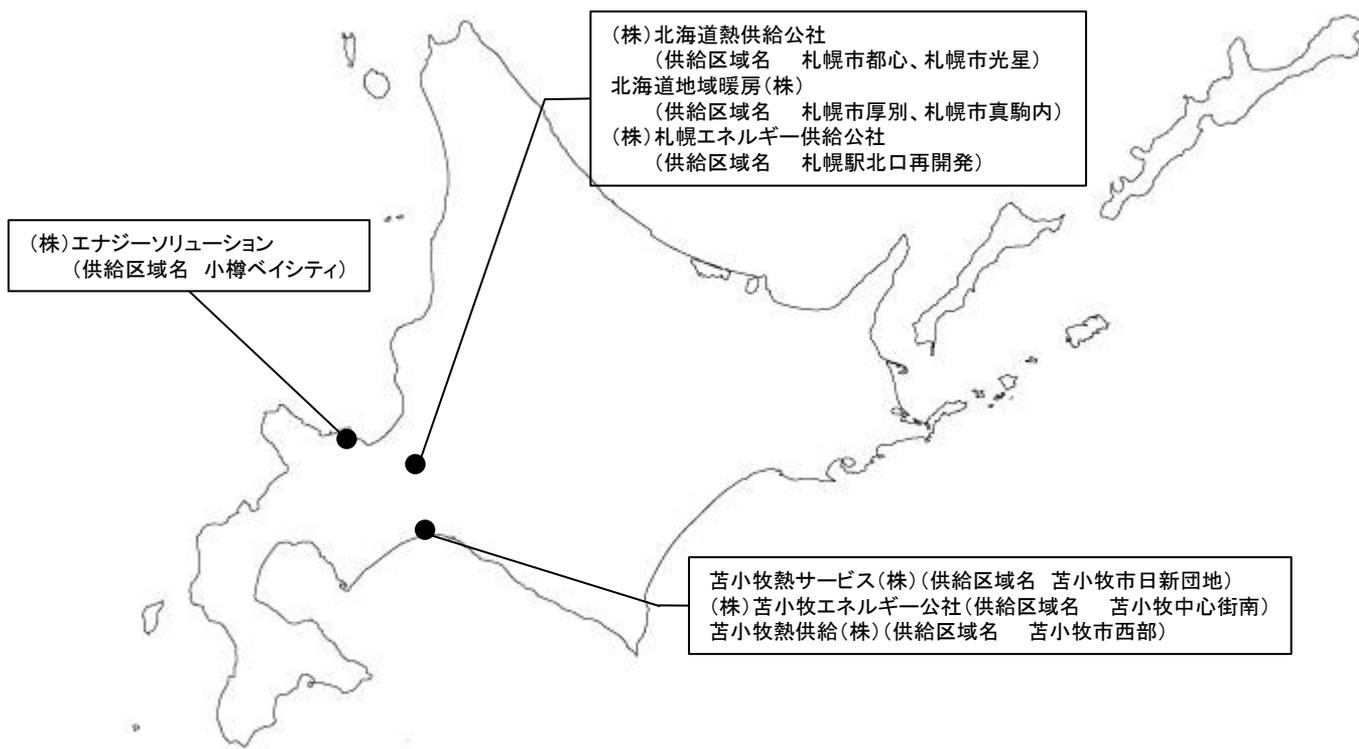
(3) 販売量(全国・北海道)(22年)



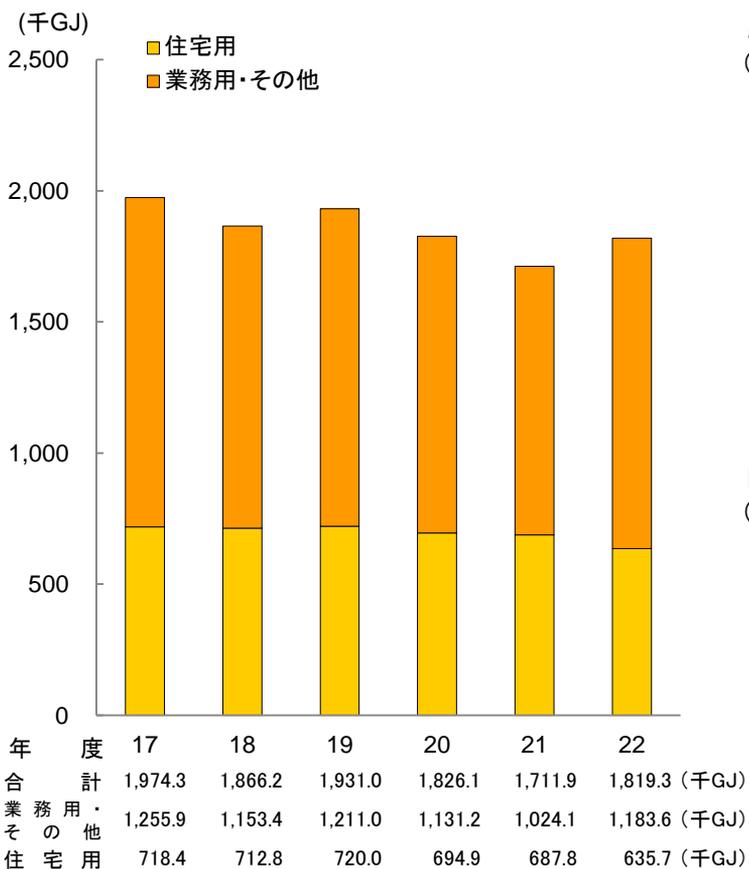
6. 熱供給

(1) 事業所の分布

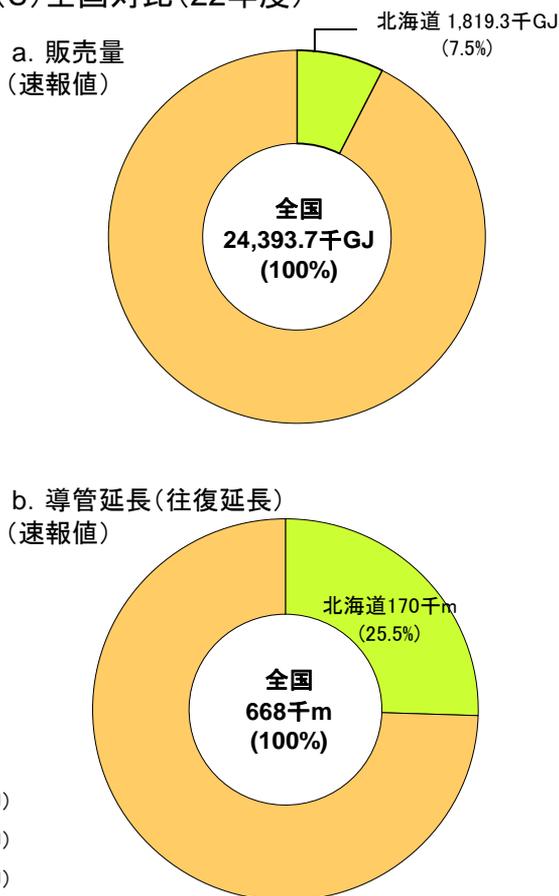
(北海道7社・9地点、23年12月現在)



(2) 販売量の推移(北海道)

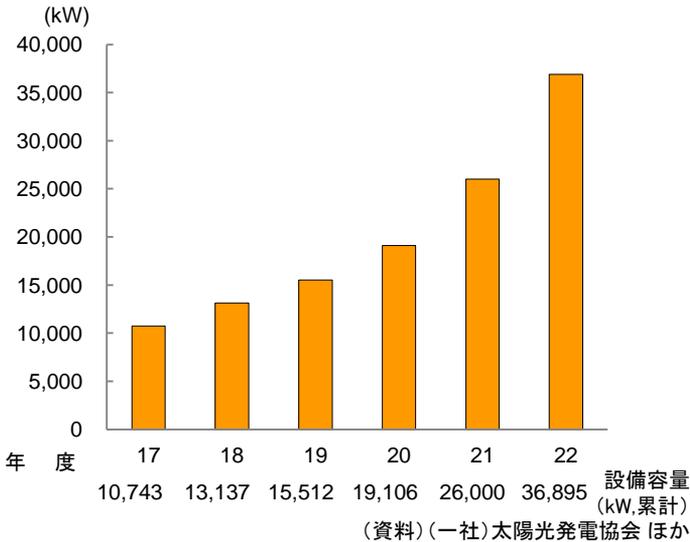


(3) 全国対比(22年度)

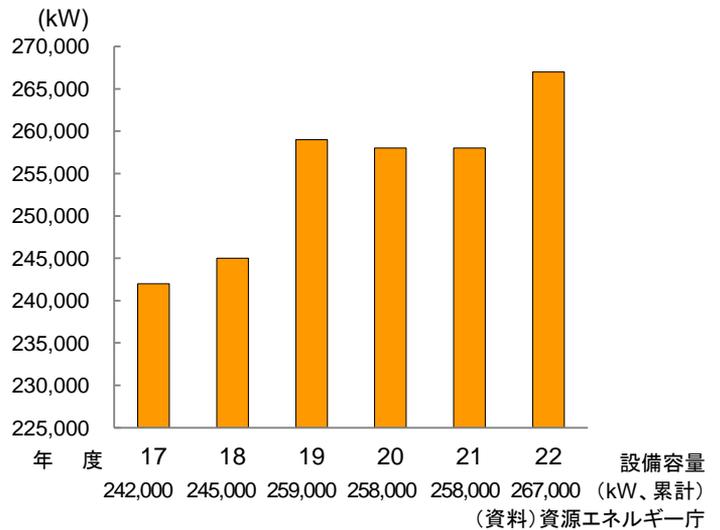


7. 新エネルギーの普及状況

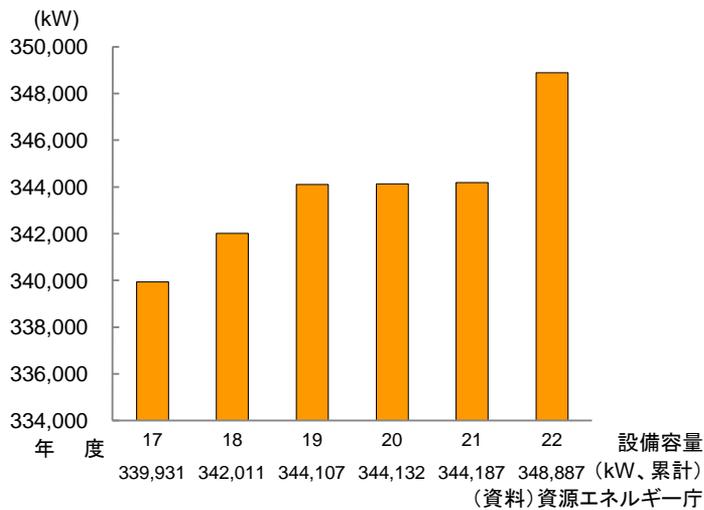
(1) 住宅用太陽光発電施設普及状況



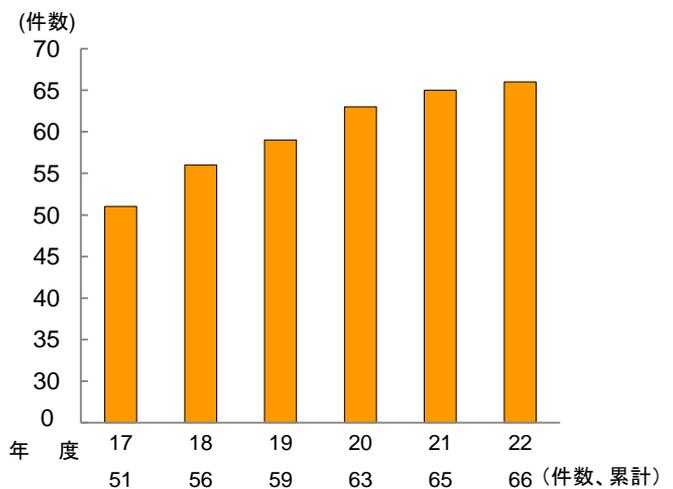
(2) 風力発電施設普及状況



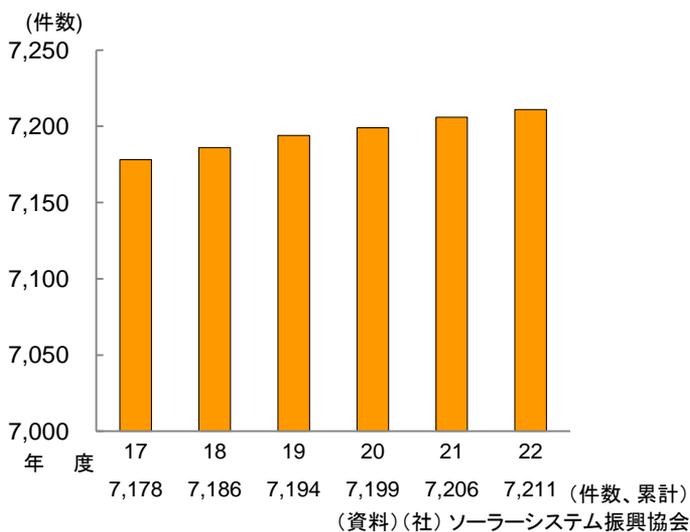
(3) バイオマス発電施設普及状況



(4) 雪氷冷熱施設普及状況



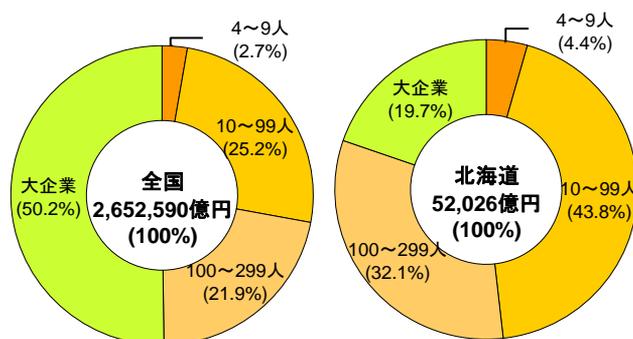
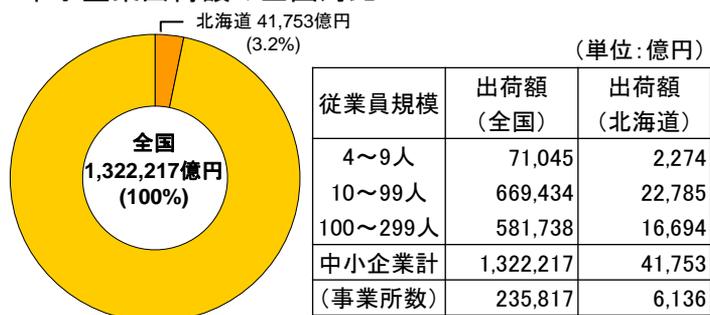
(5) ソーラーシステム普及状況



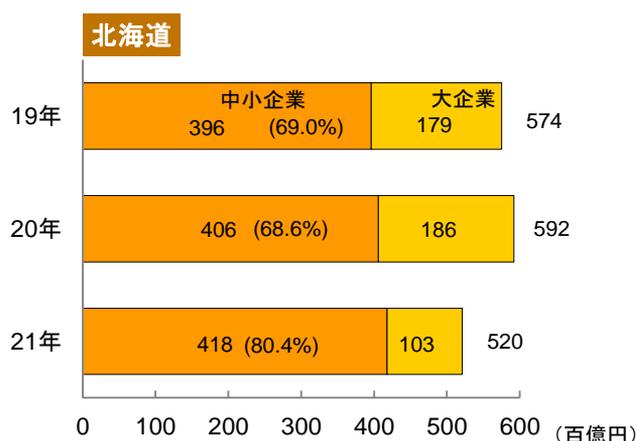
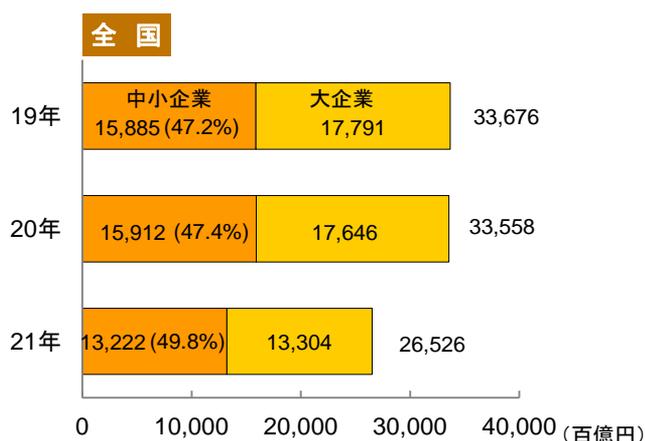
1. 製造業 (従業員300人未満を中小企業、300人以上を大企業とした。)

(1) 規模別出荷額構成(21年)

中小企業出荷額の全国対比

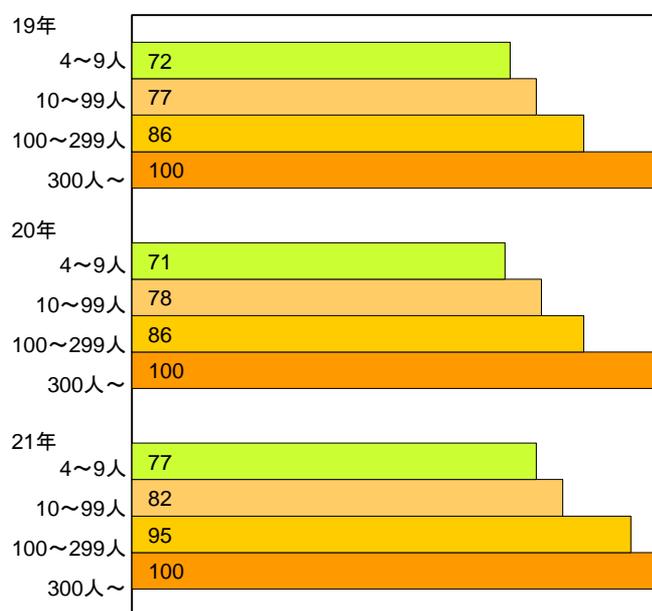


(2) 出荷額の推移



(3) 規模別賃金比較(北海道・21年)

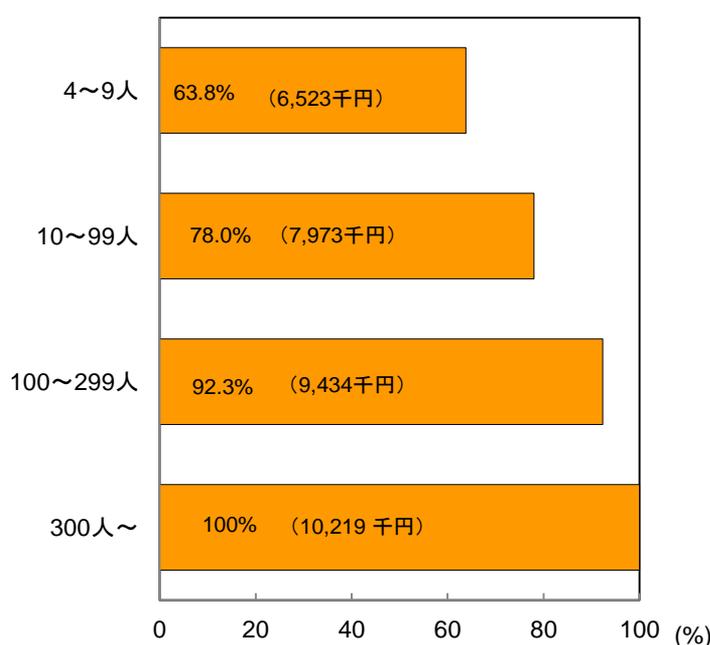
(従業員1人当たり年間現金給与)



(注)大企業を100とした比率

(4) 規模別付加価値比較(北海道・21年)

(従業員1人当たり)



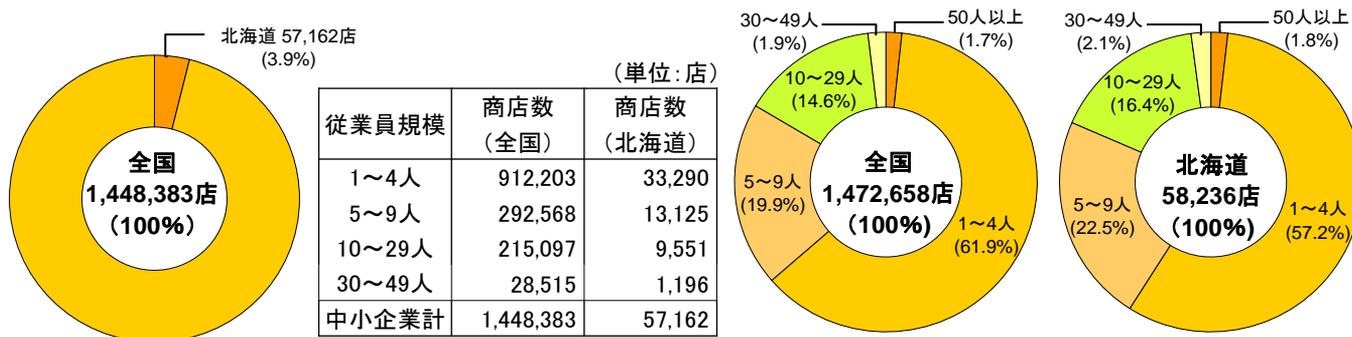
(注)大企業を100とした比率

()内の数字は、従業員1人当たりの年間付加価値額

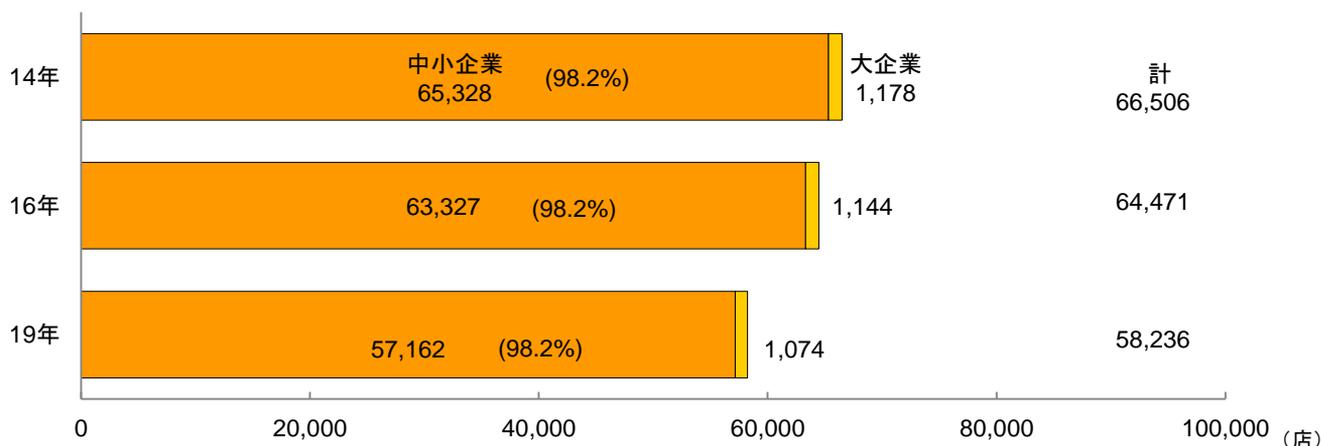
2. 商業(卸売業・小売業) (従業員50人未満を中小企業、50人以上を大企業とした。)

(1) 規模別商店数構成(19年)

中小企業商店数の全国対比



(2) 商店数の推移(飲食店を除く)(北海道)



1. 構造改革特別区域計画

平成23年12月現在の認定件数

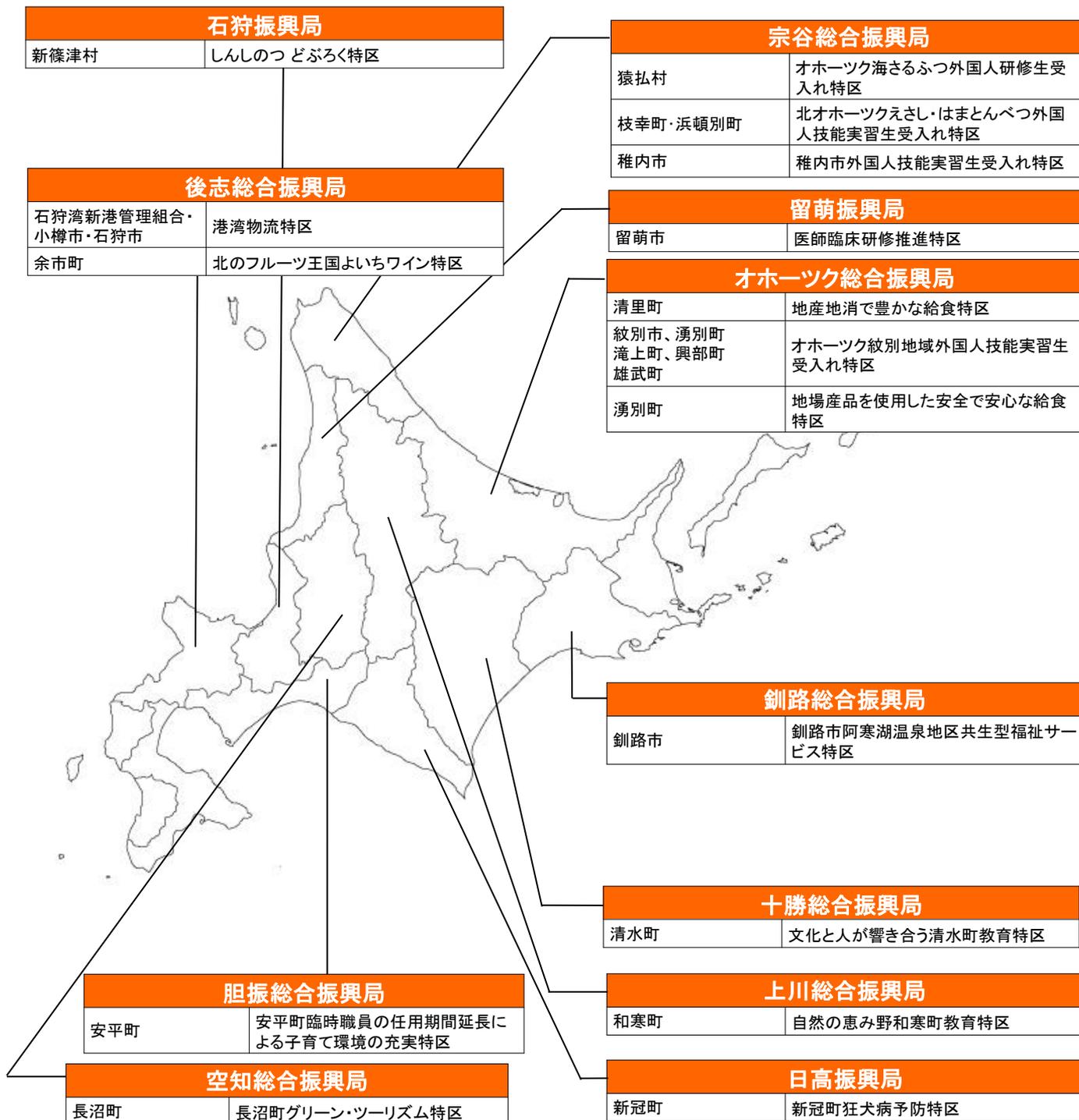
北海道： 16件

全国： 339件

認定件数トップ5(第1回～第27回認定)

| 都道府県名 | 1 | 2 | 2 | 4 | 5 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 愛知県 | 愛知県 | 兵庫県 | 長野県 | 北海道 | 岐阜県 |
| 認定件数 | 23 | 20 | 20 | 16 | 13 |

※北海道では、これまでに累計113件の特別区域計画が認定され、平成23年12月時点では、規制の特例措置の全国展開により、97件の認定が取り消されている。



2.地域再生計画

平成23年12月現在の認定件数

北海道 : 25件
 全国 : 639件

認定件数トップ5

| 都道府県名 | 1 | 2 | 3 | 3 | 5 |
|-------|-----|-----|-----|--------------|----|
| 高知県 | 長野県 | 北海道 | 岡山県 | 愛媛県、 鹿児島県 | |
| 認定件数 | 29 | 26 | 25 | 25 | 22 |

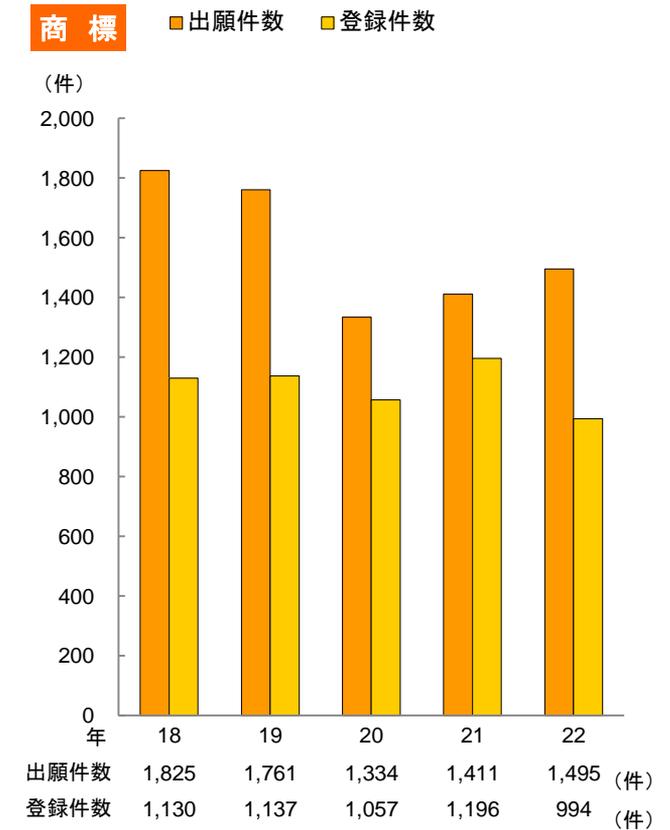
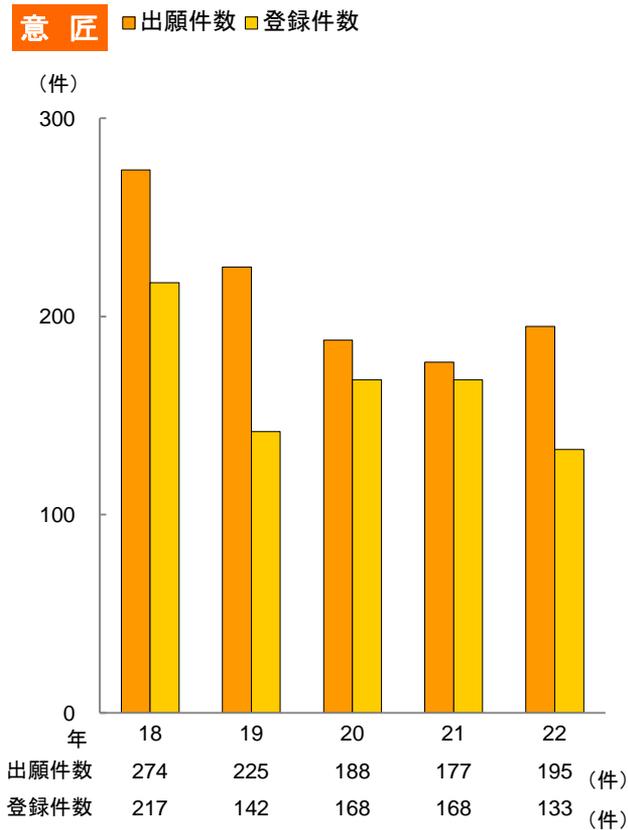
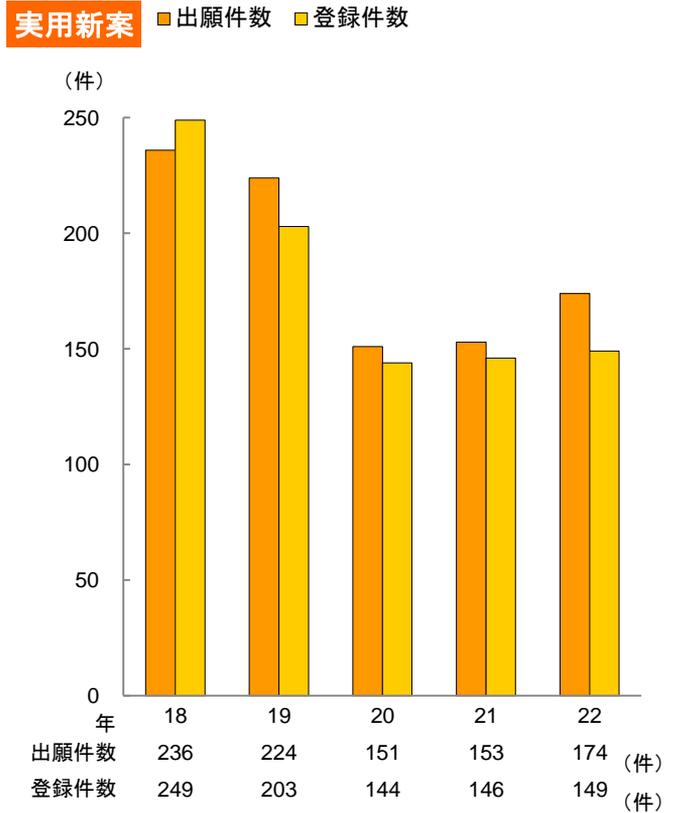
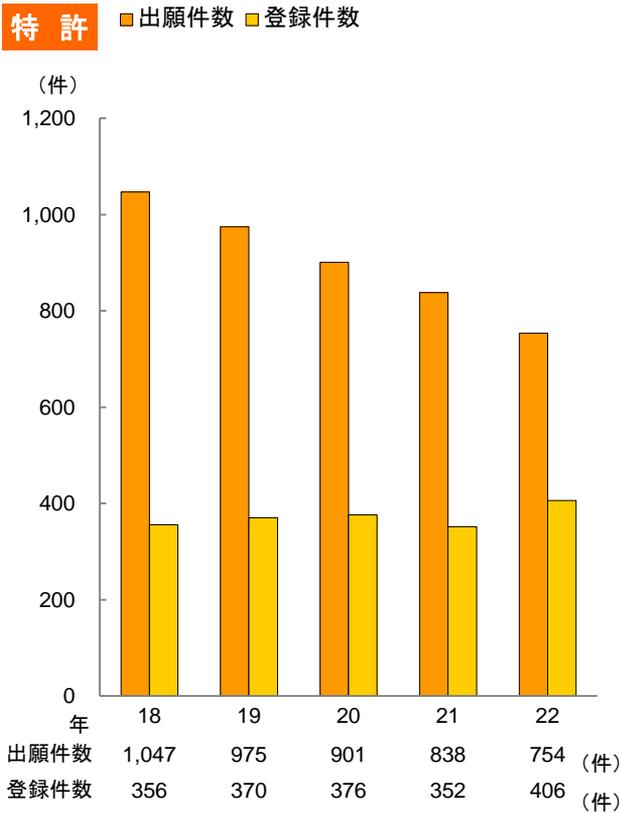


※北海道では、これまでに累計63件の地域再生計画が認定され、平成23年12月時点では、38件が計画の期間終了、取下げとなっている。

| 申請主体名 | 計画の名称 |
|----------------|---|
| 北海道 | |
| 北海道 | 南空知ふるさと圏の均衡ある発展に向けた交通ネットワークの整備(※) |
| 石狩振興局 | |
| 札幌市 | ☆チャレンジする都市さっぽろ☆～魅力を活かした人材雇用創出プロジェクト |
| 当別町 | 健康食品・地域農産物の活用による地域活性化プラン |
| 後志総合振興局 | |
| ニセコ町 | コミュニティビジネスの支援による地域産業活性化計画 |
| 渡島総合振興局 | |
| 函館市 | 函館雇用創出計画 ～世界にひらかれた交流都市をめざすひとづくり・ものづくり～ |
| | 函館国際水産・海洋都市構想の推進 ～新水産・海洋都市はこだてを支える人材育成～ |
| 檜山振興局 | |
| 江差町 | 江差町地場産業活性化による雇用創造計画 |
| 胆振総合振興局 | |
| 苫小牧市 | 旧病院施設を活用した福祉と教育の拠点による市中心部再生計画 |
| | エネルギー・環境産業を核とした地域雇用創造推進事業 |
| 室蘭市 | 障害福祉の向上による地域再生 |
| | 環境産業拠点都市形成の推進とIT活用により持続可能な「ものづくり」を高度・多様化させる地域雇用創造プロジェクト |
| 安平町 | あかね公営住宅コミュニティ活性化計画 |
| 空知総合振興局 | |
| 夕張市 | 地域力向上による夕張再生プロジェクト |
| 月形町 | ～地域に活力と賑わいを～廃校校舎等を活用した「ちらいおつ遊び塾」開校 |
| 三笠市 | 岡山・萱野「幼・小・中の連携教育」推進計画 |
| 岩見沢市 | 南空知ふるさと圏の均衡ある発展に向けた交通ネットワークの整備(※再掲) |

| 申請主体名 | 計画の名称 |
|-------------------|---|
| 十勝総合振興局 | |
| 帯広市 | 「食」を中心とした地場産業の振興による雇用促進計画 |
| 大樹町 | 地域資源を活用したチーズなど乳製品工房による地域活性化プラン |
| 上士幌町 | 旧国鉄士幌線関連遺産を活用したまちづくり計画 |
| 上川総合振興局 | |
| 旭川市 | 旭川の「食」を支える即戦力育成プロジェクト |
| 上川町 | 大雪山麓の豊かな自然と環境を活用した新たな健康サービス産業の振興による地域活力再生構想 |
| 南富良野町 | 企業誘致による地域活性化プラン |
| 東川町 | 東川町観光地活性化雇用創造計画 |
| 美瑛町 | 美瑛町地域活性化雇用創造計画 |
| オホーツク総合振興局 | |
| 佐呂間町 | 地域間交流を通じた地域コミュニティの再生 |
| 網走市 | 潜在的な地域資源を創造的に活用するリーダー的人材養成計画 |

3. 特許権等の出願件数・登録件数(北海道)





経済産業省
北海道経済産業局

■ 発行 ■

経済産業省 北海道経済産業局
総務企画部 総務課

〒060-0808

札幌市北区北8条西2丁目

TEL:011-709-2311(内線2505)

FAX:011-709-1778

URL: <http://www.hkd.meti.go.jp/index.htm>

